

豊田市レポート'25

第8次豊田市総合計画
成果報告書

豊田市

はじめに

本市は、2017 年 3 月に第 8 次豊田市総合計画を策定し、将来都市像である「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」の実現に向け、施策及び事業を推進してきました。

第 8 次総合計画は、超高齢社会、産業構造や財政状況の変化など、社会経済情勢の大きな転換期においても持続可能なまちづくりを進めていくため、2040 年を目標年次とした基本構想と 8 か年の実践計画（前期 4 年、後期 4 年）として策定しました。

この報告書は、第 8 次豊田市総合計画について、後期実践計画に掲げた施策及び事業の 2021 年度から 2024 年度までの 4 年間の成果と、前期・後期を通じた 8 年間に渡る取組の成果を総括的にまとめたものです。

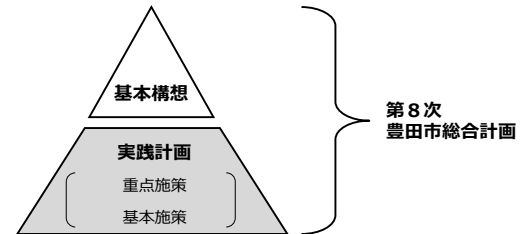
第8次豊田市総合計画について

(1) 総合計画とは

総合計画とは、本市がめざすまちづくりの方向性を明らかにし、その実現に向けた取組を市民の皆さんと共働で進めるための最も基本となる計画

(2) 第8次豊田市総合計画

- ・ 構造：基本構想と実践計画の二層構造
- ・ 計画期間：2017～2024年度の8年間



(3) 後期実践計画

- ・ 計画期間：2021～2024年度の4年間

① 基本構想

- ・ 目標年次：2040年
- ・ 将来都市像：「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」

② 実践計画

実践計画は「重点施策」「基本施策」により構成されています。

- ・ 重点施策：重要課題に対し、特に重点的・分野横断的に取り組む施策を取りまとめたもの
- ・ 基本施策：各分野の主要な課題に対する施策を取りまとめ、優先化・重点化したもの

③ 後期実践計画の施策体系

重点施策
(1) 超高齢社会への適応
(2) 「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資
(3) まちの課題解決力の強化
基本施策
I 子ども・子育て
II 生涯学習
III 健康・福祉
IV 安全・安心
V 産業・観光・交流
VI 環境
VII 都市整備
VIII 地域経営

目 次

第1章 まちづくりにおける主要指標の動向

1 人口指標の推移	2
2 経済指標の推移	5
3 財政指標の推移	6
4 市民意識の推移	10

第2章 後期実践計画の総括

1 後期実践計画の総括	
(1) 基本的な考え方	14
(2) 全体の達成状況	15
(3) 重点施策の取組状況	16
(4) 施策別の達成状況	19
2 新型コロナウイルス感染症の影響	
(1) 指標へ与えた影響	22
3 第8次総合計画のまとめ	
(1) 第8次総合計画全体（2017年度～2024年度）の評価	24
(2) 第8次総合計画全体（2017年度～2024年度）のまとめ	26
(3) 第9次総合計画に基づく新しいまちづくり	26

第3章 資料編

1 指標別の達成状況	28
2 各施策における事業数・事業費のまとめ	54
3 事業一覧	58

第 1 章 まちづくりにおける主要指標の動向

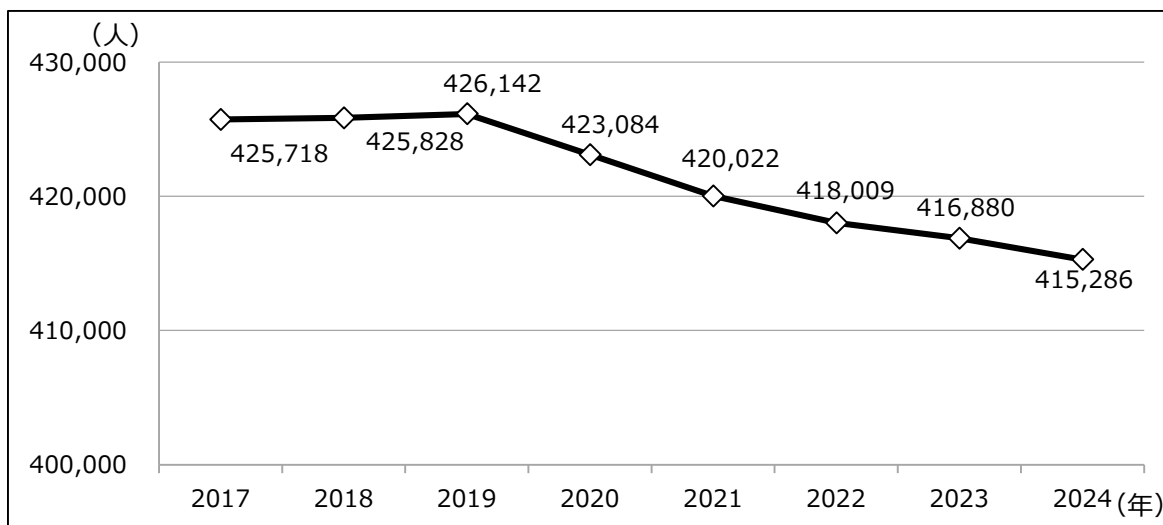
1 人口指標の推移

(1) 総人口

本市の総人口は、2019 年をピークに減少へと転じ、2024 年まで継続的に減少しています（図表 1）。

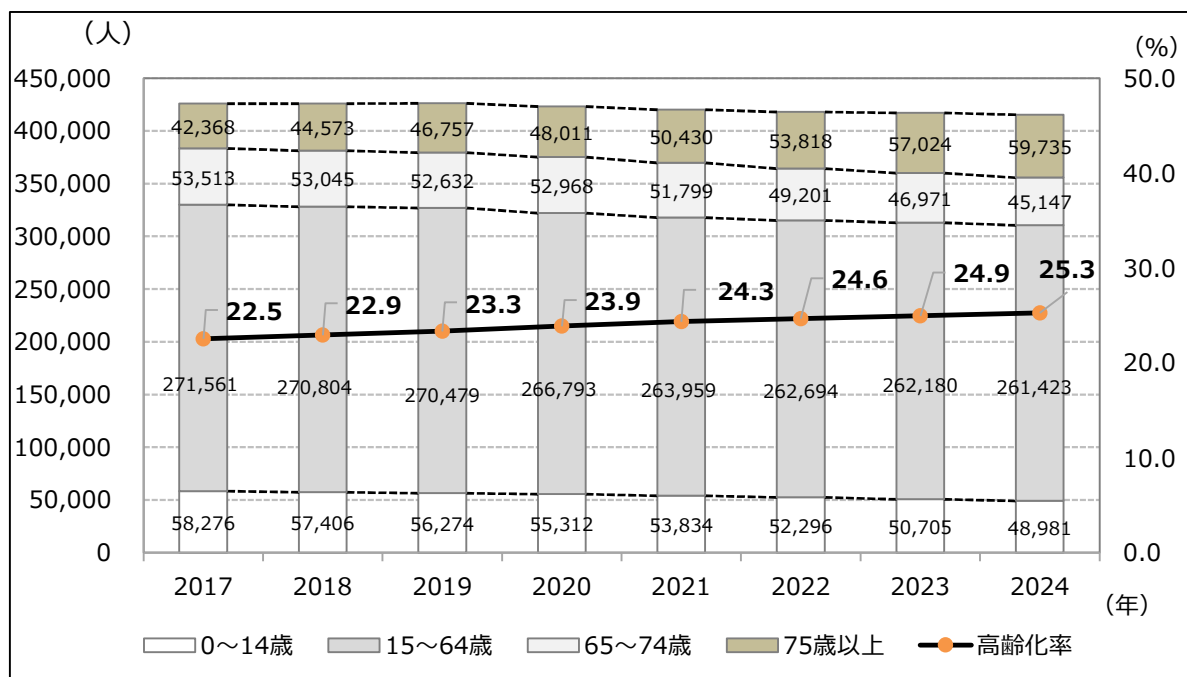
また、年齢別の人口をみると、総人口が減少する中であっても 75 歳以上の人口は増加を続けています。一方で、74 歳以下の人口は減少傾向に推移し、高齢化がさらに進んでいます（図表 2）。

図表 1 総人口の推移



出典：豊田市統計書（2024 年は住民基本台帳）

図表 2 年齢別人口の推移



出典：豊田市統計書（2024 年は住民基本台帳）

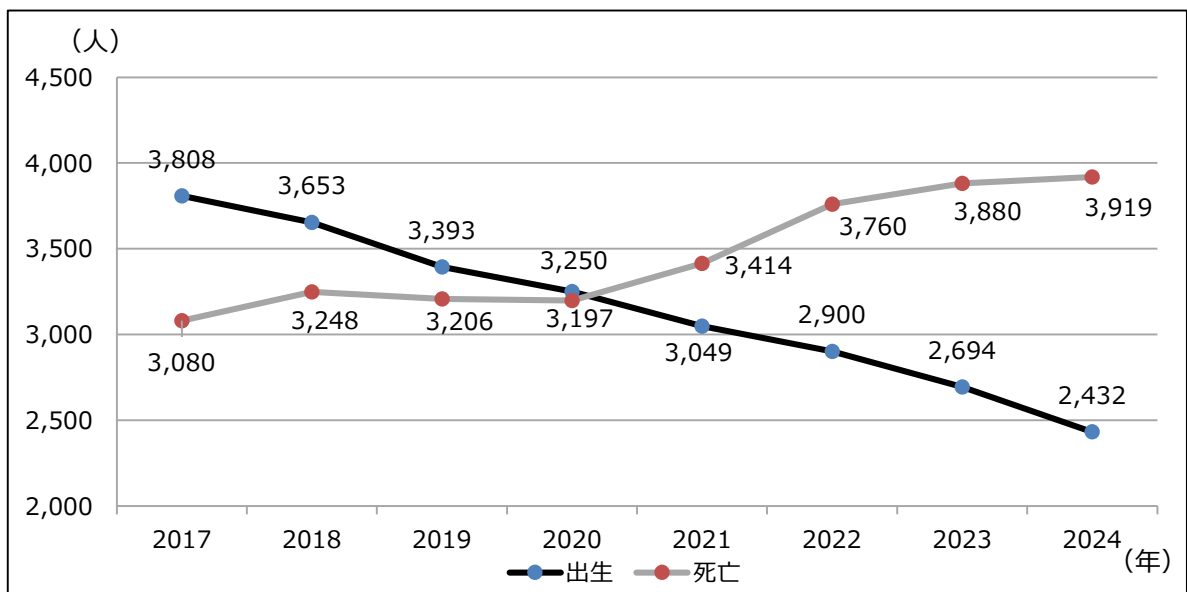
(2) 自然動態及び社会動態

本市の自然動態は 2021 年に出生数が死亡数を下回り、自然減に転じました(図表 3)。

一方、社会動態では、2020 年及び 2021 年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、就職期の転入者が大幅に減少しましたが、2022 年以降は回復基調にあります(図表 4)。

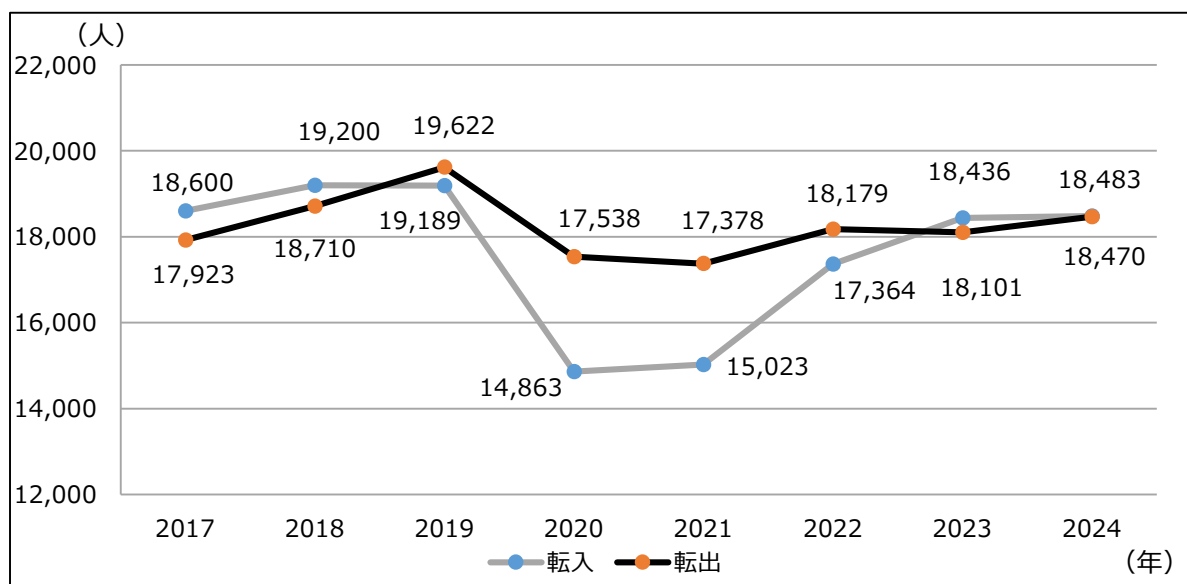
また、2024 年の年齢別の社会動態を見ると、15 歳～19 歳と 20 歳～24 歳では転入数が転出数を上回っていますが、25 歳以降は転入数が転出数を下回る傾向にあり、特に 25 歳～29 歳では大きく下回っています(図表 5)。

図表 3 自然動態の推移



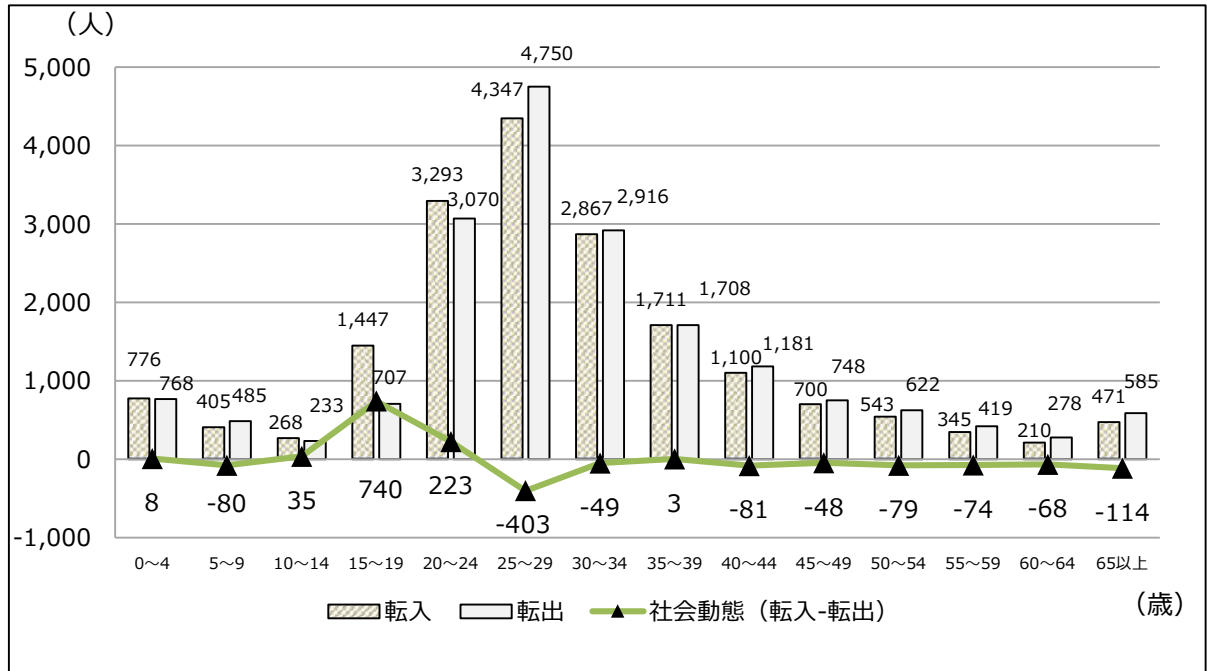
出典：豊田市統計書（2024 年は住民基本台帳）

図表 4 社会動態の推移



出典：豊田市統計書（2024 年は住民基本台帳）

図表5 年齢別社会動態（2024年）



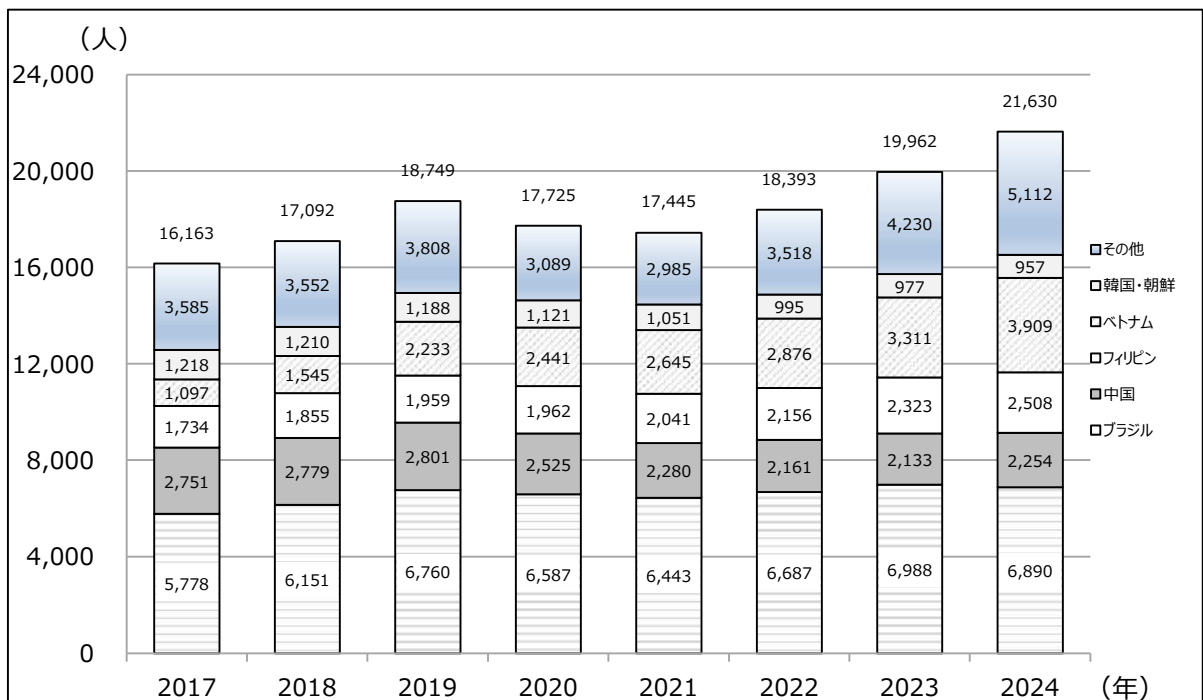
※その他増減（通常の出生・死亡・転入・転出などの要因以外で発生する変動）は含まない。

出典：住民基本台帳

（3）外国人人口

本市の外国人人口は、2019年までは増加傾向にありましたが、2020年には新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に減少しました。2022年以降は再び増加し、2024年には2万人を超え過去最高を更新しました（図表6）。

図表6 外国人人口の推移



出典：豊田市統計書（2024年は住民基本台帳）

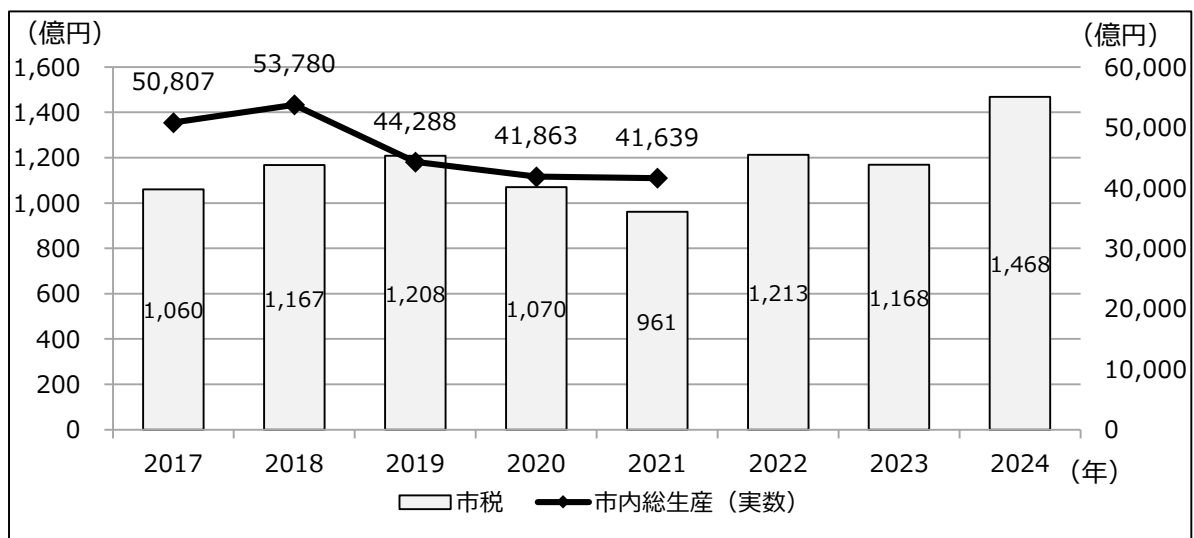
2 経済指標の推移

本市の市税収入は 2020 年及び 2021 年に、新型コロナウイルス感染症の影響により一時減少しました。特に法人市民税では、社会経済活動の停滞に伴う企業業績の変動の影響を大きく受けました（図表 7・8）。

2022 年には社会経済活動の回復に伴い、市税収入はコロナ禍前の水準に回復しました。さらに 2024 年には、企業の業績好調を背景に、法人市民税収は 2023 年度以前と比較し、大幅に増加しました。

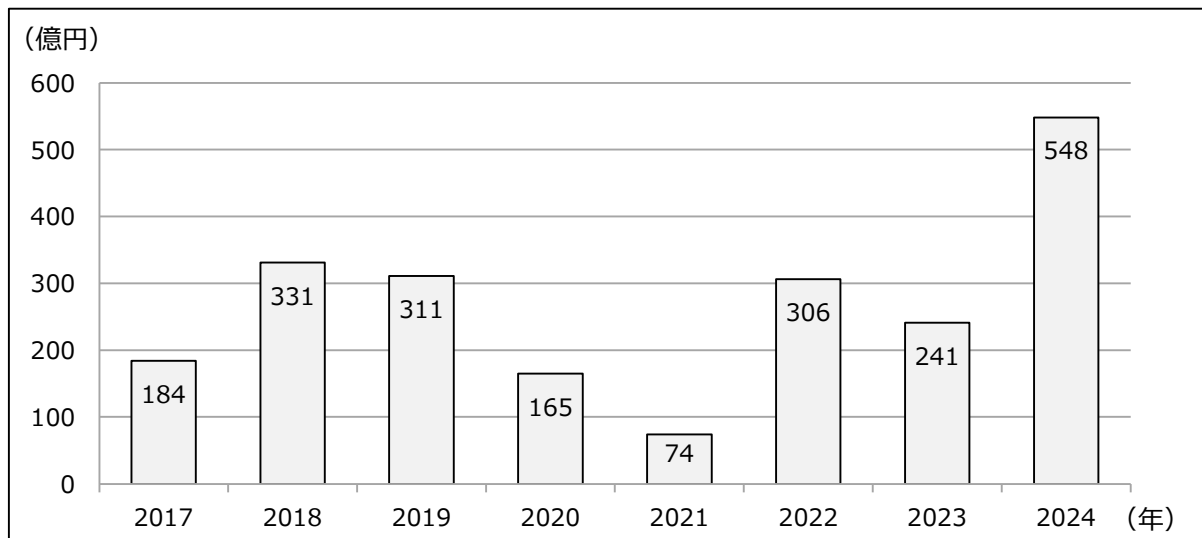
また、工場数は減少傾向にありましたが、2022 年から増加に転じ、製造品出荷額等についても 2023 年に大幅に増加しました（図表 9）。

図表 7 市内総生産と市税の推移



出典：とよたの市民経済計算 2021 年度版
豊田市統計書、予算執行実績報告書

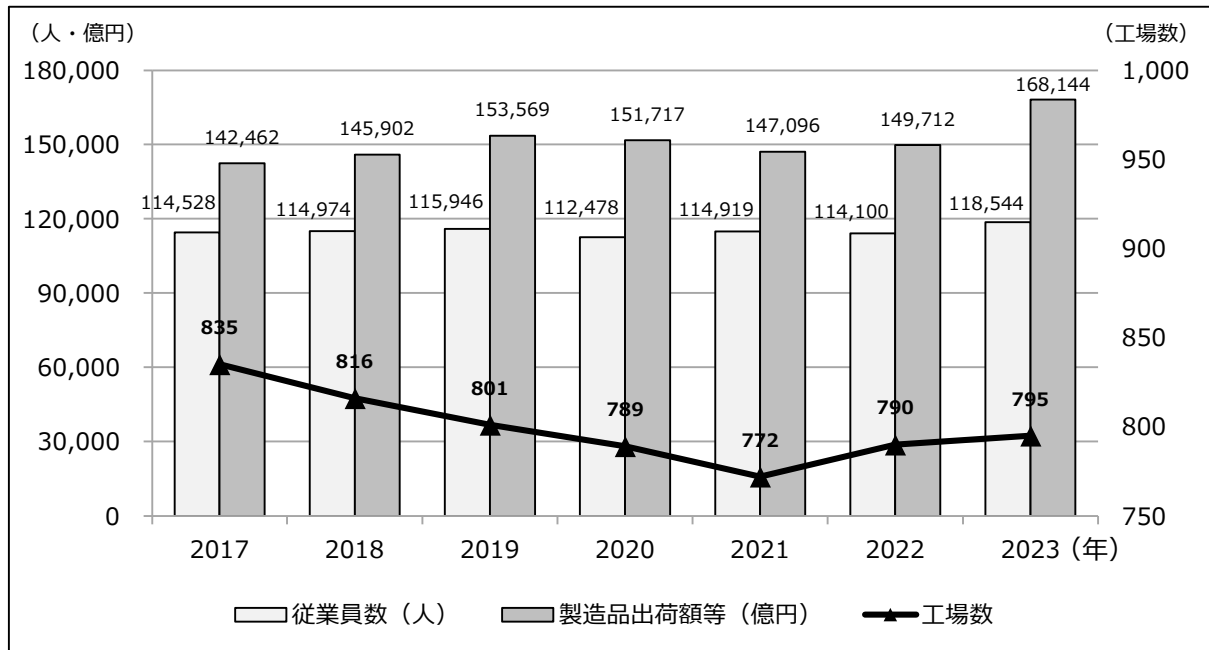
図表 8 法人市民税の推移



出典：予算執行実績報告書

図表 9 製造品出荷額等・従業員数・工場数の推移

※従業員数 4 人以上の事業所の集計



出典：豊田市の工業（～2019 年）、

豊田市統計書（2020 年、2022 年、2023 年）

令和 3 年経済センサス（2021 年）

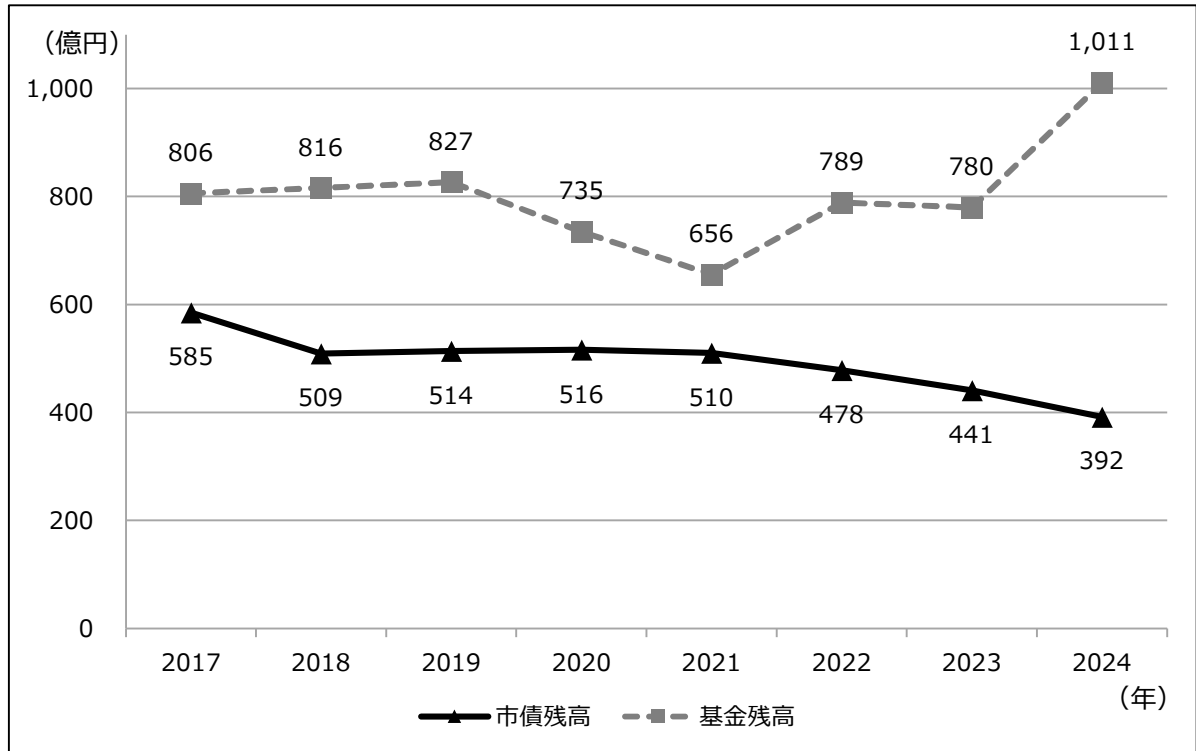
3 財政指標の推移

本市の市税収入は、企業業績の変動により大きな影響を受ける構造となっています。行政サービスの確保や施策の実現に向けて必要な財源を確保するため、市債及び基金は残高に留意しつつ、効果的に活用し財源確保と健全な財政の両立に努めました。市債残高は、2019 年度及び 2020 年度に増加したものの、年々減少し、2024 年度には 392 億円まで減少しました（図表 10）。

基金残高は 2019 年度まで増加傾向にありましたが、2020 年度以降は新型コロナウイルス感染症対応等により一時的に減少しました。その後、企業の業績好調による市税の増加などにより、2022 年度に増加に転じ、2024 年度には 1,011 億円となりました。

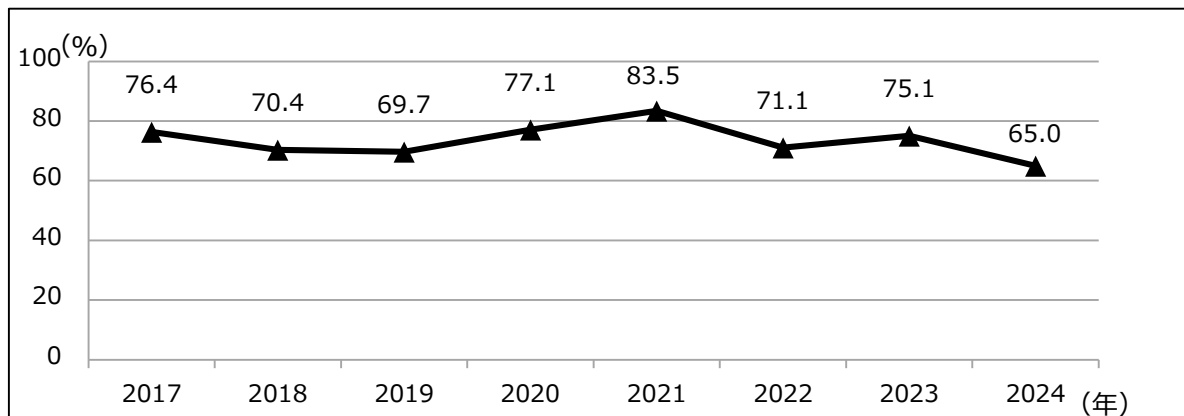
財政構造の硬直化を表す経常収支比率は、市債残高の減少などの取組により低い水準を維持していますが、今後の財政運営については、社会環境の変化のスピードが速く、先行きの見通しが難しい中、社会保障や公共施設の維持管理と更新に係る経費の増加などによる影響が見込まれます（図表 11）。

図表 10 市債残高と資金積立基金残高の推移



出典：予算執行実績報告書

図表 11 経常収支比率の推移

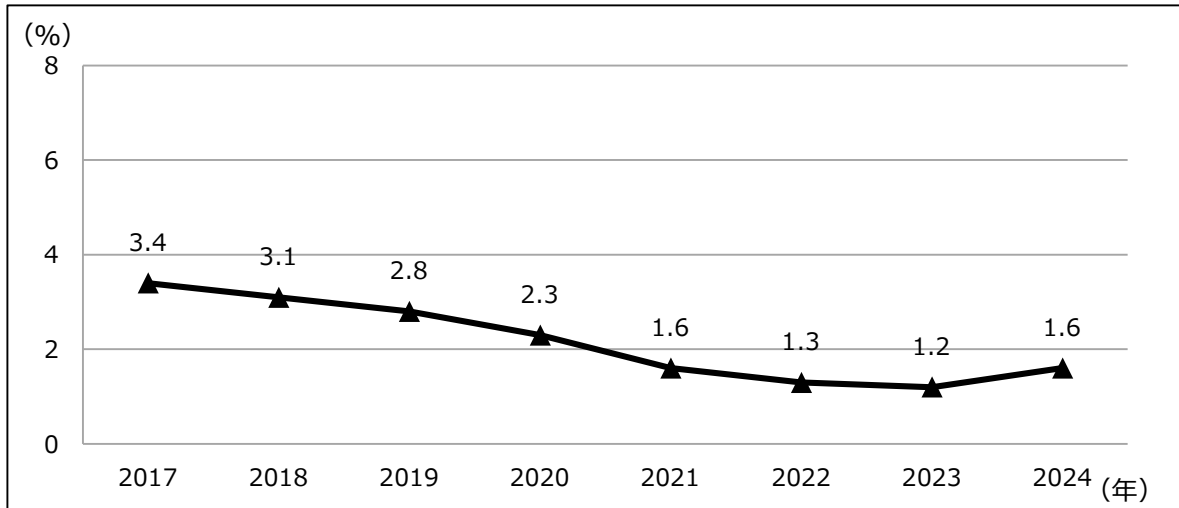


出典：予算執行実績報告書

※経常収支比率・・・自治体が自由に使えるお金のうち、人件費や生活保護費、公債費など、避けられない必要な経費が占める割合。値が低いほど独自の政策のために使えるお金が多いことを示す。

<参考> 70～80%が適正、90%以上は硬直化

図表 12 実質公債費比率の推移



出典：予算執行実績報告書

※実質公債費比率・・・公債費が財政に及ぼす負担を表す過去3か年の平均値。値が高いほど資金繰りの危険度を表す。

図表 13 財政力指数の推移

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
3年平均	1.52	1.49	1.47	1.39	1.42	1.31	1.34	1.41
単年度	1.68	1.20	1.54	1.44	1.28	1.55	1.54	1.49

出典：予算執行実績報告書

※財政力指数・・・標準的な行政サービスを行うために必要な財源をどれだけ自力で調達することができるかを表す。指数が1を超えるほど財源に余裕があるとされる。

図表 14 決算額の推移 ※百万円以下四捨五入

◆一般会計 歳入（百万円）

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
自主 財源	136,931	144,878	147,283	148,335	135,820	149,204	153,991	179,250
依存 財源	56,199	46,755	55,144	104,964	73,259	67,526	63,039	67,352
合計	193,130	191,633	202,428	253,299	209,079	216,730	217,030	246,602

出典：予算執行実績報告書

◆一般会計 歳出（百万円）

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
経常的 経費	120,938	119,064	120,282	169,676	139,144	139,103	136,775	145,672
投資的 経費	41,801	38,751	48,006	47,161	36,863	31,795	41,674	40,920
その他 経費	21,784	20,234	19,036	22,623	18,848	29,087	21,493	42,952
合計	184,523	178,050	187,325	239,460	194,854	199,984	199,943	229,543

出典：予算執行実績報告書

4 市民意識の推移

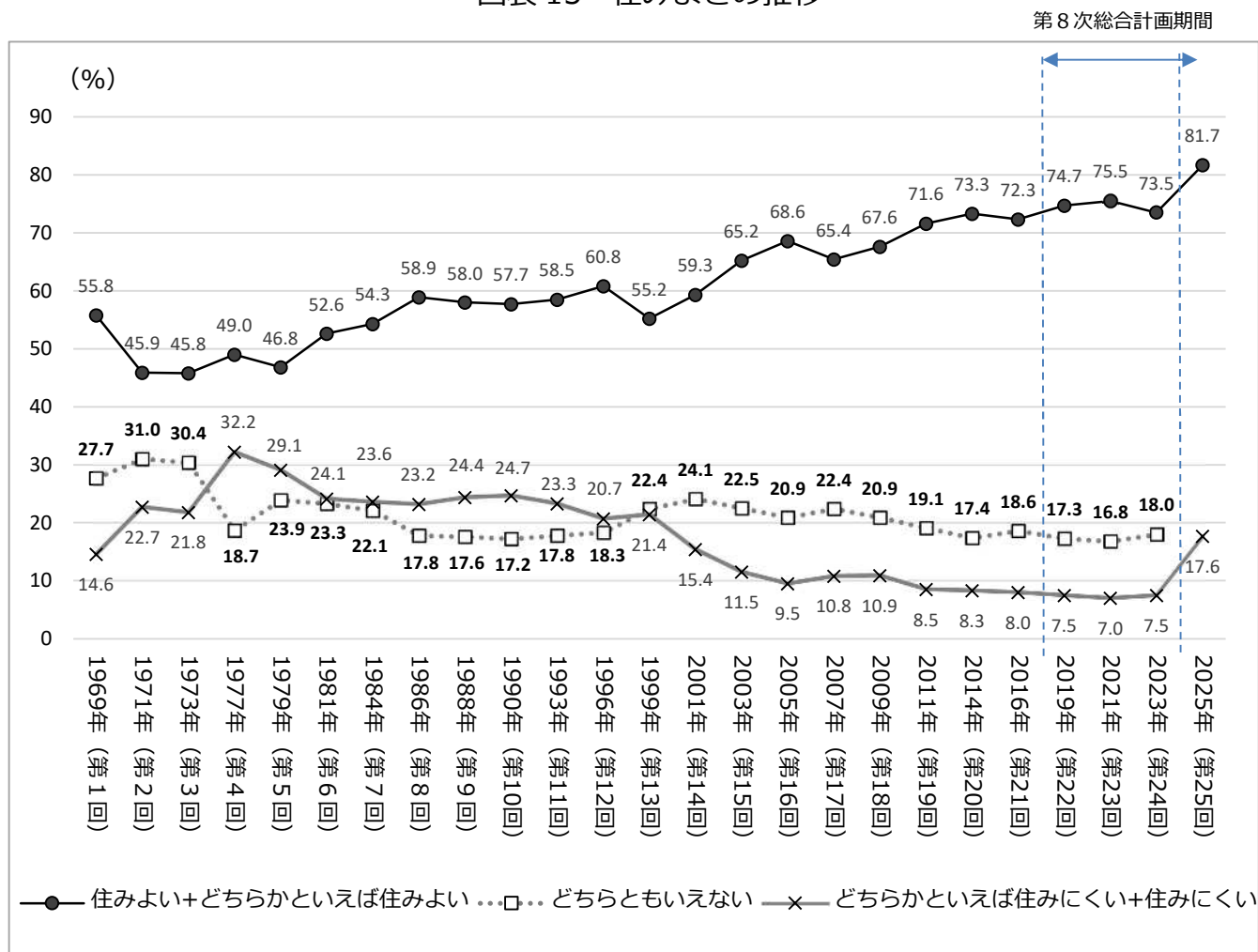
本市では、市民の市政に対する評価とこれからのまちづくりに対するニーズや意識を統計的に把握するため、1969 年から定期的に市民意識調査を実施しています。

(1) 住みよさの推移

豊田市が「住みよい・どちらかといえば住みよい」と回答した市民の割合は、2011 年調査（第 19 回）以降は 70%を超え、第 8 次総合計画期間中も 70%以上で推移し、2025 年（第 25 回）調査では、80%を超えました（図表 15）。

いずれの世代、性別でも「住みよい・どちらかといえば住みよい」と回答した市民の割合が前回調査から増加しており、特に 18 歳～19 歳と 50 歳～59 歳で大きく増加しています（図表 16）。

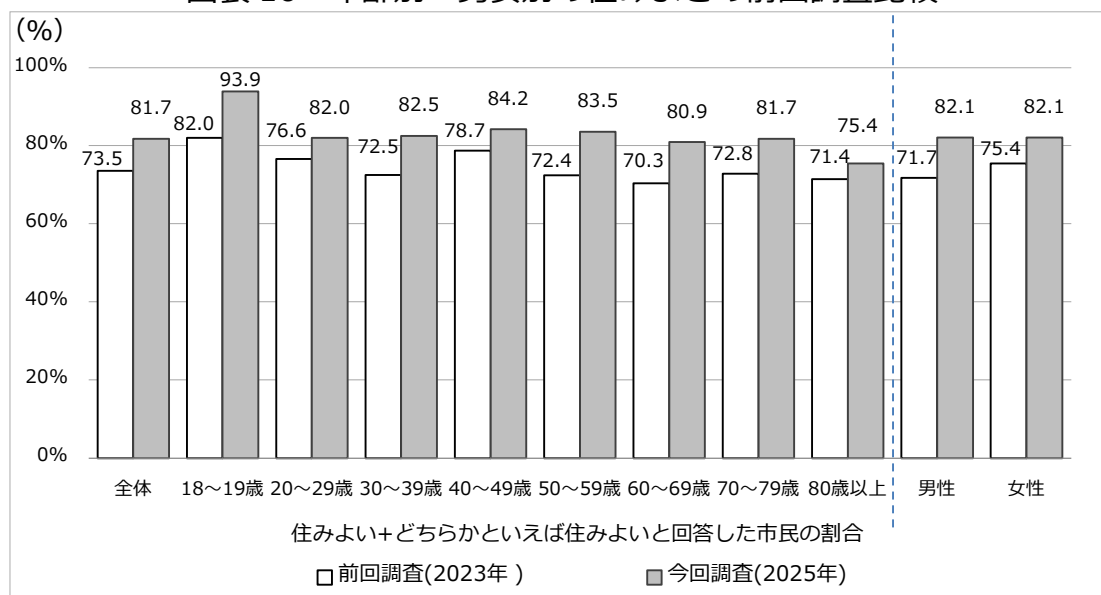
図表 15 住みよさの推移



※第 25 回（2025 年）調査では「どちららともいえない」を回答項目から除いている。

出典：第 25 回豊田市民意識調査（2025 年）

図表 16 年齢別・男女別の住みよさの前回調査比較



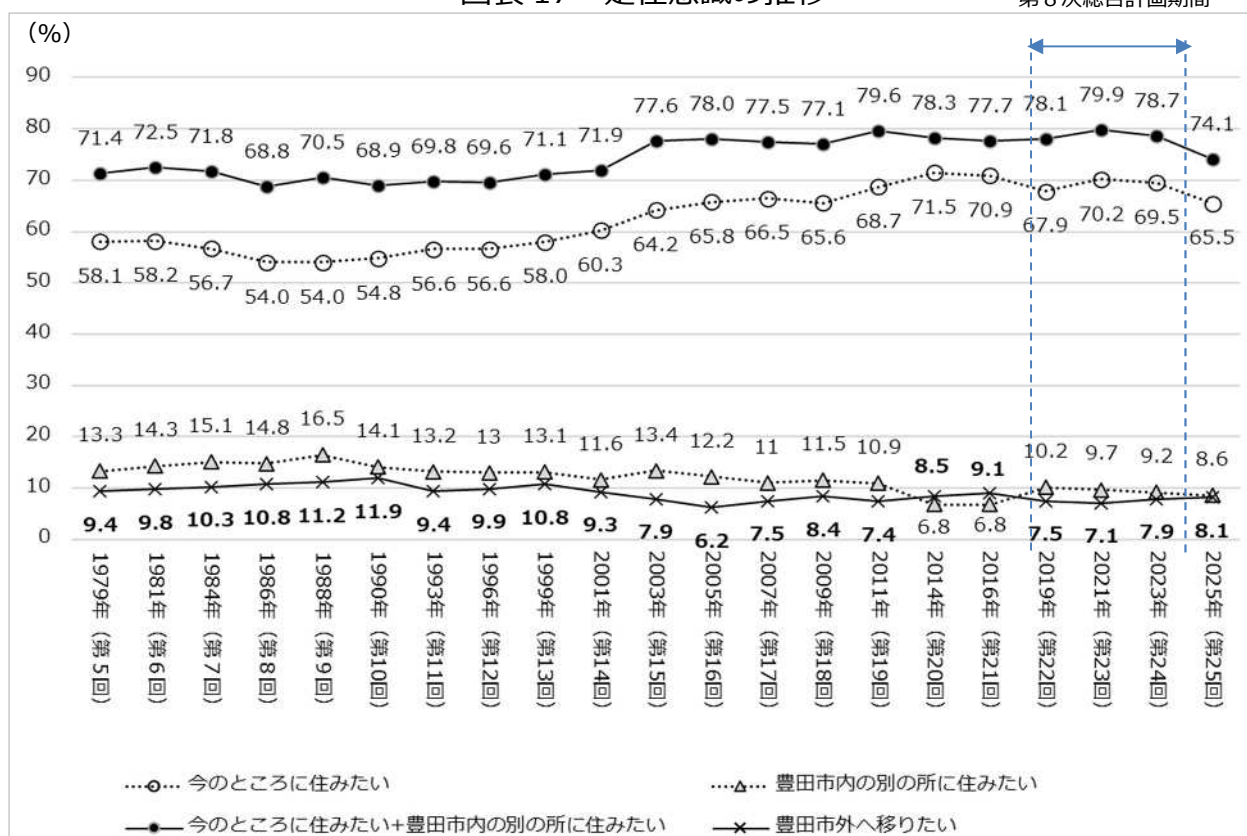
出典：第 25 回豊田市市民意識調査（2025 年）

（2）定住意識の推移

定住意識について、「今のところに住みたい+豊田市内の別のところに住みたい」と回答した市民の割合は、2025 年（第 25 回）調査では 2023 年（第 24 回）調査より減少しましたが、横ばい傾向で推移しています（図表 17）。

一方、「豊田市外へ移りたい」と回答した市民の割合は、2001 年（第 14 回）調査以降 10%未満で推移しています。

図表 17 定住意識の推移



出典：第 25 回豊田市市民意識調査（2025 年）

第 2 章 後期実践計画の総括

1 後期実践計画の総括

(1) 基本的な考え方

各施策に設定されている「**まちの状態指標**」及び「**施策の柱の成果指標**」の達成状況を踏まえて総括を行います。

●まちの状態指標

- ・「めざす姿」(※1)にどの程度近づいたかを定量的に確認するための指標
- ・指標名、基準値(計画策定時の現状値)及び2025年に向けてめざす方向を矢印(↑、↓、→)で設定

例	指標名	基準値 (基準年度)	めざす方向
	合計特殊出生率	1.61 (2018年)	↑

※1 めざす姿

- ・重点施策：施策の推進により、2040年に実現をめざすまちの姿
- ・基本施策：施策の推進により、2025年までに実現をめざすまちの姿

●施策の柱の成果指標

- ・施策の柱(※2)として設定した取組がどの程度達成できたかを定量的に確認するための指標
- ・指標名、基準値及び目標値(目標年度)を設定

例	指標名	基準値 (基準年度)	目標値 (目標年度)
	交流館の延べ利用者数	249万人 (2019年)	260万人 (2024年)

※2 施策の柱

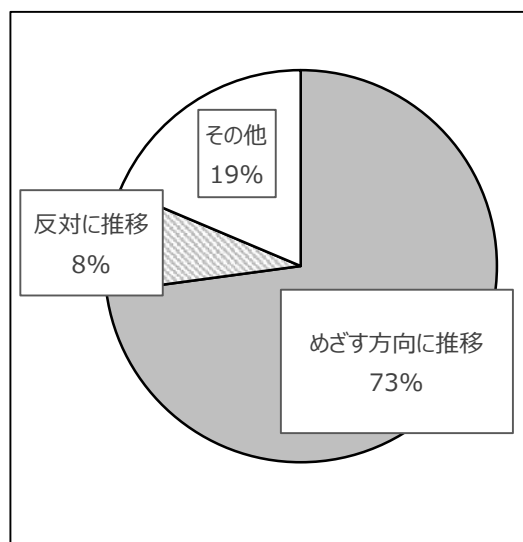
めざす姿の実現に向け、後期実践計画期間内(2021～2024年度)に優先的に取り組んでいく内容

(2) 全体の達成状況

ア まちの状態指標

全体の達成状況では、177 指標（再掲除く）のうち、約 7 割の指標においてめざす方向へ推移しました（図表 21）。

●図表 21 全体の達成状況



※再掲除く（n=177）

●達成状況の見方

各指標の基準値から、

「めざす方向に推移」

：概ねめざす方向に推移しているもの

※横ばい（±5%以内）を含む

「反対に推移」

：めざす方向と反対へ推移しているもの

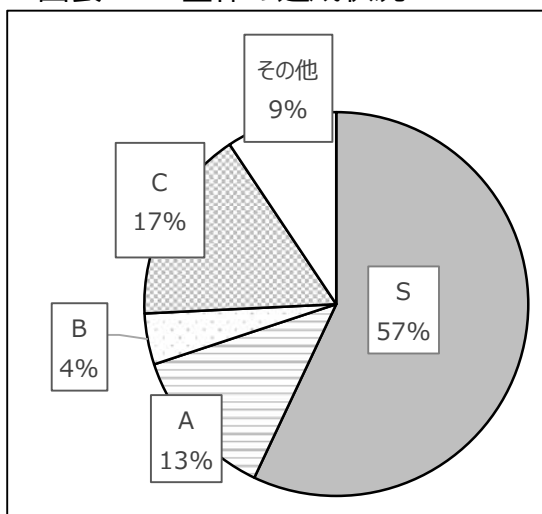
「その他」

：新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたことにより判定不可の指標、参照していた統計が公表されなくなったこと等により数値が把握できなくなった指標

イ 施策の柱の成果指標

全体の達成状況では、255 指標（再掲除く）のうち、約 7 割の指標において「S」及び「A」となりました（図表 22）。

●図表 22 全体の達成状況



※再掲除く（n=255）

●達成状況の見方

各指標の目標値に対し、

「S」：達成度が 100%以上及び完了

「A」：達成度が 70%以上

「B」：達成度が 50%以上

「C」：達成度が 50%未満及び未完了

「その他」

：新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたことにより判定不可の指標、参照していた統計が公表されなくなったこと等により数値が把握できなくなった指標

(3) 重点施策の取組状況

●重点施策（１）超高齢社会への適応

住み慣れた地域の中で、年齢や身体の状態、家庭環境等にかかわらず、社会と関わりを持ちながら、誰もが安心して、健やかに、自分らしく暮らすことができるまちを目指し、各種施策に取り組みました。

主な取組内容としては、官民連携による介護予防事業「ずっと元気！プロジェクト」の推進をはじめ、高齢者向けの多様な健康づくりの場の提供や、介護人材の就職機会の支援等を通じて介護人材の確保に努めました。

さらに、2022 年度には豊田地域医療センターの再整備が完了し、施設内に「地域リハ イノベーションセンター」を開設するなど、医療体制の充実と在宅医療の環境整備を進めました。

また、身近な地域での相談業務を行う「福祉の相談窓口」を 12 か所設置するなど、多様化した困りごとを支援機関等が連携して一体的に支援する重層的支援体制の整備を進め、住み慣れた地域で医療・福祉サービスが受けられる体制の整備に取り組みました。



ずっと元気！プロジェクト



地域リハ イノベーションセンター

その結果、まちの状態指標においては「健康寿命の延伸」や「看取りの件数」など、約 7 割の指標がめざす方向へ推移しました。

また、施策の柱の成果指標では「シニアアカデミー受講者数」や「自立相談支援機関によるアウトリーチ件数」など、約 5 割の指標で目標値を上回っており、安心して健やかに自分らしく暮らすことができるまちに向けて進展していると評価できます。

一方、「会・グループへ月 1 回以上参加している高齢者の割合」や「要支援・要介護認定者の認定率」に関する指標は、めざす方向と反対に推移しました。これらは、新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えなどが要因と考えられます。

●重点施策（２）「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

産業拠点としての生産・研究機能の高度化や産業構造の多角化を支援するとともに、子育て世代に選ばれるまちづくりの推進に取り組みました。

主な取組内容としては、官民連携による「豊田市 DX 推進プラットフォーム」の構築をはじめ、設備投資や人材育成を通じて、多様な業種における事業の効率化や新たな事業創出を促進しました。

また、2022 年には世界ラリー選手権が開催され、2023 年からは全国で初めて本市が主体となった大会を２回開催し、ラリーのまちとして本市の魅力を国内外に発信しました。

さらに、2024 年には、「みんなでつくりつづける」をコンセプトとした博物館が開館し、市民や団体との連携による取組を進めました。

くわえて、ライフスタイルに応じた住宅、宅地の供給のほか、おいでん・さんそんセンターを中心に山村地域への移住・定住促進にも取り組みました。



世界ラリー選手権



豊田市博物館

産業分野においては、特に新型コロナウイルス感染症等の社会的影響を大きく受けたものの、まちの状態指標では「人口一人当たりの市民家計所得」や「都市計画区域内の人口」などがめざす方向へと推移しました。

施策の柱の成果指標では、「産業用地創出面積」や「スタートアップ・ベンチャーへの支援件数」が目標値を上回っており、企業の新たな事業展開やイノベーション創出が進展していると評価できます。

●重点施策（３）まちの課題解決力の強化

多様な主体がそれぞれの強みを生かしてつながり、支え合う仕組みを支援するとともに、社会環境変化に柔軟に対応できる取組の強化を図りました。

主な取組内容としては、「豊田市つながる社会実証推進協議会」や「とよた SDGs パートナー」など、多様なつながりを活用した地域課題解決に取り組みました。

また、デジタル技術の活用による窓口業務のスマート化や行政サービスの質の向上を図り、市民の利便性向上につなげました。



まちモビ



スマート窓口

その結果、まちの状態指標では「豊田市で展開された実証事業の延べ実装件数」や「デジタル化によって行政サービスが便利になったと感じる市民の割合」など、全ての指標がめざす方向へ推移しています。

また、施策の柱の成果指標である「豊田市つながる社会実証推進協議会による新規実証事業件数」は目標を大きく上回るなど、公民連携を始め多様な主体の参加による地域課題の解決が着実に進展していると評価できます。

(4) 施策別の達成状況

ア まちの状態指標

重点施策の達成状況では、「(1) 超高齢社会への適応」及び「(3) まちの課題解決力の強化」において、多くの指標がめざす方向へ推移しました。

一方、「(2)『ひと』と『しごと』が集まるミライへの投資」に関しては、観光・交流に関する指標が新型コロナウイルス感染症の影響等を大きく受けました(図表 23)。

基本施策の達成状況では、特に「Ⅵ 環境」において、全ての指標がめざす方向へ推移しており、環境行動や生物多様性に関する指標の達成度が高く、人と自然が共生する環境にやさしいまちの実現に寄与しました(図表 24)。



ラムサール条約湿地



交通安全学習センター

また、「Ⅰ 子ども・子育て」、「Ⅲ 健康・福祉」及び「Ⅳ 安全・安心」においては、8 割以上の指標がめざす方向へ推移しており、こども園や放課後児童クラブ等の待機児童数、食事に関する市民の意識、交通事故死傷者数などの達成度が高く、子育て支援や市民の生活に身近な施策を着実に推進しました。

●図表 23 「まちの指標」施策別の達成状況(重点施策)

	めざす方向に推移	反対に推移	その他	合計
(1)超高齢化社会への適応	7	0	2	9
(2)「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資	3	2	5	10
(3)まちの課題解決力の強化	4	0	0	4
■重点施策合計	14	2	7	23

●図表 24 「まちの指標」施策別の達成状況（基本施策）

	めざす方向に推移	反対に推移	その他	合計
I 子ども・子育て	11	0	1	12
II 生涯学習	23	3	6	32
III 健康・福祉	17	1	2	20
IV 安全・安心	19	3	0	22
V 産業・観光・交流	16	3	12	31
VI 環境	11	0	0	11
VII 都市整備	16	3	6	25
VIII 地域経営	9	0	4	13
■基本施策合計（再掲除く）	115	13	26	154

イ 施策の柱の成果指標

重点施策の達成状況では、重点施策「（１）超高齢社会への適応」において、約 6 割の指標が「S」及び「A」となり、高齢者の学びや就労支援、安心して暮らせる地域包括支援体制の構築に関する指標の達成度が高くなりました（図表 25）。



放課後児童クラブ

基本施策の達成状況では、基本施策「I 子ども・子育て」において、子どもの権利の保障や、安心して子どもを預けられる環境整備など、約 8 割の指標が「S」となりました（図表 26）。

「VI 環境」では、再生可能エネルギーの普及促進など脱炭素社会の実現に向けた取組を始めとした約 8 割の指標が「S」となりました。

そのほか、「IV 安全・安心」においては、防災・減災につながる都市機能の整備や、地域ぐるみの防犯体制の強化などを通じて、市民の生命や財産が守られ安全・安心に暮らせるまちの実現に寄与しました。



E V 充電器

●図表 25 「成果指標」施策別の達成状況（重点施策）

	S	A	B	C	その他	合計
（１）超高齢社会への適応	3	2	1	1	1	8
（２）「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資	3	1	0	1	0	5
（３）まちの課題解決力の強化	1	1	0	1	0	3
■重点施策合計	7	4	1	3	1	16

●図表 26 「成果指標」施策別の達成状況（基本施策）

	S	A	B	C	その他	合計
I 子ども・子育て	10	1	0	2	0	13
II 生涯学習	26	4	1	13	8	52
III 健康・福祉	22	5	2	5	3	37
IV 安全・安心	25	6	1	3	1	36
V 産業・観光・交流	25	4	1	9	7	46
VI 環境	16	0	0	4	0	20
VII 都市整備	16	7	4	6	2	35
VIII 地域経営	7	4	1	1	5	18
■基本施策合計（再掲除く）	139	28	10	39	23	239

2 新型コロナウイルス感染症の影響

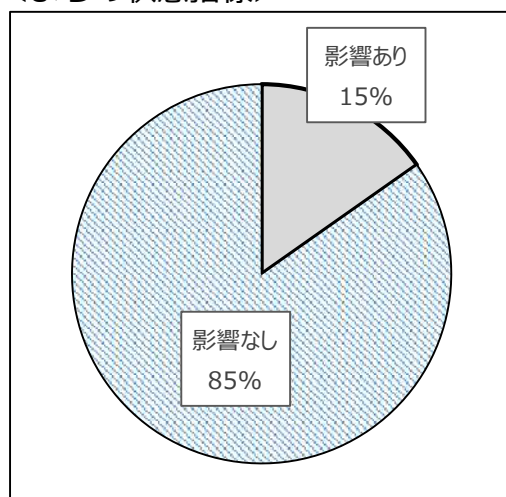
(1) 指標へ与えた影響

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が各指標へ与えた影響について、事業の担当部署に調査を実施した結果、まちの状態指標においては、再掲を除く 177 指標のうち、27 指標（15%）が影響を受けていたことが判明しました（図表 27）。

また、まちの状態指標を施策別で見ると、重点施策「(2)『ひと』と『しごと』が集まるミライへの投資」、基本施策「Ⅱ 生涯学習」、「Ⅴ 産業・観光・交流」、「Ⅶ 都市整備」において、多くの指標が新型コロナウイルス感染症の影響を受けました（図表 28）。

●図表 27 新型コロナウイルス感染症が指標へ与えた影響

<まちの状態指標>

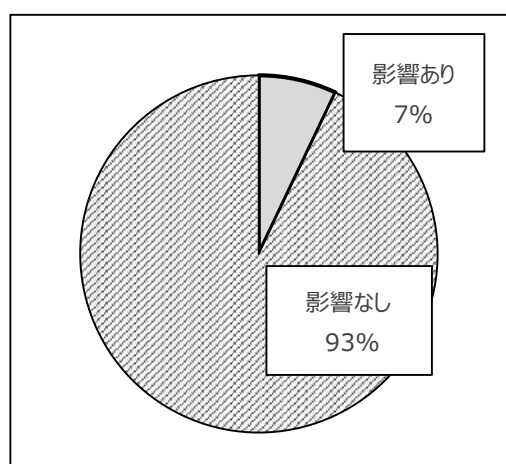


※再掲除く（n=177）

「影響あり」の例

- ・ 中心市街地の歩行者通行量
- ・ 市内総生産
- ・ 市内製造業の有形固定資産投資額（従業員 30 人以上）
- ・ 公共交通の利用者数
- ・ 地域活動やボランティア活動

<施策の柱の成果指標>

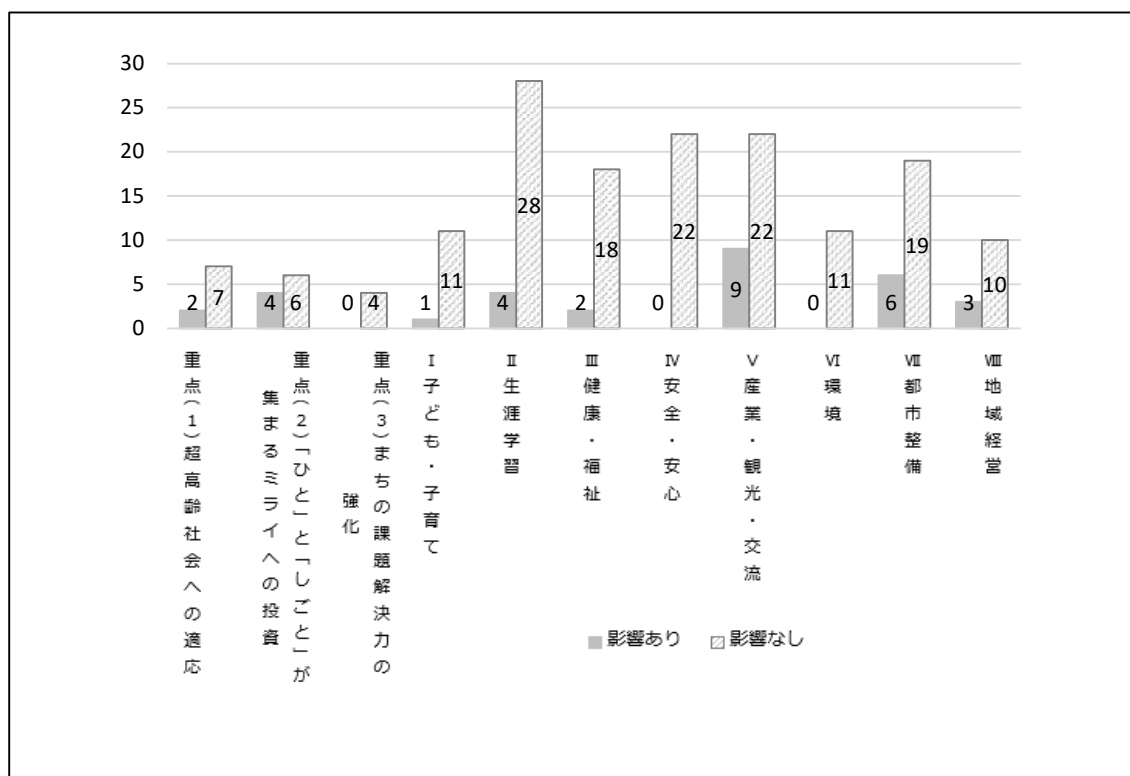


※再掲除く（n=255）

「影響あり」の例

- ・ 観光施設の入込客数
- ・ 文化事業のイベント参加者数
- ・ 国際交流に関する参加者数

●図表 28 コロナの影響を受けたまちの状態指標（施策別）



※再掲含む (n=189)

3 第8次総合計画のまとめ

(1) 第8次総合計画全体（2017年度～2024年度）の評価

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたものの、359 項目のまちの状態指標のうち、7 割を超える指標がめざす方向に推移しました。その中でも、重点施策「(1) 超高齢社会への適応」では8 割を超える指標が、基本施策「I 子ども・子育て」では9 割を超える指標がめざす方向へ推移しており、前期・後期を通して、子どもや子育て世帯、高齢者といった幅広い世代に対して、施策の推進を図ることができました（図表 29）。

また、2025 年に実施した市民意識調査における「豊田市が住みよいまちだと思う（※）」と回答した市民が約 8 割を超え、施策推進の成果が市民の暮らしに良い影響をもたらし、市民からの評価につながったとみることができます。

さらに、各種ランキングにおいては、一般社団法人日本総合研究所による全 47 都道府県幸福度ランキングで 2016 年に中核市総合 1 位を獲得して以降、2024 年の調査まで 5 回連続、10 年間中核市総合 1 位を獲得しています。

くわえて、日経グローバルによる 2024 年度の「全国市区第 4 回 SDGs 先進度調査」で 1 位を獲得するなど高評価を得ており、基本構想に掲げる「将来都市像」や「めざす姿」の実現に向けたまちづくりを市民、地域、企業、行政が共働で進めることができました。

※本市を「住みよい」又は「どちらかといえば住みよい」と回答した割合

●図表 29 前期・後期を通した施策別の達成状況

	前期	後期	めざす方向に推移	反対に推移	その他	合計
重点施策	(1)超高齢化社会への適応		23	2	2	27
	(2)産業の強靱化	(2)「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資	16	5	5	26
	(3)暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出					
		(3)まちの課題解決力の強化	4	0	0	4
基本施策	Ⅰ 子ども・子育て		15	0	1	16
	Ⅱ 生涯学習		46	14	6	66
	Ⅲ 健康・福祉		28	6	2	36
	Ⅳ 安全・安心		37	6	0	43
	Ⅴ 産業・観光・交流		48	9	15	72
	Ⅵ 環境		21	5	0	26
	Ⅶ 都市整備		38	6	8	52
	Ⅷ 地域経営		15	1	4	20
総計（再掲除く）			269	52	38	359

(2) 第8次総合計画全体（2017年度～2024年度）のまとめ

第8次総合計画では、団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」を意識し、超高齢社会に適応するための体制を整え、特に在宅医療に必要な仕組みの構築などを進めてきました。

また、都市内分権による地域課題の解決を図るとともに、都市と山村の共生に向けた交流・関係人口の創出を進めたほか、大規模国際イベントの誘致・開催により国内外から大きく注目され、地域の賑わいや活性化にも寄与しました。

こうした数々の取組により、市民意識調査における「住みよさ」が高い値で推移するとともに、全47都道府県幸福度ランキングなど各種ランキングでは高い評価を得ることができました。

特に、新型コロナウイルス感染症の発生・感染拡大や全国的な物価高騰などの社会的影響を大きく受け、市民の暮らしを一変させる出来事を経験しながらも、本市がめざすまちづくりを着実に推進しました。

(3) 第9次総合計画に基づく新しいまちづくり

第8次総合計画がスタートした当時の社会環境とは異なり、本市においても、人口減少社会が到来していることに加え、これまで以上に変化の激しい予測困難な社会となっています。

そのため、これまで積み上げてきたまちづくりの成果を踏まえつつ、人口減少社会においても持続可能なまちを目指し、2030年までの5か年で特に注力する取組の方向性を示す「第9次総合計画 ミライ実現戦略 2030」を2025年3月に策定しました。

第9次総合計画では、若年層をはじめ広く人々にとって魅力ある「選ばれるまち」の実現に向け、チェンジ・チャレンジ思考で本市の多様な地域性を生かした取組を進め、まちの総合力を高めていきます。

第 3 章 資料編

1 指標別の達成状況

※目標値が「毎年度〇〇人以上」等の指標設定の場合、期間内の平均値で評価し、最新指標値の欄には最新の単年度の把握値を記載

＜「まちの状態指標」凡例＞

「○（めざす方向に推移）」：概ねめざす方向（横ばい（±5%以内）を含む）に向かって推移している

「×（反対に推移）」：めざす方向と反対に推移している

「―（その他）」：新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたことにより判定不可の指標、参照していた統計が公表されなくなったこと等により数値が把握できなくなった指標

＜「施策の柱の成果指標」凡例＞

「S」：達成度が100%以上及び完了 「A」：達成度が70%以上

「B」：達成度が50%以上 「C」：達成度が50%未満及び未完了

「―（その他）」：新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたことにより判定不可の指標、参照していた統計が公表されなくなったこと等により数値が把握できなくなった指標

【後期実践計画重点施策】まちの状態指標

（1）超高齢社会への適応

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
健康寿命 ①男性、②女性	①80.5 歳 ②84.0 歳 (2015 年度)	↑	①81.0 歳 ②84.9 歳 (2020 年度)	①○ ②○
要支援・要介護認定者の認定率 ①65 歳、②70 歳、③75 歳(4 月 1 日時点)	①1.51% ②3.62% ③7.73% (2020 年度)	↓	①1.69% ②3.26% ③7.56% (2025 年度)	①― ②○ ③○
会・グループへ月一回以上参加している高齢者の割合	60.8% (2019 年度)	↑	54.1% (2022 年度)	―
「高齢者が安心して暮らすことのできるまち」として満足している市民の割合	41.4% (2019 年度)	↑	39.8% (2025 年度)	○
看取りの件数	306 件 (2018 年度)	↑	567 件 (2024 年度)	○
「障がい者にとって暮らしやすいまち」だと思う障がい者の割合	60.1% (2019 年度)	↑	63.4% (2022 年度)	○

（2）「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
市内製造業の有形固定資産投資額(従業員数 30 人以上)	295,123 百万円 (2017 年)	↑	255,427 百万円 (2022 年)	―
市内製造品出荷額等に対する付加価値率(従業員数 300 人未満)	33.8% (2017 年)	↑	26.5% (2022 年)	―
市内総生産	5 兆 645 億円 (2017 年度)	↑	4 兆 1,639 億円 (2021 年度)	―

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
人口 1 人当たりの市民家計所得	4,045 千円 (2017 年度)	↑	4,130 千円 (2022 年度)	○
個人市民税の所得割額	319 億円 (2020 年度)	↑	297 億円 (2024 年度)	×
都市計画区域内の人口(10 月 1 日時点)	405,752 人 (2019 年度)	↑	397,152 人 (2024 年度)	○
家族形成期にある世代(25 歳～39 歳)の転出超過数(直近 4 年度の平均)	598 人 (～2019 年度)	↓	917 人 (2024 年度)	—
山村地域への転入・転居者数	490 人 (2019 年度)	↑	439 人 (2024 年度)	—
今住んでいるところに長く住みたいと思う市民の割合	67.9% (2019 年度)	↑	65.5% (2025 年度)	○
合計特殊出生率	1.61 (2018 年度)	↑	1.33 (2024 年度)	×

(3) まちの課題解決力の強化

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
豊田市で展開された実証事業の延べ実装件数(市把握分)	9 件 (2016～2019 年度)	↑	28 件 (2024 年度)	○
都市と山村の交流事業の延べ参加者数	11,822 人 (2019 年度)	↑	13,104 人 (2024 年度)	○
デジタル化によって行政サービスが便利になったと感じる市民の割合	—	↑	43.0 % (2025 年度)	○
公共施設等における重大事故件数	0 件 (2019 年度)	→	0 件 (2024 年度)	○

【後期実践計画重点施策】施策の柱の成果指標

(1) 超高齢社会への適応

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
地域主体の健康づくりに取り組む中学校区数(年度末時点、市支援分)	16 地区 (2019 年度)	28 地区 (2024 年度)	23 地区 (2024 年度)	B
健康づくり事業への参加者数(市実施・支援分)	176,988 人 (2019 年度)	毎年度 188,500 人以上 (2021～2024 年度)	—	—
シニアアカデミー「通年コース」・「専門コース」「はじめての一步講座」受講者数	294 人 (2019 年度)	328 人 (2024 年度)	253 人 (2024 年度)	C
セカンドライフ&キャリア支援事業(エスプレッソ)への参加者数(4 年累計)	—	200 人 (2021～2024 年度)	842 人 (2021～2024 年度)	S
医療・介護連携に係る多職種連携研修の参加者数	—	毎年度 3,000 人以上 (2021～2024 年度)	2,555 人 (2024 年度)	A
キャリアアップ支援研修の参加者数(4 年累計)	—	120 人 (2021～2024 年度)	108 人 (2024 年度)	A
自立相談支援機関によるアウトリーチ件数	1,922 件 (2019 年度)	2,130 件 (2024 年度)	2,581 件 (2024 年度)	S
社会参加のマッチングを支援した地域包括支援センターの数	—	20 か所 (2024 年度)	22 か所 (2024 年度)	S

(2)「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
産業用地創出面積(4年累計)	—	20ha (2021～2024年度)	39ha (2024年度)	S
新たな事業展開への取組件数 (4年累計、市制度活用分)	—	40件 (2021～2024年度)	67件 (2024年度)	S
スタートアップ・ベンチャーへの支援件数(4年累計)	—	8件 (2021～2024年度)	12件 (2021～2024年度)	S
市街化調整区域内地区計画の活用による都市計画決定時の予定宅地数(4年累計)	—	700戸 (2021～2024年度)	249戸 (2021～2024年度)	C
空き家・空き地情報バンクの成約数	26件 (2019年度)	毎年度35件以上 (2021～2024年度)	34件 (2024年度)	A

(3)まちの課題解決力の強化

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
豊田市つながる社会実証推進協議会による新規実証事業件数	10件 (2019年度)	毎年度10件以上 (2021～2024年度)	16件 (2024年度)	S
おいでん・さんそんセンターによる都市と山村の交流コーディネート件数(4年累計)	—	200件 (2024年度)	196件 (2024年度)	A
学校の活動にボランティアとして参加した人数	5,280人 (2019年度)	5,500人以上 (2024年度)	4,815人 (2024年度)	C

【後期実践計画基本施策】まちの状態指標

I 子ども・子育て

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
豊田市子ども条例の認知度 ①小学生低学年、②小学生高学年、③中学生、 ④高校生、⑤一般市民	①6.0% ②22.3% ③28.6% ④33.6% ⑤27.3% (2018 年度)	↑	①11.7% ②30.3% ③48.1% ④41.9% ⑤30.2% (2023 年度)	①○ ②○ ③○ ④○ ⑤○
近所で児童虐待を受けていると思われる子どもを見つけたとき、市役所、児童相談所、警察等に連絡できる市民の割合	69.8% (2019 年度)	↑	70.9% (2025 年度)	○
地域主体による支援の必要な子どもの居場所(子ども食堂、学習支援)①開設箇所数、②利用児数	①18 か所 ②2,775 人 (2019 年度)	↑	①43 か所 ②3,185 人 (2024 年度)	①○ ②○
子育て世帯のうち、「出産、子育てがしやすいまち」として満足している割合	72.6% (2019 年度)	↑	64.1% (2025 年度)	—
就学前児童のいる世帯のうち、子育てに自信がない市民の割合	44.2% (2018 年度)	↓	45.7% (2023 年度)	○
こども園等の待機児童数(4 月 1 日時点)	0 人 (2019 年度)	→	0 人 (2024 年度)	○
放課後児童クラブの待機児童数(5 月 1 日時点)	0 人 (2019 年度)	→	0 人 (2024 年度)	○

II 生涯学習

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合 ①小学生、②中学生	①74.5% ②71.8% (2019 年度)	↑	①73.1% ②72.4% (2025 年度)	○
保全改修を実施した学校数(年度末時点)	70 校 (2019 年度)	↑	87 校 (2022 年度)	○
長寿命化改修を実施した学校数(年度末時点)	—	↑	—	—
トイレ再整備を実施した箇所数(年度末時点)	433 か所 (2019 年度)	↑	707 か所 (2024 年度)	○
将来、教室不足が発生する可能性のある学校数(年度末時点)	2 校 (2019 年度)	↓	0 校 (2024 年度)	○
学校給食衛生管理基準改定以後に整備した給食センター数(年度末時点)	2 施設 (2019 年度)	↑	2 施設 (2024 年度)	○
食物アレルギーがある児童生徒でも安全に給食を食べられる学校数(年度末時点)	55 校 (2019 年度)	↑	64 校 (2024 年度)	○
地域の行事や活動(ボランティア活動、地域のお祭り、ボーイ・ガールスカウト)に参加している割合 ①小学校低学年、②小学校高学年、③中学生、 ④高校生、⑤青少年(19 歳～29 歳)	①84.1% ②86.4% ③72.4% ④38.1% ⑤18.4% (2018 年度)	↑	①80.0% ②86.0% ③68.5% ④37.4% ⑤— (2023 年度)	①○ ②○ ③— ④○ ⑤—

指標名	基準値	めざす 方向	最新指標値	達成 状況
1年以内に、小・中学校の活動又は児童生徒とともに 行う地域の活動に参加した市民の割合	28.6% (2019 年度)	↑	18.1% (2025 年度)	—
ものづくりに興味のある児童生徒の割合 ①小学校 5 年生、②中学校 2 年生	①80.7% ②64.4% (2016 年度)	↑	①62.8% ②65.9% (2024 年度)	①× ②○
子どものものづくり学習を支える企業・団体等 の数(年度末時点)	118 団体 (2019 年度)	↑	121 団体 (2024 年度)	○
65 歳以上の市民のうち、日ごろの生活の中で 生きがいを感じている割合	75.9% (2019 年度)	↑	75.6% (2025 年度)	○
65 歳以上の市民のうち、地域の活動や NPO・ ボランティア活動などに参加している割合	68.0% (2019 年度)	↑	48.1% (2025 年度)	—
60 歳以上の市民のうち、就業している割合	35.4% (2019 年度)	↑	34.5 % (2025 年度)	○
0 歳～3 歳児を持つ女性の就業継続者の割合	50.7% (2018 年度)	↑	—	—
「女性が活躍できる環境が整っているまち」と して満足している市民の割合	30.6% (2019 年度)	↑	28.2 % (2025 年度)	×
1 日 60 分以上運動をする小学生 ①男子(小学校 5 年生) ②女子(小学校 5 年生)	①49.0% ②28.3% (2019 年度)	↑	①47.2% ②24.6% (2024 年度)	①○ ②×
週 1 回以上のスポーツをする成人	55.7% (2020 年度)	↑	55.6% (2024 年度)	○
過去 1 年間にスポーツを観戦した市民の割合	29.1% (2020 年度)	↑	39.8% (2024 年度)	○
過去 1 年間にスポーツの指導やボランティアな どスポーツイベントや教室の運営に参加した市 民の割合	5.2% (2020 年度)	↑	7.1% (2024 年度)	○
主要文化財施設の入館者数	159,944 人 (2019 年度)	↑	158,998 人 (2024 年度)	○
郷土の歴史・文化に誇りや愛着を持っている市 民の割合	44.2% (2019 年度)	↑	49.8 % (2025 年度)	○
文化芸術に興味を持っている市民の割合	60.9% (2020 年度)	↑	59.2% (2024 年度)	○
文化芸術の鑑賞・見学を行っている市民の割合	69.6% (2020 年度)	↑	70.3% (2024 年度)	○
文化芸術活動(鑑賞・見学を除く)を行っている 市民の割合	27.6% (2020 年度)	↑	41.3% (2024 年度)	○

Ⅲ 健康・福祉

指標名	基準値	めざす 方向	最新指標値	達成 状況
健康寿命 ①男性、②女性	①80.5 歳 ②84.0 歳 (2015 年度)	↑	①81.0 歳 ②84.9 歳 (2024 年度)	①○ ②○
日頃から健康づくりのため、適度に運動をし ている市民の割合	43.1% (2019 年度)	↑	41.3% (2025 年度)	○
日頃から健康づくりのため、栄養バランスの とれた食事をしている市民の割合	30.5% (2019 年度)	↑	34.3% (2025 年度)	○
届け出が必要な感染症発生件数	126 件 (2019 年度)	↓	133 件 (2024 年度)	—

指標名	基準値	めざす 方向	最新指標値	達成 状況
食中毒発生件数	8 件 (2019 年度)	↓	2 件 (2024 年度)	○
かかりつけ医を決めている市民の割合	71.3% (2019 年度)	↑	66.3% (2025 年度)	×
夜間や休日に医療機関を受診する場合、「受診が必要な症状か調べる」「電話相談や医療機関、家族等に相談する」割合	51.5% (2019 年度)	↑	64.5% (2025 年度)	○
「必要な医療が受けられるまち」として満足している市民の割合	66.4% (2019 年度)	↑	65.3% (2025 年度)	○
支援が必要な高齢者等への延べ相談・対応件数	152,992 件 (2019 年度)	↑	171,903 件 (2024 年度)	○
「高齢者が安心して暮らすことのできるまち」として満足している市民の割合	41.4% (2019 年度)	↑	39.8% (2025 年度)	○
地域包括支援センターの認知度	46.7% (2019 年度)	↑	40.9% (2022 年度)	—
日中活動系サービス ①事業所数 (4 月 1 日時点) ②定員数 (4 月 1 日時点)	①76 事業所 ②1,593 人 (2020 年)	↑	①105 事業所 ②2,495 人 (2024 年)	①○ ②○
障がい者グループホーム ①事業所数 (4 月 1 日時点) ②定員数 (4 月 1 日時点)	①16 事業所 ②181 人 (2020 年)	↑	①30 事業所 ②359 人 (2024 年)	①○ ②○
障がい者雇用 ①実雇用率 (6 月 1 日時点) ②達成割合 (6 月 1 日時点)	①2.23% ②53.4% (2019 年)	↑	①2.46% ②56.3% (2024 年)	①○ ②○
支援プランを策定した要支援者のうち、自立によりプラン終結となった割合	21% (2019 年度)	↑	43.5% (2024 年度)	○
学習・生活支援事業を利用した中学校 3 年生のうち、進学希望者の進学率	100% (2019 年度)	→	100% (2024 年度)	○

IV 安全・安心

指標名	基準値	めざす 方向	最新指標値	達成 状況
自助の取組を行っている市民の割合 (災害に対する 5 つの備えをしている市民の割合)	9.7% (2019 年度)	↑	14.4% (2025 年度)	○
共助の取組が活発な自主防災組織の割合(災害に対する 5 つの取組をしている組織の割合)	16.5% (2019 年度)	↑	49.4% (2024 年度)	○
災害対策を行っている企業の割合 (BCP を含む災害時行動マニュアルの策定率)	23.2% (2018 年度)	↑	62.2% (2024 年度)	○
重要市道橋の耐震化率(年度末時点)	90% (2019 年度)	↑	98% (2024 年度)	○
重要法定外道路橋の耐震化率(年度末時点)	0% (2019 年度)	↑	33% (2024 年度)	○
市道のり面等における防災対策が必要な箇所数(年度末時点)	64 か所 (2019 年度)	↓	0 か所 (2024 年度)	○
準用河川長田川整備の進捗率(年度末時点)	0%(0km/3.2km) (2019 年度)	↑	3.1% (0.1km/3.2km) (2024 年度)	○
被災時に生活用水として市民 1 人当たり 20 リットル供給できる日数(年度末時点)	9.2 日 (2019 年度)	↑	10.3 日 (2024 年度)	○
火災発生件数	137 件 (2019 年)	↓	113 件 (2024 年)	○
住宅火災による死傷者数	15 人 (2019 年)	↓	11 人 (2024 年)	○

指標名	基準値	めざす 方向	最新指標値	達成 状況
消防団員数(4月1日時点)	2,025人 (2020年度)	→	1,859人 (2024年度)	×
消防水利の整備率(4月1日時点)	78.2% (2019年度)	↑	88.1% (2022年度)	○
救命率	63.6% (2019年)	↑	23.5% (2024年)	×
刑法犯認知件数	2,207件 (2019年)	↓	2,219件 (2024年)	○
無施錠被害件数(車上ねらい)	112件 (2019年)	↓	57件 (2024年)	○
無施錠被害件数(住宅対象侵入盗)	38件 (2019年)	↓	23件 (2024年)	○
無施錠被害件数(自転車盗)	203件 (2019年)	↓	281件 (2024年)	×
全体の交通事故死傷者数	1,637人 (2019年)	↓	1,076人 (2024年)	○
高齢者の交通事故死傷者数	208人 (2019年)	↓	130人 (2024年)	○
自転車の交通事故死傷者数	248人 (2019年)	↓	167人 (2024年)	○
歩行者の交通事故死傷者数	148人 (2019年)	↓	125人 (2024年)	○
小学生(6～12歳)の交通事故死傷者数	35人 (2019年)	↓	35人 (2024年)	○

V 産業・観光・交流

指標名	基準値	めざす 方向	最新指標値	達成 状況
認定農業者のうち、法人化している経営体(年度末時点)	33法人 (2019年度)	↑	38法人 (2024年度)	○
認定新規就農者の認定数(年度末時点)	38件 (2019年度)	↑	62件 (2024年度)	○
鳥獣害による被害額	96,960千円 (2019年)	↓	146,337千円 (2024年)	—
経営耕地面積	3,381ha (2015年)	→	3,339ha (2020年)	○
とよたの農産物を購入するように心がけている市民の割合	55.8% (2019年度)	↑	51.4% (2025年度)	×
市内総生産における農業の額	6,452百万円 (2017年度)	→	4,585百万円 (2022年度)	×
農業就業人口(販売農家)	3,929人 (2015年)	→	1,925人 (2020年)	×
健全化した人工林の割合(年度末時点)	41% (2019年度)	↑	50% (2024年度)	○
間伐ボランティア団体数(年度末時点)	12団体 (2019年度)	→	14団体 (2024年度)	○
市内の素材生産量	51,188m ³ (2018年)	↑	56,724m ³ (2023年度)	○
林業及び木材・木製品製造業(家具を除く)の従業者数	544人 (2014年)	↑	—	—
市内総生産	5兆645億円 (2017年度)	↑	4兆1,639億円 (2021年度)	—
市内製造業の有形固定資産投資額(従業者30人以上)	295,123百万円 (2017年)	↑	254,427百万円 (2022年)	—

指標名	基準値	めざす 方向	最新指標値	達成 状況
製造品出荷額等	1,459 百億円 (2017 年)	↑	1,681 百億円 (2023 年)	○
市内製造品出荷額等に対する付加価値率(従業員数 300 人未満)	33.8% (2017 年)	↑	26.5% (2022 年)	—
新たな事業展開に取り組んでいるものづくり 中小企業者の割合	47.9% (2019 年)	↑	—	—
中心市街地 1 日当たり(5 時～24 時)の歩行者 通行量 ①平日、②休日	① 79,258 人 ② 71,970 人 (2019 年度)	↑	①38,274 人 ②38,119 人 (2024 年度)	—
フリーパーキング対象駐車場の平均利用時間	2.01 時間 (2019 年度)	↑	2.05 時間 (2024 年度)	○
中心市街地大型 4 店舗の売上高	155 億円 (2019 年度)	→	110 億円 (2024 年度)	—
中心市街地空き店舗数	111 件 (2018 年)	↓	100 件 (2024 年)	○
「商業地に魅力とにぎわいのあるまち」として 満足している市民の割合	31.6% (2019 年度)	↑	22.7% (2025 年度)	—
小売吸引力指数 ①最寄品、②買回品	①0.86 ②0.75 (2016 年度)	↑	①0.82 ②0.77 (2021 年度)	①○ ②○
市内事業者数	10,493 事業所 (2014 年)	→	9,952 事業所 (2021 年)	—
観光客一人当たりの平均消費額	9,437 円 (2019 年)	↑	11,574 円 (2024 年)	○
主な観光施設やイベントの観光入込客数	1,056 万人 (2019 年)	↑	938 万人 (2024 年)	—
訪れた観光地について満足と感じた人の割合	26.8% (2019 年度)	↑	40.3% (2024 年度)	○
地域資源を活用した住民主体の活動の数(年度 末時点)	53 件 (2019 年度)	↑	69 件 (2024 年度)	○
労働力率(全体)	64.2% (2015 年)	↑	65.9% (2020 年)	○
働き方改革関連認証制度の取得事業所数(年度 末時点)	276 事業所 (2019 年度)	↑	505 事業所 (2024 年度)	○

VI 環境

指標名	基準値	めざす 方向	最新指標値	達成 状況
市内における CO2 排出量	312 万 t-CO ₂ (2017 年度)	↓	243 万 t-CO ₂ (2022 年度)	○
森林の CO2 吸収量	15 万 t-CO ₂ (2017 年度)	↑	16 万 t-CO ₂ (2022 年度)	○
気候変動への適応を理解し、その対策を取り 組んでいる市民の割合	26.0% (2020 年度)	↑	60.7% (2024 年度)	○
市民 1 人当たりのごみ排出量(資源を除く)	546 g/日 (2019 年度)	↓	482g/日 (2024 年度)	○
廃棄物の不適正処理現場の数(年度末時点)	105 か所 (2019 年度)	↓	95 か所 (2024 年度)	○
市内で確認された国県レッドリスト掲載種の 種数	177 種 (2019 年度)	→	285 種 (2022 年度)	○
なわばり鮎の生息平均密度	0.1 尾/m ² (2016 年度)	↑	0.1 尾/m ² (2024 年度)	○
生物多様性を保全する活動・イベントに参加 したことがある市民の割合	10.2% (2020 年度)	↑	21.8% (2024 年度)	○

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
環境配慮行動を実践している市民の割合	76.3% (2020 年度)	↑	76.9% (2024 年度)	○
環境に関連する取組を行っている事業所の割合	30.6% (2020 年度)	↑	51.2% (2024 年度)	○
公害苦情件数	275 件 (2019 年度)	↓	240 件 (2024 年度)	○

VII 都市整備

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
都心 1 日当たり(5 時～24 時)の歩行者通行量 ① 平日、② 休日	① 79,258 人/日 ② 71,960 人/日 (2019 年度)	↑	① 38,274 人/日 ② 38,119 人/日 (2024 年度)	①— ②—
1 日当たりの豊田市駅及び新豊田駅における乗降客数	52,164 人/日 (2019 年度)	↑	48,950 人/日 (2024 年度)	—
1 日当たりのおいでんバス(豊田市発着路線)の利用者数	6,564 人/日 (2019 年度)	↑	6,528 人/日 (2024 年度)	○
都市計画区域内の人口(10 月 1 日時点)	405,752 人 (2019 年度)	↑	397,152 人 (2024 年度)	○
家族形成期にある世代(25 歳～39 歳)の転出超過数(直近 4 年度の平均)	598 人 (2016～2019 年度)	↓	917 人 (2024 年度)	—
「快適な住環境が整備されているまち」として満足している市民の割合	41.9% (2019 年度)	↑	39.8% (2025 年度)	×
「公園や緑地が身近にあるまち」として満足している市民の割合	56.8% (2019 年度)	↑	51.6% (2025 年度)	×
主要産業拠点のうち、インターチェンジへ 10 分以内に到達が可能な割合(年度末時点)	60.0% (2015 年度)	↑	73.3% (2023 年度)	○
インターチェンジへ 10 分以内に到達可能な市民の割合(年度末時点)	54.8% (2015 年度)	↑	72.8% (2023 年度)	○
市民一人当たりの渋滞損失時間	67.4 時間 (2014 年度)	↓	54.2 時間 (2023 年度)	○
1 日当たりのおいでんバスと地域バス・地域タクシーの利用者数	7,921 人/日 (2019 年度)	↑	7,820 人/日 (2024 年度)	○
1 日当たりの鉄道利用者数	72,910 人/日 (2018 年度)	↑	65,212 人/日 (2024 年度)	—
代表交通手段における公共交通(鉄道、バス)の分担率	5.6% (2011 年度)	↑	5.5% (2022 年度)	○
交通事故死傷者数	1,800 人 (2019 年)	↓	1,193 人 (2024 年)	○
運輸部門(自動車)における CO ₂ 排出量	398,200t (2016 年度)	↓	366,568t (2022 年度)	○
代表交通手段における自動車の分担率	73.3% (2011 年度)	↓	66.3% (2025 年度)	○
市民一人当たりの 1 日平均配水量	327 ℓ/日 (2019 年度)	→	325 ℓ/日 (2024 年度)	○
水質基準の不適合率	0% (2019 年度)	→	0% (2024 年度)	○
水道施設における機器故障件数	124 件 (2019 年度)	↓	80 件 (2024 年度)	○
水道管路の漏水・破損件数	88 件 (2019 年度)	↓	107 件 (2024 年度)	×

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
汚水処理人口普及率(年度末時点)	89.8% (2019 年度)	↑	92.6% (2024 年度)	○
不適切な汚水処理に係る苦情件数	18 件 (2019 年度)	↓	18 件 (2024 年度)	○

VIII 地域経営

指標名	基準値	めざす方向	最新指標値	達成状況
とよた市民活動センターの登録団体数(年度末時点)	290 団体 (2019 年度)	↑	282 団体 (2024 年度)	○
ボランティア活動や NPO 活動に参加している市民の割合	19.7% (2019 年度)	↑	15.1% (2025 年度)	—
地域の活動に参加している市民の割合	56.7% (2019 年度)	↑	41.0% (2025 年度)	—
日常会話以上の日本語が話せる外国人住民の割合	45.9% (2016 年度)	↑	50.1% (2024 年度)	○
様々な国の人が市内に多く住むことを好意的に捉えている日本人住民の割合	53.3% (2019 年度)	↑	52.2% (2025 年度)	○
国際交流活動に参加したことはないが、機会があれば参加したいと思う住民の割合	36.0% (2019 年度)	↑	32.2% (2025 年度)	—
山村地域への転入・転居者数	490 人 (2019 年度)	↑	439 人 (2024 年度)	—
子育て世帯のうち「出産、子育てがしやすいまち」として満足している割合(山村地域平均)	48.9% (2019 年度)	↑	58.2% (2025 年度)	○
都市と山村の交流事業の延べ参加者数	11,822 人 (2019 年度)	↑	13,104 人 (2024 年度)	○
今住んでいるところに長く住みたいと思う市民の割合(山村地域平均)	66.6% (2019 年度)	↑	69.7% (2025 年度)	○
市内で展開された実証事業の延べ実装件数(市把握分)	9 件 (2016～2019 年度)	↑	28 件 (2024 年度)	○
とよた SDGs パートナーの連携事業数	—	↑	16 件 (2024 年度)	○
デジタル化によって行政サービスが便利になったと感じる市民の割合	—	↑	43.0% (2025 年度)	○

【後期実践計画基本施策】成果指標

I 子ども・子育て

I-1-(1) 子どもの権利の保障

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
「子どもの権利啓発事業」を実施した延べ中学校数(年度末時点)	9 中学校 (2019 年度)	28 中学校 (2022 年度)	28 中学校 (2022 年度)	S
「子どもの権利学習プログラム」を実施した小・中学校数	66 小学校 25 中学校 (2019 年度)	毎年度市内全小・中学校(小学校 75 校、中学校 28 校) (2021～2024 年度)	75 小学校 28 中学校(2024 年度)	S

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
スクールソーシャルワーカー活用事業における学校支援数	844 件 (2019 年度)	1,150 件 (2024 年度)	16,298 件 (2024 年度)	S
子ども食堂の立上げや運営に関する相談・支援件数	396 件 (2019 年度)	毎年度 400 件以上 (2021～2024 年度)	208 件 (2024 年度)	C
虐待防止教育のワークショップ、出前講座などの開催回数(市実施分)	45 回 (2019 年度)	50 回 (2024 年度)	116 回 (2024 年度)	S

I-1-(2) 安心して子どもを生み育てられる環境の充実

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
とよた急病・子育てコール 24 の認知度	82% (2019 年度)	80%以上を維持 (2024 年度)	86.0% (2024 年度)	S
中学生に対して実施した、命の尊さや親の役割、性教育を学ぶ教室、講演会の実施回数(市実施分)	24 回 (2019 年度)	28 回 (2024 年度)	25 回 (2024 年度)	C

I-1-(3) 安心して子どもを預けられる環境の整備

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
0～2 歳児定員(4 月 1 日時点)	2,701 人 (2019 年度)	2,797 人 (2024 年度)	2,826 人 (2024 年度)	S
公立こども園での ICT を導入した業務数(年度末時点)	0 件 (2019 年度)	7 件 (2024 年度)	7 件 (2024 年度)	S
洋式便器の割合が 80%未満の園数(年度末時点)	32 園 (2019 年度)	12 園 (2024 年度)	14 園 (2024 年度)	A
放課後児童クラブの受入れ確保数	5,344 人 (2019 年度)	6,310 人 (2024 年度)	6,394 人 (2024 年度)	S
地域子どもの居場所づくり事業参加児童数	64,436 人 (2019 年度)	74,000 人 (2024 年度)	74,619 人 (2024 年度)	S

II 生涯学習

II-1-(1) 生き抜く力を育む学校教育の推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
学校の活動にボランティアとして参加した人数	5,280 人 (2019 年度)	5,500 人以上 (2024 年度)	4,815 人 (2024 年度)	C
児童生徒が ICT を活用し、一人ひとりに応じた学習や協働的な学習に取り組んでいると回答した学校の割合 ①小学校、②中学校	市平均 ①62.4% ②58.4% 全国平均 ①70.6% ②66.1% (2019 年度)	全国平均以上 (2024 年度)	市平均 ①85.4% ②82.1% 全国平均 ①83.5% ②77.9% (2024 年度)	①S ②S
学校に行くのが楽しいと思う児童生徒の割合 ①小学生、②中学生	①83.0% ②80.0% (2019 年度)	①86.0% ②81.0% (2024 年度)	①85.2% ②85.4% (2024 年度)	①A ②S
運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合 ①小学校、②中学校	①90.9% ②84.0% (2019 年度)	①93.0% ②86.0% (2024 年度)	①90.9% ②83.9% (2024 年度)	①C ②C

II-1-(2) 安全・安心で快適に学べる教育環境の充実

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
保全改修を実施した学校数(4年累計)	—	15校 (2021～2024年度)	15校 (2022年度)	S
長寿命化改修を実施した学校数(4年累計)	—	3校 (2021～2024年度)	—	—
トイレ再整備を実施した箇所数(4年累計)	—	247か所 (2021～2024年度)	247か所 (2024年度)	S
教室不足への対応を実施した学校数(4年累計)	—	2校 (2021～2024年度)	2校 (2024年度)	S
給食センター施設の基本計画の策定(4年累計)	—	2施設 (2021～2024年度)	2施設 (2024年度)	S

II-1-(3) 地域による次世代人材の育成の促進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
生き抜く力を育む講座に参加した小・中学生の人数(市支援分)	1,731人 (2019年度)	1,850人 (2024年度)	—	—
地域・社会活動に参加した高校生・大学生の延べ人数(市支援分)	2,732人 (2019年度)	3,200人 (2024年度)	10,038人 (2024年度)	S
若者サポートステーション登録者(年度末時点)	184人 (2019年度)	215人 (2024年度)	267人 (2024年度)	S
適切な機関への紹介や就職等につながった人数(市支援分)	53人 (2019年度)	65人 (2024年度)	44人 (2024年度)	C

II-1-(4) まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
ものづくり学習の取組への参加者数(市実施分)	47,730人 (2019年度)	52,000人 (2024年度)	38,469人 (2024年度)	—
「子どもたちが興味・関心を持ってものづくり活動に取り組んでいた」と回答した学校の割合	96.7% (2019年度)	毎年度95%以上 (2021～2024年度)	100% (2024年度)	S
高度なものづくり・科学事業への参加者・応募者数(市実施分)	825人 (2019年度)	825人 (2024年度)	260人 (2024年度)	C
企業や大学等と連携して実施したものづくり・科学学習の取組数	9件 (2019年度)	10件 (2024年度)	10件 (2024年度)	S

II-1-(5) 高齢者が活躍できる環境の充実

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
シニアアカデミー「通年コース」受講者数	97人 (2019年度)	108人 (36人×3コース) (2024年度)	95人 (2024年度)	C
シニアアカデミー「専門コース」受講者数	42人 (2019年度)	40人 (20人×2コース) (2024年度)	31人 (2024年度)	C
シニアアカデミー「はじめの一步講座」受講者数	155人 (2019年度)	180人 (15人×12回) (2024年度)	127人 (2024年度)	C
シルバー人材センターにおける業務受注件数	7,482件 (2019年度)	10,000件 (2024年度)	5,773件 (2024年度)	C

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
シルバー人材センターにおける就業延べ人員数	197,929 人 (2019 年度)	222,000 人 (2024 年度)	135,559 人 (2024 年度)	C
セカンドライフ&キャリア支援事業(エスプレッソ)への参加者数	—	200 人 (2021~2024 年度)	842 人 (2024 年度)	S

II-1-(6) 女性が活躍できる環境の充実

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
豊田市ワーク・ライフ・バランスキャンペーン賛同事業所数	58 事業所 (2019 年度)	毎年度 80 事業所以上 (2021~2024 年度)	76 事業所 (2024 年度)	A
ワーク・ライフ・バランス推進のための市民向け啓発イベント	1 回 (2019 年度)	3 回 (2024 年度)	3 回 (2024 年度)	S
市が主催する働き方改革に関する啓発セミナー等への参加者数	—	600 人 (2021~2024 年度)	934 人 (2024 年度)	S
女性の就労等に向けた支援の取組への参加者数	282 人 (2019 年度)	500 人 (2024 年度)	272 人 (2024 年度)	C
女性の活躍を支援する取組が役立ったと感じた参加者の割合	99% (2019 年度)	98% (2024 年度)	99% (2024 年度)	A
教育機関等との男女共同参画の理解促進のための事業数	4 件 (2019 年度)	6 件 (2024 年度)	5 件 (2024 年度)	B

II-2-(1) スポーツ資源を生かした活力ある社会の実現

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
地域スポーツクラブやスポーツ推進委員が実施する教室数	273 教室 (2019 年度)	300 教室 (2024 年度)	307 教室 (2024 年度)	S
地域スポーツクラブの会員数	6,105 人 (2019 年度)	6,700 人 (2024 年度)	6,735 人 (2024 年度)	S
トップスポーツチームやわがまちアスリートの情報発信を行った回数	26 回 (2019 年度)	毎年度 30 回 (2021~2024 年度)	112 回 (2024 年度)	S
Jリーグ開催試合 年間入場者数	520,967 人 (2019 シーズン)	60 万人 (2024 シーズン)	510,624 人 (2024 シーズン)	C
スポーツボランティアとよたの登録人数	415 人 (2020 年度：設立時点)	1,000 人 (2024 年度)	2,989 人 (2024 年度)	S
企業・大学等と市が共催するスポーツ関連事業数	15 事業 (2019 年度)	20 事業 (2024 年度)	26 事業 (2024 年度)	S

II-3-(1) 歴史や文化財の継承と魅力の発信

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
市が主催するイベント(講座・講演会等)への延べ参加者数	64,919 人 (2019 年度)	65,000 人 (2024 年度)	74,349 人 (2025 年度)	S
市主催イベント(講座・講演会等)への市民ボランティア等の延べ参画者数	909 人 (2019 年度)	1,500 人 (2024 年度)	1,718 人 (2025 年度)	S
学校等と郷土資料館を始めとする文化財施設が連携・協力し、子どもたちが学びを深めていくための取組(博学連携事業)への参加者数	18,146 人 (2019 年度)	20,000 人 (2024 年度)	24,451 人 (2025 年度)	S

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
足助中馬館の延べ来館者数	9,698 人 (2019 年度)	12,000 人 (2024 年度)	9,264 人 (2025 年度)	—

II-3-(2) 文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
文化芸術鑑賞・体験機会への延べ参加者数①コンサートホール・能楽堂(市主催分)	37,126 人 (2019 年度)	毎年度 30,000 人以上 (2021~2024 年度)	30,125 人 (2024 年度)	—
文化芸術鑑賞・体験機会への延べ参加者数②美術館(直近 4 年度の平均、市主催分)	378,170 人 (~2019 年度)	200,000 人 (~2024 年度)	226,470 人 (~2024 年度)	S
おいでんアート体験フェアの来場者数	11,700 人 (2019 年度)	毎年度 7,000 人以上 (2021~2024 年度)	3,129 人 (2024 年度)	—
とよたデカスプロジェクトの応募件数	27 件 (2019 年度)	毎年度 20 件以上 (2021~2024 年度)	15 件 (2024 年度)	S
市民公募によるアートイベントへの参加組数	50 組 (2019 年度)	毎年度 20 組以上 (2021~2024 年度)	52 組 (2024 年度)	S
主要文化施設の延べ利用者数 ① 市民文化会館	302,981 人 (2019 年度)	毎年度 350,000 人以上 (2021~2024 年度)	301,033 人 (2024 年度)	—
主要文化施設の延べ利用者数 ②コンサートホール・能楽堂	88,353 人 (2019 年度)	毎年度 100,000 人以上 (2021~2024 年度)	68,725 人 (2024 年度)	—
主要文化施設の延べ利用者数 ③美術館(直近 4 年度の平均)	500,730 人 (~2019 年度)	350,000 人 (~2024 年度)	286,270 人 (2024 年度)	A
主要文化施設の延べ利用者数 ④図書館	898,863 人 (2019 年度)	1,000,000 人 (2024 年度)	805,117 人 (2024 年度)	C
博物館開館までに必要な文化ゾーン内の基盤整備	—	整備完了 (2023 年度)	完了	S

III 健康福祉

III-1-(1) 誰もが健康づくりを継続できる環境の充実

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
特定健康診査受診率(市実施分)	36.9% (2018 年度)	45% (2024 年度)	35.8% (2023 年度)	C
40 歳代~50 歳代の特定保健指導受講終了者の割合(市実施分)	9.2% (2018 年度)	10% (2024 年度)	4.4% (2023 年度)	C
介護予防事業終了後の自主活動グループ数(年度末時点)	206 か所 (2019 年度)	271 か所 (2024 年度)	205 か所 (2024 年度)	—
健康づくり事業への参加者数(市実施・支援分)	176,988 人 (2019 年度)	毎年度 188,500 人以上 (2021~2024 年度)	—	—

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
若者向け食育推進事業への参加者数(市実施・支援分)	568 人 (2019 年度)	毎年度 1,000 人以上 (2021～2024 年度)	617 人 (2024 年度)	—
若者向け食育推進事業への参加後、食生活への意識変容があった者の割合	24.1% (2019 年度)	毎年度 50%以上 (2021～2024 年度)	94.3% (2024 年度)	S

Ⅲ- 1 -(2) 健康危機への対応力の強化

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
定期の予防接種率(麻しん) ①第 1 期、②第 2 期(市実施分)	①99.6% (2019 年度) ②94.8% (2019 年度)	①毎年度 95%以上 (2021～2024 年度) ②毎年度 95%以上 (2021～2024 年度)	①94.1% ②92.7% (2024 年度)	①A ②S
食品等事業者への監視指導件数	5,308 件※ (2019 年度) ※ラグビーワールド カップ 2019™ 開催 に伴い、重点的に監 視指導を実施	毎年度 2,000 件以上 ※ (2021～2024 年度) ※2021 年度の改正 食品衛生法施行によ り、集計対象の許可 件数が減少	2,120 件 (2024 年度)	S
新型インフルエンザ等発生時の関係機関等との連携訓練・会議等の実施回数	1 回 (2019 年度)	毎年度 1 回以上 (2021～2024 年度)	3 回 (2024 年度)	S
食品衛生に係る関係機関との連携訓練・会議等の実施	2 回 (2019 年度)	毎年度 2 回以上 (2021～2024 年度)	2 回 (2024 年度)	S

Ⅲ- 2 -(1) 必要な時に受診できる医療提供体制の確保

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
救急医療提供体制	24 時間 365 日 (2019 年度)	24 時間 365 日を維持 (2021～2024 年度)	24 時間 365 日を維持 (2024 年度)	S
豊田地域医療センター再整備進捗率	52% (2019 年度)	100% (2024 年度)	100% (2024 年度)	S
在宅医療サポートセンターでの相談対応完了率	100% (2019 年度)	100%を維持 (2021～2024 年度)	100% (2024 年度)	S
とよた急病・子育てコール 24 の認知度	82% (2019 年度)	毎年度 80%以上 (2021～2024 年度)	86% (2024 年度)	S
医療啓発講座への参加者数(市実施分・4 年累計)	—	8,000 人以上 (2021～2024 年度)	8,989 人 (2024 年度)	S

Ⅲ- 3 -(1) 高齢者が安心して生活できる支援体制の充実

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
認知症の人やその家族に対する支援の機会の提供数(市支援分)	171 件 (2019 年度)	210 件 (2024 年度)	265 件 (2024 年度)	S
高齢者の見守りに関する協力をしている ①人数、②事業所数(年度末時点、市取組分)	①38,992 人 ②2,303 件 (2019 年度)	①57,000 人 ②2,550 件 (2024 年度)	①71,559 人 ②2,381 件 (2024 年度)	①S ②C

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
キャリアアップ支援研修の参加者数(4年累計)	—	120人 (2021～2024年度)	108人 (2024年度)	A
介護に関わる実務人材へのスキルアップ研修等の参加者数(4年累計)	—	1,360人 (2021～2024年度)	1,625人 (2024年度)	S
介護に関わる人材のすそ野の拡大に資する講座等の参加者数(4年累計)	—	400人 (2021～2024年度)	2,173人 (2024年度)	S
特別養護老人ホーム等の定員数	3,039床 (2019年度)	3,604床 (2024年度)	3,382床 (2024年度)	B

Ⅲ-3-(2) 障がい者が地域社会で共生できる環境の整備

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
講座・講演会・研修会等への参加者数(市実施分)	1,406人 (2019年度)	毎年度1,500人以上 (2021～2024年度)	1,637人 (2024年度)	S
障がい者作品展への来場者数(市開催分)	1,426人 (2019年度)	毎年度1,500人以上 (2021～2024年度)	1,736人 (2024年度)	A
日中活動系サービスの整備費補助件数(市補助分)	—	2件 (2021～2024年度)	1件 (2024年度)	S
重度障がい者に対応するための研修 ①研修開催回数、②受講者数(市実施分)	—	①毎年度3回以上 ②毎年度20人以上 (2021～2024年度)	①5回 ②52人 (2024年度)	①S ②S
就労・生活支援センターによる職場開拓訪問件数	110社 (2019年度)	毎年度100社以上	105社 (2024年度)	A
グループホームの整備費補助件数(4年累計)	—	2件 (2021～2024年度)	1件 (2024年度)	B
介護者負担軽減事業の利用 ①利用者数、②利用日数(市補助分)	①22人 ②319日 (2019年度)	①毎年度30以上 ②毎年度600以上 (2021～2024年度)	①31人 ②1,386日 (2024年度)	①S ②S
医療型短期入所利用時における送迎 ①利用者数、②送迎回数(市補助分)	①4人 ②50回 (2019年度)	①毎年度5人以上 ②毎年度120回以上 (2021～2024年度)	①3人 ②129回 (2024年度)	①C ②S

Ⅲ-3-(3) 生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
自立相談支援機関によるアウトリーチ件数	1,922件 (2019年度)	2,130件 (2024年度)	2,581件 (2024年度)	S
生活困窮者に関するケース検討会議開催数のうち、支援会議開催(地域支援合い会議)回数	—	5回 (2024年度)	108回 (2024年度)	S
学習・生活支援事業登録児童生徒数(年度末時点)	103人 (2019年度)	130人 (2024年度)	104人 (2024年度)	C

Ⅳ 安全・安心

Ⅳ-1-(1) 自助・共助・公助による災害対策の充実

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
市の取組が自助の取組を行うきっかけとなった市民の数	4,012人 (2019年度)	毎年度4,000人以上 (2021～2024年度)	11,295人 (2024年度)	S

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
木造住宅の耐震に係る補助制度の利用件数①改修等、②診断	①56件 ②130件 (2019年度)	毎年度 ①56件以上 ②130件以上 (2021～2024年度)	①82件 ②177件 (2024年度)	①A ②S
自主防災リーダーの育成数	64人 (2019年度)	毎年度100人以上 (2021～2024年度)	159人 (2024年度)	S
市の取組が災害対策を行うきっかけとなった事業者の数	123事業所 (2019年度)	177事業所 (2024年度)	233事業所 (2024年度)	S
災害対策本部訓練の実施回数	1回 (2019年度)	毎年度3回以上 (2021～2024年度)	5回 (2024年度)	S
避難所機能強化を実施済みの避難所数(災害用便槽、停電対策、防災倉庫)	68.7% (79か所/115か所) (2019年度)	79.1% (91か所/115か所) (2024年度)	81.7% (94か所/115か所) (2024年度)	S

IV-1-(2) 防災・減災につながる都市機能の強化

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
重要市道橋の耐震化率(年度末時点)	90% (2019年度)	100% (2024年度)	98% (2024年度)	A
重要法定外道路橋の耐震化率(年度末時点)	0% (2019年度)	100% (2023年度)	33.0% (2024年度)	C
無電柱化整備延長(年度末時点)	17.6km (2019年度)	19.0km (2024年度)	19.5km (2024年度)	S
市道のり面等における防災対策が必要な箇所数(年度末時点)	64か所 (2019年度)	0か所 (2024年度)	0か所 (2024年度)	S
準用河川長田川整備の進捗率(年度末時点)	0% (0km/3.2km) (2019年度)	12.5% (0.4km/3.2km) (2024年度)	3.1% (0.1km/3.2km) (2024年度)	—
流域貯留施設整備の進捗率(年度末時点)	29.0% (15,700 m ³ / 54,000 m ³) (2019年度)	70.9% (38,300 m ³ / 54,000 m ³) (2024年度)	72.6% (2024年度)	S
基幹施設の耐震化件数(年度末時点)	15か所 (2019年度)	20か所 (2024年度)	22か所 (2024年度)	S
重要給水施設管路の耐震化率(年度末時点)	59.4% (2019年度)	73.0% (2024年度)	77.3% (2024年度)	S
応急給水施設の整備箇所数(年度末時点)	13か所 (2019年度)	28か所 (2024年度)	27か所 (2024年度)	A
下水道総合地震対策事業(雨水管路)の進捗率(年度末時点)	16.9% (2019年度)	49.0% (2024年度)	45.1% (2024年度)	A

IV-2-(1) 自助・共助・公助による消防対応力の強化

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
校内で防火防災に関する啓発活動を実施している学校数(4年累計)	—	市内全高校(14校) (2024年度)	14校 (2024年度)	S
高齢者対策を中心に火災予防啓発を連携して行う関係団体数(4年累計)	—	12団体 (2021～2024年度)	17団体 (2024年度)	S
新たに採用した機能別団員の数(4年累計)	—	80人 (2021～2024年度)	174人 (2024年度)	S

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
配備が完了した消防団の安全確保や情報伝達のための装備品数(年度末時点)	14/17 品目 (2019 年度)	17/17 品目 (2024 年度)	17/17 品目 (2024 年度)	S
配備が完了した消防団の救助活動のための資機材品数(年度末時点)	3/11 品目 (2019 年度)	11/11 品目 (2024 年度)	11/11 品目 (2024 年度)	S
新たに消火用水を確保した区画 ①防火水槽により確保 ②水槽付消防車両等により確保 (4 年累計、市整備分)	—	① 20 区画 ②100 区画 (2021～2024 年度)	①11 区画 ②100 区画 (2024 年度)	①B ②S
応急手当講習会を開催した小・中学校数	104 校 (2019 年度)	104 校を維持 (2024 年度)	101 校 (2024 年度)	A
救急隊の出動において救急救命士が複数名で活動できた割合	55.2% (2019 年度)	65.0% (2024 年度)	57.4% (2024 年度)	C

IV-3-(1) 地域ぐるみの防犯体制の強化

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
出前講座の実施回数	20 回 (2019 年度)	毎年度 20 回以上 (2021～2024 年度)	38 回 (2024 年度)	S
子どもの防犯教室の実施校数	25 校 (2019 年度)	毎年度 25 校以上 (2021～2024 年度)	23 校 (2024 年度)	S
地域防犯ボランティア・ステップアップ講座の自主防犯活動団体の参加率	25% (2019 年度)	50% (2024 年度)	8% (2024 年度)	C
推進強化地区における防犯カメラ設置台数	7 台 (2019 年度)	毎年度 5 台以上 (2021～2024 年度)	5 台 (2024 年度)	A

IV-4-(1) 交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
交通安全意識が高まった高齢者の数(市啓発分)	5,000 人 (2019 年度)	毎年度 6,000 人以上 (2021～2024 年度)	7,122 人 (2024 年度)	S
自転車の安全利用の意識が高まった自転車利用者の数(市啓発分)	—	毎年度 200 人以上 (2021～2024 年度)	2,749 人 (2024 年度)	S
都市公園等に隣接する横断歩道のカラー舗装化の整備箇所数(年度末時点)	—	35 か所 (2024 年度)	35 か所 (2024 年度)	S
横断者明示標識(ぴかっとわたるくん)設置箇所数(4 年累計)	—	10 か所 (2021～2024 年度)	14 か所 (2024 年度)	S
通学路等空間整備延長(4 年累計、年度末時点)	—	1.1km (2021～2024 年度)	1.1m (2024 年度)	S
生活道路整備延長(4 年累計、年度末時点)	—	4.0km (2021～2024 年度)	4.5km (2024 年度)	S

V 産業・観光・交流

V-1-(1) 地域特性に応じた産業型農業の推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
農地の利用集積面積(年度末時点)	2,115ha (2019 年度)	2,400ha (2024 年度)	2,387ha (2024 年度)	A

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
米麦大豆の生産量	16,411t (2019 年度)	毎年 16,500t 以上 (2021～2024 年)	14,955t (2024 年度)	C
農商工連携又は 6 次産業化に関連する講座の受講事業者数及び商品開発アドバイザー受入れ事業者数(年度末時点)	5 事業者 (2019 年度)	10 事業者 (2024 年度)	15 事業者 (2024 年度)	S
集落営農組織の数(年度末時点)	19 組織 (2019 年度)	23 組織 (2024 年度)	20 組織 (2024 年度)	C
集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組んだ集落の総数	224 集落 (2019 年度)	240 集落 (2024 年度)	231 集落 (2024 年度)	C

V-1-(2) 地域が支える“食と農”の推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
地産地食応援店の登録件数(年度末時点)	172 店舗 (2019 年度)	200 店舗 (2024 年度)	259 店舗 (2024 年度)	S
豊田市及び豊田市農産物ブランド化推進協議会による地産地食 PR 事業実施件数	27 件 (2019 年度)	毎年度 30 件以上 (2021～2024 年度)	49 件 (2024 年度)	S
市民農園の利用率(年度末時点)	91.9% (2019 年度)	98.0% (2024 年度)	91.3% (2024 年度)	C
農ライフ創生センターによる農作物栽培技術研修(初級)の修了生の数(年度末時点)	1,036 人 (2019 年度)	1,204 人 (2024 年度)	1,177 人 (2024 年度)	A

V-2-(1) 100 年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
人工林の間伐実施面積	821ha (2019 年度)	毎年度 1,200ha 以上 (2021～2024 年度)	770ha (2024 年度)	C
森づくり団地計画の認定面積	1,062ha (2019 年度)	毎年度 1,200ha 以上 (2021～2022 年度)	1,048ha (2024 年度)	C
森林普及事業の受講者数	199 人 (2019 年度)	毎年度 150 人以上 (2021～2024 年度)	432 人 (2024 年度)	S
「緑の雇用」新規研修生	4 人 (2019 年度)	毎年度 3 人以上 (2021～2024 年度)	0 人 (2024 年度)	C

V-2-(2) 地域材の生産・流通・利用の推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
高性能林業機械による伐採搬出の平均コスト	10,726 円/m ³ (2019 年度)	10,000 円/m ³ (2024 年度)	—	—
中核製材工場における原木取扱量	31,704 m ³ (2019 年度)	45,000 m ³ (2024 年度)	43,314 m ³ (2024 年度)	A
木質化モデル事業により創出されたテナント店舗等の延べ数(4 年累計)	—	10 件 (2021～2024 年度)	28 件 (2024 年度)	S

V-3-(1) 地域産業の持続的発展に向けた企業力の強化

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
企業立地奨励金の指定・認定件数(4 年累計、市制度活用分)	—	32 件以上 (2024 年度)	54 件 (2024 年度)	S

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
産業用地創出面積(4年累計)	—	20ha (2024年度)	39ha (2024年度)	S
経営力高度化事業補助金の交付件数 (4年累計、市制度活用分)	—	400件 (2024年度)	433件 (2024年度)	S
とよたイノベーションセンターの相談件数	495件 (2018年度)	毎年度500件以上 (2024年度)	800件 (2024年度)	S
テレワーク導入支援補助金の交付件数 (4年累計、市制度活用分)	—	120件 (2021～2024年度)	—	—
IT人材育成者数(4年累計)	—	80人 (2021～2024年度)	118人 (2024年度)	S

V-3-(2) 新たな産業を創造する基盤の構築

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
新たな事業展開への取組件数(4年累計、市制度活用分)	—	40件 (2021～2024年度)	67件 (2024年度)	S
スタートアップ・ベンチャーへの支援件数(4年累計)	—	8件 (2021～2024年度)	12件 (2024年度)	S
重点産業分野への支援件数(4年累計、企業立地奨励事業の指定件数とものづくり創造補助金の交付件数の合算)	—	8件 (2021～2024年度)	16件 (2024年度)	S
イノベーション人材育成者数(4年累計)	—	60人 (2021～2024年度)	40人 (2024年度)	—
新たなプロダクトを創出する支援事業数(4年累計)	—	4件 (2021～2024年度)	4件 (2024年度)	S

V-4-(1) 中心市街地商業のにぎわいの創出

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
中心市街地における空き店舗での新規出店数	2件 (2019年度)	5件 (2024年度)	27件 (2024年度)	S
まちなか宣伝会議による集客イベント数	1件 (2019年)	3件 (2024年)	4件 (2024年度)	S
都市利便増進協定による県道豊田市駅前停車場線の利活用件数	2件 (2019年度)	5件 (2024年度)	12件 (2024年度)	S
公共的空間(6か所)の利用件数	200件 (2018年度)	280件 (2024年度)	96件 (2024年度)	C

V-4-(2) 地域特性に応じた商業環境の整備

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
活性化計画を作成している商店街等の数(年度末現在)	14件 (2020年度)	15件 (2024年度)	13件 (2024年度)	C
人材育成事業への参加者数(4年累計)	—	360人 (2021～2024年度)	97人 (2024年度)	—
中小企業への経営指導件数(4年累計)	—	20,000件 (2021～2024年度)	21,869件 (2024年度)	S
創業者数(4年累計)	—	968人 (2021～2024年度)	513人 (2024年度)	B

V-5-(1) 多様な地域資源を生かした観光産業の振興

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
一般社団法人ツーリズムとよたの正会員数(年度末時点)	144 会員 (2019 年度)	200 会員 (2024 年度)	204 会員 (2024 年度)	S
一般社団法人ツーリズムとよたホームページの総ページビュー数	154 万ビュー (2019 年度)	370 万ビュー (2024 年度)	465 万ビュー (2024 年度)	S
とよた観光おもてなしパートナー講座受講認定者数(4 年累計)	—	100 名 (2021～2024 年度)	37 名 (2023 年度)	—

V-5-(2) 地域資源を生かしたまちづくりの推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
わくわく事業の新規申請団体数	64 件 (2017～2019 年度の平均)	毎年度 65 件以上 (2021～2024 年度)	52 件 (2024 年度)	C
整備対象施設の観光入込客数	115 万人 (2019 年)	140 万人 (2024 年)	110 万人 (2024 年)	—

V-6-(1) 多様な働き方で多様な人材が活躍する環境の整備

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
市が主催する啓発セミナー等への参加者数(4 年累計)	—	600 人 (2021～2024 年度)	934 人 (2024 年度)	S
豊田市ワーク・ライフ・バランスキャンペーン賛同事業所数	58 事業所 (2019 年度)	毎年度 80 事業所以上 (2021～2024 年度)	76 事業所 (2024 年度)	A
就労支援室と女性しごとテラスの合計就職決定件数(4 年累計)	—	1,680 人 (2021～2024 年度)	1,848 人 (2024 年度)	S
日本語教室参加者のうち、進路決定者数(4 年累計)	—	96 人 (2021～2024 年度)	311 人 (2024 年度)	S
担い手確保支援事業への参加事業所数(4 年累計)	—	200 事業所 (2021～2024 年度)	266 事業所 (2024 年度)	S
担い手確保支援事業への参加者数(4 年累計)	—	200 人 (2021～2024 年度)	274 人 (2024 年度)	S

VI 環境

VI-1-(1) 脱炭素の実現に向けた未来都市の推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
再生可能エネルギーの総発電能力量(市導入・関与分)	104,333kw (2019 年度)	117,000kw (2024 年度)	133,773kw (2024 年度)	S
スマートハウス延べ支援件数(年度末時点)	689 件 (2019 年度)	965 件 (2024 年度)	2,019 件 (2024 年度)	S
市内における次世代自動車普及率	26.6% (2019 年度)	47% (2024 年度)	34.9% (2024 年度)	C
人工林の間伐実施面積	821ha (2019 年度)	毎年度 1,200ha 以上 (2021～2024 年度)	770ha (2024 年度)	C
セミナーなどの適応推進事業への延べ参加者数(4 年累計)	—	900 人 (2021～2024 年度)	1,517 人 (2024 年度)	S

VI-2-(1) 廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
緑のリサイクルセンターの設備改修等の進捗	—	改修を完了 (2022 年度)	完了 (2022 年度)	S
市民一人当たりの可燃ごみに含まれる資源の量	135g/日 (2019 年度)	131 g/日(3%減) (2024 年度)	120g/日(11%減) (2024 年度)	S
新規に発見した不適正処理箇所数に対する是正指導をした箇所数の割合	100% (2019 年度)	100%を維持 (2021～2024 年度)	100% (2024 年度)	S
2 回目に戸別訪問指導した事業者のうち、指導によって法制度を理解していた事業者の割合	—	毎年度 35%以上 (2021～2024 年度)	42% (2024 年度)	S
不法投棄パトロール隊登録数	194 団体 (2019 年度)	202 団体 (2024 年度)	208 団体 (2024 年度)	S

VI-3-(1) 暮らしを豊かにする生物多様性の保全

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
豊田市自然観察の森における講座等の受講者数	4,915 人 (2019 年度)	5,500 人 (2024 年度)	5,585 人 (2024 年度)	S
市民参加生き物調査における一般参加者数	1,193 人 (2019 年度)	1,600 人 (2024 年度)	566 人 (2023 年度)	C
生物多様性の保全に関する活動団体数(年度末時点)	29 団体 (2019 年度)	35 団体 (2024 年度)	36 団体 (2024 年度)	S
住民による地域の小川の整備箇所数(2019 年度からの市支援分累計)	1 か所 (2019 年度)	3 か所 (2024 年度)	3 か所 (2024 年度)	S
ラムサール条約湿地における東海丘陵要素植物の確認種数	7 種 (2019 年度)	7 種を維持 (2024 年度)	7 種 (2024 年度)	S
ラムサール条約湿地の保全に関わる新たな団体等の数(4 年累計)	—	4 団体 (2021～2024 年度)	0 団体 (2024 年度)	C

VI-4-(1) 持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
環境学習施設を利用した小学生の地球温暖化や生物多様性の理解度	—	毎年度 80%以上 (2021～2024 年度)	89.4% (2024 年度)	S
環境学習施設で学んだ内容を家族に話した小学生の割合	—	毎年度 80%以上 (2021～2024 年度)	80.7% (2024 年度)	S
とよた SDGs ポイント新規加入者数	—	毎年度 500 人以上 (2021～2024 年度)	211 人 (2024 年度)	S
協定協議会 Web サイト閲覧者数(4 年累計)	—	10,000 人 (2021～2024 年度)	11,306 人 (2024 年度)	S

VII 都市整備

VII-1-(1) にぎわいのある魅力的な都心の形成

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
豊田市駅東口駅前・まちなか広場整備事業の進捗(年度末時点)	—	事業用地の取得 (2024 年度)	完了	S
新豊田駅東口駅前広場整備事業の進捗(年度末時点)	—	整備を完了 (2022 年度)	完了	S

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
停車場線公共空間活用実証取組の実施日数(2年累計)	—	10日 (2021～2022年度)	12日	S
都心内道路(西町若宮線)の再整備の進捗(年度末時点)	—	無電柱化整備を完了 (2024年度)	完了	S
豊田市駅東口の施設整備(東口ペデストリアンデッキ)の進捗(年度末時点)	—	工事継続実施 (2024年度)	工事継続実施 (2024年度)	S
都心内サインの再整備の進捗(4年累計)	—	10基設置 (2021年度)	10基 (2024年度)	S
西口ペデストリアンデッキ・バスターミナルの整備の進捗(年度末時点)	—	工事継続実施 (2024年度)	工事継続実施 (2024年度)	S
豊田市駅の整備の進捗(年度末時点)	—	工事継続実施 (2024年度)	工事継続実施 (2024年度)	S

Ⅶ-1-(2) 利便性の高い市街地の形成

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
土地区画整理事業による整備面積(4年累計)	—	27.3ha (2021～2024年度)	20.8ha (2024年度)	A
無電柱化整備延長(年度末時点)	17.6 km (2019年度)	19.0 km (2024年度)	19.5km (2024年度)	S

Ⅶ-1-(3) 多様なニーズに応える市街地定住の促進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
宅地の供給支援数(4年累計、市支援分)	—	2.75ha (2021～2024年度)	1.46ha (2024年度)	B
土地区画整理事業による宅地の整備面積(4年累計)	—	13.4ha (2021～2024年度)	12.3ha (2024年度)	A
市街化調整区域内地区計画の活用による都市計画決定時の予定宅地数(4年累計)	—	700戸 (2021～2024年度)	249戸 (2024年度)	C
PRウェブサイトの閲覧数	24,380件 (2018年度)	60,000件 (2024年度)	22,711件 (2024年度)	C

Ⅶ-1-(4) 憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
都市公園の整備数(4年累計)	—	3公園 (2021～2024年度)	10公園 (2024年度)	S
私有地における緑地の整備面積(市支援分、4年累計)①都心、②都心以外	—	①200㎡ ②3,000㎡ (2021～2024年度)	①0㎡ ②1,398㎡ (2024年度)	①C ②C

Ⅶ-2-(1) 生活・産業を支える道路ネットワークの形成

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
関連市道を含む主要な物流路線の整備延長(年度末時点)	5.6 km (2019年度)	11.5 km (2024年度)	9.6km (2024年度)	B
改善が見込まれる主要渋滞箇所数(4年累計)	—	2か所 (2021～2024年度)	1か所 (2024年度)	B
鉄道駅アクセス道路の用地取得の進捗率(年度末時点)	16.0% (2019年度)	100% (2024年度)	84.0% (2024年度)	A

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
鉄道駅アクセス道路の整備延長(年度末時点)	0km (2019 年度)	0.16km (2024 年度)	0.16km (2024 年度)	S
駅前広場の整備箇所数(4 年累計)	—	1 箇所 (2021～2024 年度)	1 箇所 (2024 年度)	S

Ⅶ-2-(2) 利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
名鉄三河線若林駅付近の高架施設の整備延長(年度末時点)	0km (2019 年度)	2.2km (2024 年度)	0km (2024 年度)	C
複線化事業に関連する既存インフラの再整備に向けた設計の進捗(年度末時点)	—	設計を完了 (2024 年度)	完了	S
バス運行の改善件数(4 年累計)	—	40 件 (2021～2024 年度)	39 件 (2024 年度)	A

Ⅶ-2-(3) 人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
先進技術を生かした移動に関する実証事業数	5 事業 (2019 年度)	毎年度 4 事業以上 (2021～2024 年度)	2 事業 (2024 年度)	A
エコ交通などの出前教室への参加者数(4 年累計)	—	1,600 名 (2021～2024 年度)	275 名 (2024 年度)	C

Ⅶ-3-(1) 安全・安心な水道水の安定供給の実現

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
藤岡再編事業の進捗率(年度末時点)	0% (2019 年度)	100% (2024 年度)	20.9% (2024 年度)	C
目標耐用年数超過管路の更新率(年度末時点)	0% (2019 年度)	23.8% (2024 年度)	15.4% (2024 年度)	B
目標耐用年数超過機械電気設備の更新率(年度末時点)	0% (2019 年度)	34.2% (2024 年度)	13.2% (2024 年度)	—

Ⅶ-3-(2) 汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
下水道の整備面積(4 年累計)	—	350ha (2021～2024 年度)	344ha (2024 年度)	A
単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換基数	63 基 (2019 年度)	毎年度 130 基以上 (2021～2024 年度)	138 基 (2024 年度)	S
法定検査受検率	34% (2019 年度)	38% (2024 年度)	42.4% (2024 年度)	S
下水道管路の点検・調査実施率(年度末時点)	24.0% (2019 年度)	88.0% (2024 年度)	84.6% (2024 年度)	A
下水道処理施設等の点検・調査実施率(年度末時点)	0% (2019 年度)	87.2% (2024 年度)	90.9% (2024 年度)	S

VIII 地域経営

VIII-1- (1) 市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
わくわく事業の新規申請団体数	64 件 (2017～2019 年度の平均)	毎年度 65 件以上 (2021～2024 年度)	52 件 (2024 年度)	C
市民活動情報サイト利用件数	12,385 件 (2019 年度)	毎年度 13,000 件以上 (2021～2024 年度)	31,701 件 (2024 年度)	S
市民活動促進補助金の利用団体数	11 団体 (2019 年度)	毎年度 15 団体以上 (2021～2024 年度)	16 団体 (2024 年度)	C
交流館事業に占める後援事業の割合	26.7% (2019 年度)	35% (2024 年度)	36.8% (2024 年度)	S
交流館の延べ利用者数	249 万人 (2019 年度)	260 万人 (2024 年度)	261 万人 (2024 年度)	S
若園交流館・若園中学校技術科棟の整備進捗率	0% (2019 年度)	100% (2022 年度)	完了	S

VIII-2- (1) 多様な市民が活躍できる国際まちづくりの推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
成人向け日本語教室における延べ参加者数	1,105 人 (2019 年度)	毎年度 2,000 人以上 (2021～2024 年度)	1,318 人 (2024 年度)	—
言語習得に関する支援事業への延べ参加者数	6,898 人 (2019 年度)	毎年度 10,000 人以上 (2021～2024 年度)	4,807 人 (2024 年度)	—
国際理解・啓発事業への延べ参加者数	4,185 人 (2018 年度)	毎年度 4,500 人以上 (2021～2024 年度)	4,121 人 (2024 年度)	—
姉妹都市を含めた海外都市との交流事業への参加者数	142 人 (2018 年度)	毎年度 160 人以上 (2021～2024 年度)	75 人 (2024 年度)	—

VIII-3- (1) 自立とつながりによる山村地域等の振興

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
定住施策の利用者数(4 年累計、市支援分)	—	1,000 人 (2021～2024 年度)	1,259 人 (2024 年度)	S
生業創出支援者数(4 年累計、市支援分)	—	52 人 (2021～2024 年度)	37 人 (2024 年度)	A
山村地域等における先進技術を活用した実証支援事業数(4 年累計)	—	4 件 (2021～2024 年度)	2 件 (2024 年度)	B
都市と山村の交流コーディネート件数(4 年累計)	—	200 件 (2021～2024 年度)	196 件 (2024 年度)	A
山村地域におけるわくわく事業の新規申請団体数(4 年累計)	—	60 件 (2021～2024 年度)	74 件 (2024 年度)	S

VIII-4- (3) 先進技術等を活用した地域課題解決の推進

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成状況
新規の実証事業件数	10 件 (2019 年度)	毎年度 10 件以上 (2021～2024 年度)	16 件 (2024 年度)	A

指標名	基準値	目標値	最新指標値	達成 状況
持続可能な暮らしに関する情報受信者数(市発信分)	14,713 人 (2018 年度)	毎年度 14,000 人以上 (2021～2024 年度)	9,470 人 (2023 年度)	A
SDGs 関連プロモーション事業数	5 件 (2019 年度)	毎年度 3 件以上 (2021～2024 年度)	8 件 (2024 年度)	S

2 後期実践計画 各施策における事業数・事業費のまとめ

(1) 総事業数及び期間内総事業費（再掲除く）（※1）

総事業数	期間内総事業費
241 事業	163,460 百万円

(2) 施策体系別の事業数・事業費（※2）

①重点施策

(1) 超高齢社会への適応	事業数	17
	期間内事業費	6,556 百万円
柱①：生涯活躍の推進 柱②：安心して暮らせる地域包括支援体制の強化		

(2) 「ひと」と「しごと」が集まる ミライへの投資	事業数	18
	期間内事業費	20,231 百万円
柱①：産業拠点としての機能強化 柱②：住み続けたいまちづくり		

(3) まちの課題解決力の強化	事業数	14
	期間内事業費	1,240 百万円
柱①：多様な「つながり」による豊かな暮らしの創出 柱②：持続可能な地域経営		

※1 複数の施策に位置付く事業を含まないため、「(2) 施策体系別の事業数・事業費」の計とは一致しない

※2 「①重点施策」及び「②基本施策」の事業数・事業費の計は複数の施策に位置付く事業を含んだ数値

②基本施策

Ⅰ 子ども・子育て		事業数	13
		期間内事業費	6,679 百万円
1 子育て	(1)子どもの権利の保障 (2)安心して子どもを生み育てられる環境の充実 (3)安心して子どもを預けられる環境の整備		

Ⅱ 生涯学習		事業数	41
		期間内事業費	31,791 百万円
1 学び・育ち	(1)生き抜く力を育む学校教育の推進 (2)安全・安心で快適に学べる教育環境の充実 (3)地域による次世代人材の育成の促進 (4)まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進 (5)高齢者が活躍できる環境の充実 (6)女性が活躍できる環境の充実		
2 スポーツ	(1)スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進		
3 歴史・文化	(1)歴史や文化財の継承と魅力の発信 (2)文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進		

Ⅲ 健康・福祉		事業数	19
		期間内事業費	10,492 百万円
1 健康	(1)誰もが健康づくりを継続できる環境の充実 (2)健康危機への対応力の強化		
2 医療	(1)必要なときに受診できる医療提供体制の確保		
3 福祉	(1)高齢者が安心して生活できる支援体制の充実 (2)障がい者が地域社会で共生できる環境の整備 (3)生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保		

Ⅳ 安全・安心		事業数	40
		期間内事業費	16,324 百万円
1 防災・減災、国土強靱化	(1)自助・共助・公助による災害対策の充実 (2)防災・減災につながる都市機能の強化		
2 消防	(1)自助・共助・公助による消防対応力の強化		
3 防犯	(1)地域ぐるみの防犯体制の強化		
4 交通安全	(1)交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現		

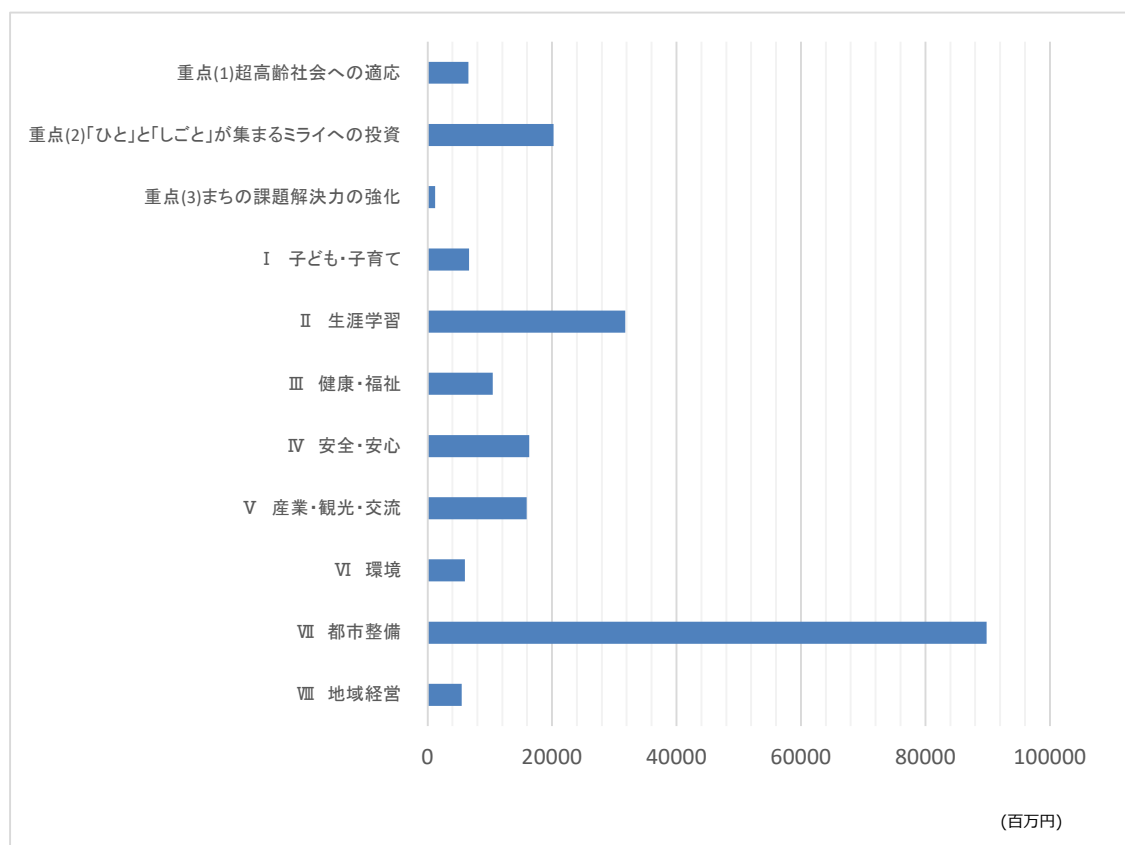
Ⅴ 産業・観光・交流		事業数	36
		期間内事業費	15,947 百万円
1 農業	(1)地域特性に応じた産業型農業の推進 (2)地域が支える“食と農”の推進		
2 森林・林業	(1)100 年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進 (2)地域材の生産・流通・利用の推進		
3 ものづくり産業	(1)地域産業の持続的発展に向けた企業力の強化 (2)新たな産業を創造する基盤の構築		
4 商業・サービス業	(1)中心市街地商業のにぎわいの創出 (2)地域特性に応じた商業環境の整備		
5 観光・交流	(1)多様な地域資源を生かした観光産業の振興 (2)地域資源を生かしたまちづくりの推進		
6 労働	(1)多様な働き方で多様な人材が活躍する環境の整備		

Ⅵ 環境		事業数	23
		期間内事業費	6,000 百万円
1 脱炭素社会	(1)脱炭素の実現に向けた未来都市の推進		
2 循環型社会	(1)廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進		
3 自然共生社会	(1)暮らしを豊かにする生物多様性の保全		
4 環境配慮行動	(1)持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進		

Ⅶ 都市整備		事業数	43
		期間内事業費	89,823 百万円
1 市街地整備	(1)にぎわいのある魅力的な都心の形成 (2)利便性の高い市街地の形成 (3)多様なニーズに応える市街地定住の促進 (4)憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出		
2 交通	(1)生活・産業を支える道路ネットワークの形成 (2)利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成 (3)人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進		
3 上下水道	(1)安全・安心な水道水の安定供給の実現 (2)汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現		

Ⅷ 地域経営		事業数	26
		期間内事業費	5,468 百万円
1 共働	(1)市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進		
2 国際化	(1)世界に開かれた国際まちづくりの推進		
3 山村振興	(1)自立とつながりによる山村地域等の振興		
4 行政経営	(1)未来を見据えた持続可能な行財政運営 (2)公共施設等の適切な管理の推進 (3)先進技術等を活用した地域課題解決の推進 (4)共働による地域情報化の推進 (5)戦略的な広域連携の推進		

(参考) 施策別期間内事業費グラフ (再掲含む)



3 後期実践計画 事業一覧

●重点施策

(1) 超高齢社会への適応

柱①生涯学習

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
官民連携介護予防「ずっと元気！プロジェクト」	民間の創意工夫を生かすソーシャル・インパクト・ボンドを活用し、趣味や運動、就労等を通じた社会参加機会を増やすなど、介護予防につなげる取組を実施	・50以上の事業者が130以上のサービスを実施し、延べ約17,000人の高齢者が参加	252,809
きらき라우エルネス地域推進事業	地域の健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進	・地域主体の健康づくりに取り組む中学校区数 20地区(2021年度) 22地区(2022年度) 23地区(2023年度) 23地区(2024年度)	4,419
地域スポーツ支援事業	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援することで、身近な地域でのスポーツ機会を創出	・地域スポーツクラブ活動事業費補助金の交付：延べ21クラブ ・保険加入支援の実施：延べ24クラブ ・地域スポーツクラブ会議や研修会の開催：23回	40,482
高齢者の活躍支援事業	高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び、相談、情報提供等の支援を実施	・シニアアカデミー(旧高年大学)開催 通年コース卒業生367人 ・講座(専門コース・はじめての一步講座等)の開催607人	24,142
シルバー人材センター就業創出事業	社会環境の変化や多様化する高齢者の就労ニーズに対応するため、労働者派遣や生活支援サービスなどの就業機会を創出	【就業率】 ・2021年度：72.1% ・2022年度：74.4% ・2023年度：75.4% ・2024年度：75%	315,733
就労支援事業	若年者、中高年齢者、女性、定住外国人などに対する、スキルアップ支援やマッチングを実施	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施(2021～2024年度) ・職業相談、職業紹介の実施(2021～2024年度) ・事業所と求職者との交流機会の提供(2021～2024年度)	242,394
地域資源マップ整備事業	地域に点在する集いの場の情報を集約し、情報展開ツール(地域資源マップ)を作成	・地域資源マップを構築、公開することで、地域の集いの場を可視化して市民のつながりづくりを支援した。	—

柱②安心して暮らせる地域包括支援体制の強化

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
在宅医療・福祉連携推進事業	本人の望む療養生活を全うできるよう、在宅医療と福祉の連携強化により在宅療養サービスを充実	・在宅医療・福祉連携推進計画の推進 ・ICT 技術の導入支援 ・在宅相談ステーションの運営 ・訪問看護師育成センター及び総合療法士育成センターの運営 ・訪問歯科衛生士育成事業の開始 ・在宅で栄養指導を担う人材育成の検討	86,584
介護人材支援事業	市民への理解促進、就職機会の支援、介護サービス関係者への研修、外国人受入れ支援、介護サービス事業所の運営改善の支援	・出前講座の開催：30 回 ・職場体験受入事業所数：延べ 59 か所 ・介護の仕事セミナーの開催：4 回 ・介護の仕事相談会の開催：5 回 ・現任介護職員研修の開催：17 回 ・日本語学習講座の開催：384 回 ・国試対策講座の開催：37 回 ・外国人材及び担当者交流会の開催：各 2 回 ・外国人受入支援セミナーの開催：1 回 ・外国人受入人数：24 人 ・キャリアアップ支援研修の開催：6 回 ・介護人材支援基礎研修の開催：1 回 ・採用力向上研修の開催：1 回 ・コミュニケーション力向上研修の開催：1 回 ・職場改善コーディネーター派遣事業所数：5 か所 ・訪問介護職場体験参加人数：29 人 ・人材研修費補助件数：83 件	40,092
介護施設整備事業	市民ニーズ、待機者、有料老人ホームの動向を加味し、必要な整備の実施	・認知症グループホーム 5 施設 ・特定施設 6 施設	952,399
重層的支援体制推進事業	高齢や障がい、子ども、困窮など対象や年代を限定しない相談支援や、社会参加の支援、住民同士が支え合える地域づくりを実施	・福祉の相談窓口や社協 CSW による相談支援、地域支援の創出、伴走支援 ・「とよた多世代参加支援プロジェクト」を活用した個別支援の実施 ・副業人材専門フェローの活用	204,574

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
総合的な認知症 施策推進事業(支 援チーム)	認知症の人等の支援ニース と、認知症サポーターを中心 とした支援をつなぐ仕組みを 構築し、支援チームとして共 生の地域づくりを推進	・認知症サポーター養成講座等の 実施 認知症サポーター養成講座受講 者：10,631 人 ・ステップアップ講座受講者：986 人 ・支援チーム 5 チーム	2,391
総合的な認知症 施策推進事業(早 期発見と社会参 加)	認知症の早期発見・対応と、 認知症の人がそれぞれの個性 に合わせたボランティアや就 労などの場へ社会参加ができ る仕組みの構築	・警福連携等による早期発見の対 応 チラシ配布：75,487 枚 ・社会参加支援交流会の実施 参 加者：240 名 ・社会参加のマッチングを支援し た地域包括支援センターの数：最 大 22 か所 ・マッチングに向けたコーディネ ートを実施したケース数：40 件 ・認知症の人の本人発信支援(ピ アサポート活動)：3 回	3,786
成年後見制度利 用促進事業	成年後見制度の利用につなが る相談体制の構築や、成年後 見制度や権利擁護支援の活動 に携わる人づくり・環境づく り等を実施	・成年後見支援センターの運営 ・市民後見人や意思決定フォロー ーの育成 ・成年後見の新たな担い手として 社会福祉連携法人立ち上げ支援 ・地域生活意思決定支援モデル事 業の試行実施	319,241
先進技術を活用 した地域リハビ リテーションの 推進	住み慣れた地域で安心して暮 らすことができるよう、先進 技術等の実証・導入を通して、 地域リハビリテーションを推 進	・地域リハ イノベーションセン ターの開設と運営(2021 年度～) ・ロボット技術を活用した地域リ ハビリテーション医学の展開に関 する寄附講座の継続	20,925
相互理解の促進 と意思疎通の円 滑化の推進事業	地域共生社会の実現に向け、 障がい者、外国人、高齢者、子 ども等のうち、要配慮者に関 する相互理解の促進及び意思 疎通の円滑化を推進	・「相互理解の促進と意思疎通に 関する行動計画」に基づき、意思 疎通に配慮が必要な要配慮者に関 する各種事業を関係 6 課(障がい 福祉課、多様性社会共創課、高齢 福祉課、こども・若者政策課、学校 教育課、行政改革推進課)を中心に 全 22 所属にて実施した。	—
豊田地域医療セ ンター再整備事 業	高齢者の増加に伴う疾病構造 の変化に合わせた増床と、建物 の老朽化に対応し、市民の健康 保持及び医療提供体制を充実	・豊田地域医療センター再整備完 了 ・ICT 技術の導入支援	4,045,540

(2)「ひと」と「しごと」が集まるミライへの投資

柱①産業拠点としての機能強化

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
企業立地奨励事業	市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付	・旧条例、新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用 ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金、カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金の交付 ・企業訪問、セミナー出展等による制度 PR	4,273,400
オープンイノベーション推進事業	開放特許等の新たな資源とのマッチングやピッチイベント等の開催により新製品開発や事業化を支援	・ピッチイベントの実施(2021～2024 年度) ・新規事業創出取組促進事業の実施(2023～2024 年度) ・相談窓口「はじめるとよた」開設・記念イベントの実施(会場：STATION Ai)(2024 年度)	69,102
スタートアップ支援事業	「ものづくり創造拠点 SENTAN」を活用したハッカソン等の開催による市内外からのスタートアップ候補の掘り起こしとスタートアップ支援制度の運用	・ビジネスプランコンテスト、アイデアソン等スタートアップ掘り起こし事業の実施(2021～2024 年度) ・ものづくり創造補助金の交付(2021～2024 年度) ・空飛ぶクルマ参入促進に向けたオンラインセミナーの開催(2022～2024 年度) ・空飛ぶクルマ開発報告＆提案会の開催(2021～2024 年度) ・物流ドローンの災害時医療での活用に向けた実証実験の開催(2022 年度) ・空飛ぶクルマアイデアコンテスト「空・想」の開催(2022 年度) ・空飛ぶクルマ VR 体験動画の作成(2023～2024 年度)	152,972
産業用地整備事業	産業誘導拠点等に位置付けられた区域内で、産業用地整備を推進	・花本産業団地拡張用地の分譲地処分(2021 年度) ・南部地域産業用地における企業立地支援(2021～2024 年度) ・豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地整備事業の測量、設計、関係機関協議(2021～2024 年度)	76,207

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
DX 促進事業	デジタル化の促進に向け、設備投資等への補助金、専門家の派遣、社内でデジタル化を推進できる人材を育成するための講座を実施	・デジタル化支援補助金の交付(2021～2022 年度) ・テレワーク導入支援補助金の交付(2021～2022 年度) ・求職者、在職者を対象としたデジタルスキルアップ研修の開催(2023～2024 年度) ・メタバースを活用した市内産業PR の実施(2023～2024 年度) ・DX モデル事例創出事業の実施(2023～2024 年度)	640,489

柱②住み続けたいまちづくり

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
市街化調整区域内地区計画の活用	鉄道駅周辺や市街化区域に隣接する地域等において、民間事業者による宅地開発を誘導	・4 案件、249 宅地の都市計画決定 ・継続協議案件のフォロー ・制度活用に向けた運用指針の随時見直し	—
住まい相談総合支援事業	多様な定住・居住ニーズに寄り添った支援体制を構築し、市民の住生活に係るワンストップサービスを展開	・NPO 法人と連携し、488 件の住まいに関する相談に対応 ・本市に住み続けることをサポートするセミナーを 49 回開催	3,949
定住促進プロモーション事業	定住促進プロモーション「ファースト暮らすとよた」を通じて、市内外の家族形成期を中心とした世代へ豊田市の魅力や住みやすさの PR を実施	・移住定住促進サイトの管理運営(2021～2024 年度) ・雑誌や不動産情報誌、不動産住宅サイト等への PR 記事掲載(2021～2024 年度) ・各種イベントへの出展(2021～2024 年度) ・各種 PR 冊子の作成・配布(2021～2024 年度) ・不動産事業者と連携した情報発信(2022～2024 年度) ・住宅業者へのヒアリング、給与住宅居住者へのアンケート等による調査分析(2022～2024 年度)	52,882

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
空き家・空き地情報バンク事業	空き家・空き地情報バンクに登録された山村地域等の空き家・空き地と移住希望者のマッチングを行い、移住定住を促進	・空き家・空き地情報バンク、空き家関連補助金の運用 ・空き家所有者への物件登録の啓発 ・移住希望者への情報提供 ・補助支援パンフレットの作成・更新 ・移住・定住イベントの開催 ・空き家を使った起業の支援	113,340
就労支援事業(再掲)	若年者、中高年齢者、女性、定住外国人などに対する、スキルアップ支援やマッチングを実施	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施(2021～2024 年度) ・職業相談、職業紹介の実施(2021～2024 年度) ・事業所と求職者との交流機会の提供(2021～2024 年度)	242,394
働き方改革推進事業	働き方改革への取組気運の醸成及び取組の推進を図るため、優良事業所表彰や、専門家派遣、セミナー開催等を実施	・優良事業所表彰延べ表彰件数：76 件(2021～2024 年度) ・働き方改革専門アドバイザーの派遣延べ 159 件(2021～2024 年度) ・働き方改革関連セミナー等の開催(2021～2024 年度) ・働き方改革推進支援補助金の交付(2023～2024 年度) ・働きやすい職場づくり確認公表制度延べ確認公表件数：100 件	31,134
ICT 活用・整備推進事業	ICT 機器を活用した「主体的・対話的で深い学び」を推進するための学習スタイルの構築及び ICT 環境の整備を推進	・教職員対象の習熟度別研修の実施 ・校務用パソコンの更新 ・教職員用学習用タブレットの追加購入 ・タブレット端末の活用推進 ・デジタルドリル教材の導入、活用推進 ・ネットワークの統合・改修 ・ICT カートの購入	3,535,725
いなか暮らしコーディネート事業	おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進	・移住総合窓口の運営 ・SNS 等による情報発信 ・ぷらっとミーティング実施(2022 年度) ・首都圏移住フェアへのブース出展(2022～2023 年度) ・とよたの山里交流・移住大相談会(2024 年度)	40,310

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
博物館整備事業	歴史・文化や自然など本市の持つ価値や魅力を守り、伝え、継承するための拠点である博物館を整備	・建設工事・電気工事・空調工事・展示製作(2021～2023年度) ・園路整備工事(2022～2023年度) ・開館(2024年6月)	9,073,796
名鉄三河線複線化事業	リニア中央新幹線開業を見据え、名古屋との移動時間短縮等、鉄道の利便性向上に向け、名鉄三河線の複線化や駅へのアクセスを強化	・継続的に鉄道事業者と事業化に向けた協議調整を重ねた。	20,046
ラリーをいかしたまちづくりの推進	山村振興、交通安全の推進、産業振興につなげるため、世界ラリー選手権(WRC)を開催	・世界ラリー選手権(WRC)の開催支援(2022年度) ・本市が主体となった世界ラリー選手権(WRC)の開催(2023～2024年度) ・WRC開催を生かした都市部・山村部での盛り上げ(2022～2024年度) ・その他ラリー競技の開催(TGRラリーチャレンジ・豊田しもやまラリーなど)(2022～2024年度)	1,861,758
不妊治療への補助事業	保険適用治療と併用して実施する保険適用外の先進医療にかかる費用を補助	助成件数：159件	6,301
結婚新生活支援補助事業	新婚世帯に対して、住宅取得費・賃料・引っ越し費用等を補助	交付実績 228件 (2024年度(2024年度新規事業))	37,065

(3) まちの課題解決力の強化

柱①多様な「つながり」による豊かな暮らしの創出

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
次世代社会システム推進事業	市の課題解決に資する先進実証の支援及び早期実用化の推進	・新規実証件数：57件 ・新規入会：35件	87,328

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
SDGs 未来都市 推進事業	SDGs 未来都市の取組事例の 国内外への発信	・とよた SDGs パートナー制度に おいて、パートナーによるイベン ト開催等を実施(2021～2024 年 度) ・豊田市 SDGs 認証制度を構築 (2022 年度)、運営:135 事業者参 加(2023～2024 年度) ・カードゲーム「とよた SDGs マ スター」を制作(2022 年度)、ファ シリテーターを育成:91 名(2023 ～2024 年度) ・ニューヨーク国連本部で開催さ れるハイレベル政治フォーラムで の PR をはじめ、国際社会に SDGs の取組を発信(2021～2024 年度)	323,028
いなか暮らしコ ーディネート事 業(再掲)	おいでん・さんそんセンター を中心に、移住希望者の「住ま い」「暮らし」「生業」を総合的 に支援し、山村地域への移住 を促進	・移住総合窓口の運営 ・SNS 等による情報発信 ・ぷらっとミーティング実施 (2022 年度) ・首都圏移住フェアへのブース出 展(2022～2023 年度) ・とよたの山里交流・移住大相談 会(2024 年度)	40,310
交流コーディネ ート事業	おいでん・さんそんセンターに より、都市部と山村部をコーデ ィネートするとともに、その魅 力や山村部の価値を発信	・交流のコーディネート及び活動 の支援 ・SNS 等による情報発信	104,158
地域学校共働本 部推進事業	地域と学校が連携・共働し、地 域全体で子どもの成長を支え ていく組織の活動推進	・各共働本部への運営支援と体制 の強化 ・推進アドバイザーによる継続的 な支援	161,804
コミュニティ・ス クール推進事業	中学校区の単位で小・中学校 の連携及び地域ぐるみの教育 を効果的に実施するコミュニ ティ・スクールを推進	・学校運営協議会およびコミュニ ティ・スクール連絡会議への運営 支援 ・推進委員会による活動の推進	392
交流館と地域学 校共働本部の連 携強化	学校側のニーズと交流館が持 つ地域資源情報を各地区で共 有・情報交換し、モデル地区で 連携事業を実施するなど共働 事業を推進	・全交流館へのヒアリング ・中間支援組織間での意見交換 ・地域コーディネーター研修会の 実施 ・行事への中学生ボランティアの 派遣	—

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
部活動の地域移行関連事業	部活動の地域移行に向けた取組を推進し、スポーツ・文化活動等の環境を整備することで、こども達の自主性・社会性・郷土愛等を育む	・市内の全中学校での地域指導者と連携した休日部活動の実施 ・シンポジウム「部活動の地域移行って何？」の開催 ・豊田市こどものスポーツ・文化活動等に関する協議会の設置・開催 ・人材バンクの設置 ・研修プログラムの作成・運用開始 ・とよた地域クラブ活動展開プランの策定	133,147
メタバース基盤整備事業	メタバース共通基盤を整備し、コミュニケーションをはじめとした社会課題の解決に向けた取組を実施	・ 8 イベント開催し、市内外から 1,300 人が参加。	39,270

柱②持続可能な地域経営

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
市役所のデジタル化・スマート化	電子申請や AI・RPA 等を活用した窓口のスマート化を図るとともに、ノウハウ等を AI・データベース化し、行政サービスの質を向上	・コロナ感染拡大防止の関連等もあり、電子申請の推進等、市民サービスの新たな形を拡充することができた。 ・伴走型 BPR やバックオフィス改革の実施により、行政サービスの高度化を行った。	276,113
次世代通信網・データの活用の推進	5G 等を活用した新サービスの創出に向け、先進技術による実証実験や、オープンデータ・ビッグデータ等を効果的に活用した取組を実施	・オープンデータを活用した行政情報の可視化やメタバースとよたの構築といった、これまでにない新たな市民接点を生み出すことができた。 ・官民共創の推進により、多角的な課題解決の検討を行った。	29,694
公共施設等の総合的な管理の推進	公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づいた、総合的かつ計画的な施設管理を実施	・公共施設等総合管理計画等に基づき、適切な施設管理を実施 ・公共施設等総合管理計画、公共建築物個別施設計画の改定、施設カルテの更新	28,050
事業・事務の最適化の推進	事業・事務の在り方や進め方の見直しを行い、行政サービス及び職員の働き方を最適化	・実施効果を見極めた事業立案や見直し、横断的な調整による取組の最適化 ・デジタル技術の活用など事務の見直しを行い、行政サービス及び職員の働き方を最適化	—

事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
気候変動対策事業	環境基本計画、地球温暖化防止行動計画等に基づき、カーボンニュートラルに向けた取組を推進	・カーボンニュートラル実現のための事業者支援、市民意識の啓発等の実施(とよた・ゼロカーボンアクションの推進)	16,624

●基本施策

I 子ども・子育て

I-1-(1) 子どもの権利の保障

柱①子どもの権利の意識啓発

柱②子どもの孤困・救済対策

柱③児童虐待防止及び対応策の強化

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	子どもの権利啓発事業	子どもの権利について理解を深める機会として、中学校で教員向け研修も含め子どもの権利の授業を実施	・中学校で権利啓発事業を実施(2021～2022 年度) ・全小中学校で子どもの権利学習プログラムを必修プログラムとして実施 ・小中学校の教職員・小学校 5 年生、保護者及び地域向けに、子どもの権利擁護委員による研修を実施(2023～2024 年度)	4,097
②	子ども食堂支援事業	子ども食堂の相談支援及び継続的な運営確保等について社会福祉協議会へ委託。また、運営費用のうち衛生管理上必要な経費を補助	・補助金の交付を実施 ・とよたこども食堂ネットワークの設立に伴い、役員会でのアドバイス、交流会を実施	13,596
②	子どもの学習・生活支援事業	経済的理由等で学習環境が整っていない子どもへ、ボランティア等による学習支援や生活習慣の改善など世帯全体の生活支援を実施	・直営 1 か所+委託 5 か所から委託 6 か所へと体制整備(2021 年度) ・委託 2 か所については集合型+訪問型(地理的理由・精神的理由)による学習支援を実施(2022 年度) ・委託 3 か所については集合型+訪問型(精神的理由)による学習支援を実施(2023 年度) ・子どもの学習・生活支援事業の定期実施 271 回(2021 年度) 270 回(2022 年度) 272 回(2023 年度) 269 回(2024 年度) ・利用者数の推移 131 人(2021 年度) 110 人(2022 年度) 110 人(2023 年度) 104 人(2024 年度)	73,719

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	いじめ・不登校 対策事業	いじめの防止や対応、不登校児童生徒の自立支援などに関する各種対策事業を実施	・スクールソーシャルワーカーの学校支援件数：6,479 人（2021～2022 年度） ・スクールソーシャルワーカーのべ支援児童生徒数：34,295 人（2021～2024 年度） ・パルクはあとラウンジ登録児童生徒への支援：630 人（2021～2024 年度）	713,137
③	児童虐待防止教育推進事業	幼児、児童、生徒及びその保護者、教職員を対象に、CAP(子どもへの暴力防止)プログラムによる児童虐待防止教育を実施	・虐待防止教育ワークショップの実施：114 か所	12,228

I - 1 - (2) 安心して子どもを生み育てられる環境の充実

柱①相談体制・支援サービスの充実

柱②若年層に対する妊娠・出産と向き合う機会の充実

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	とよた急病・子育てコール 24 運営事業	24 時間 365 日いつでも救急医療相談と子育て相談ができるコールセンターを運用	・ 24 時間 365 日の電話相談件数 - 相談件数：77,033 件 - 救急医療：59,592 件 - 育児：13,428 件 - その他：4,013 件	145,640
①	多胎パパママ教室	多胎を妊娠した妊婦が出産後の生活をイメージし、前向きな気持ちで子育てしてもらうための教室を実施	・多胎妊婦の受講割合 2021 年度 60.0% 2022 年度 66.7% 2023 年度 70.5% 2024 年度 67.6%	383
②	思春期教室事業	中学生等を対象に、性や命の尊さ、妊娠・出産等に関する性教育を実施	・性教育の実施： 26 校(2021 年度) 25 校(2022 年度) 24 校(2023 年度) 25 校(2024 年度)	3,345

I-1-(3) 安心して子どもを預けられる環境の整備

柱①保育需要への対応と、良好な幼児教育・保育環境の確保

柱②放課後の児童の居場所確保

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	公立こども園のICT活用事業	公立こども園にICTを導入し、保護者や保育士の負担を軽減することで、多様な保育ニーズに対応できる環境を整備	・公立こども園全園でのシステム展開 ・公立こども園全園でのキャッシュレス決済運用開始 ・新規機能の導入(ドキュメンテーション機能)	268,291
①	人材確保に向けた大学連携事業	保育士等を養成する大学等と連携し、保育士を志望する学生の増加に向けた取組を実施	・魅力説明会実施 ・就職説明会参加 ・保育実習受入れ	—
①	公立こども園トイレ再整備事業	老朽化したトイレの改修及び便器洋式化を実施することで、快適かつ衛生的なトイレ環境を整備	・老朽化トイレの改修 ・便器洋式化	259,079
②	放課後児童クラブ事業	放課後等において、原則小学校1年生～4年生を対象に適切な「遊び」や「生活」の場を提供し、児童の健全な育成を支援	・放課後児童クラブの運営体制を整えながら児童クラブの質の向上を図り、原則小学校4年生までの就労家庭の児童の生活の場を、学校施設を有効に活用し、確保した。	5,027,622
②	地域子どもの居場所づくり事業	子どもたちが自主的に活動する場、地域の子どもの同士や大人が交流する機会を提供し、地域全体で子どもの育成を支援	・自治区や地域学校共働本部などの運営によって地域の実情に即したこどもの居場所づくりを進めた。	157,696

II 生涯学習

II-1-(1) 生き抜く力を育む学校教育の推進

柱①学びのつながりや地域とのつながりを重視した教育の推進

柱②確かな学力を育む教育の推進

柱③豊かな人間性を育む教育の推進

柱④たくましく生きるための健康・体力を育む教育の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	地域学校共働本部推進事業(再掲)	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織の活動推進	・各共働本部への運営支援と体制の強化 ・推進アドバイザーによる継続的な支援	161,804

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	コミュニティ・ スクール推進事 業(再掲)	中学校区の単位で小・中学 校の連携及び地域ぐるみの 教育を効果的に実施するコ ミュニティ・スクールを推 進	・学校運営協議会およびコミュ ニティ・スクール連絡会議への 運営支援 ・推進委員会による活動の推進	392
②	きめ細かな教育 推進事業	豊田市独自の少人数学級と 非常勤講師・補助員等の配 置により、きめ細かな教育 を推進	・対象校に対し、全校配置 ・きめ細かな教育検証委員会に よる効果検証	1,925,037
②	ICT活用・整備推 進事業	ICT 機器を活用した「主体 的・対話的で深い学び」を推 進するための学習スタイル の構築及び ICT 環境の整備 を推進	・教職員対象の習熟度別研修の 実施 ・校務用パソコンの更新 ・教職員用学習用タブレットの 追加購入 ・タブレット端末の活用推進 ・デジタルドリル教材の導入、 活用推進 ・ネットワークの統合・改修 ・ICT カートの購入	3,535,725
③	いじめ・不登校 対策事業	いじめの防止や対応、不登 校児童生徒の自立支援など に関する各種対策事業を実 施	・スクールソーシャルワーカー の学校支援件数：6,479 人 (2021～2022 年度) ・スクールソーシャルワーカー 延べ支援児童生徒数：34,295 人 ・パルクはあとラウンジ登録児 童生徒への支援：630 人(2021 ～2024 年度)	713,137
③	特別支援教育の 推進事業	身近な地域での特別支援教 育に関する諸問題を解決す るために、ブロックサポー ト体制を確立	・教職員対象の研修会への参加 者：2,454 人 ・各種相談対応：3,315 人	343,616
③	外国人児童生徒 等教育事業	外国人児童生徒等の小・中 学校への適応を進めるた め、日本語指導や学習相談、 支援等を実施	・外国人児童生徒等サポートセ ンターでの各種延べ支援数 翻訳：10,969 件、通訳：2,544 件、相談対応：1,680 件、DLA 対応：384 件 ・指導員の適正な配置：229 人	449,314
④	子どもの体力向 上推進事業	児童生徒の体力向上及び運 動好きな児童生徒を育てる ために、各校の現状に合わ せた「体力向上 1 校 1 実践」 の取組を実施	・「体力向上 1 校 1 実践」の全校 実施の定着 ・体力アップトレーニングメニ ューの周知 ・体力向上に向けた授業改善	196

Ⅱ－１－（２）安全・安心で快適に学べる教育環境の充実

柱①学校施設の環境の充実と整備の推進

柱②給食調理環境の整備

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	学校施設保全改修事業	安全・安心で快適な教育環境を確保するため、老朽化が進む学校施設の保全改修を実施	・設計：8校 ・工事：15校	3,133,004
①	学校施設長寿命化改修事業	建物の目標使用年数を80年とし、学校施設の効果的な改修を計画的に行い、長寿命化による施設管理を実施	※長寿命化改修を延期し、体育館の暑さ対策事業を優先し実施	—
①	学校トイレ再整備事業	快適な教育環境を確保するため、トイレの洋式化を実施	・設計：53校 ・工事：66校	2,554,835
①	校舎増築事業 (中山小学校、朝日丘中学校ほか)	宅地開発等により児童生徒数が増加する学校に対して、教室不足が生じないように計画的に教室を整備	【朝日丘中学校】 ・工事(既設校舎解体・外構整備) 【中山小学校】 ・設計(体育館・校舎増築) ・工事(体育館・校舎増築)	958,195
②	給食センター建替事業	老朽化した給食センターの移転新築整備の検討を実施	・整備手法及び建設候補地検討	7,315

Ⅱ－１－（３）地域による次世代人材の育成の促進

柱①小・中学生が主体的に活動できる機会の充実

柱②高校生・大学生の社会参加活動の促進

柱③自立に困難を抱える若者の支援

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	若者サポートステーション事業	自立に困難を抱える若者が就労や社会参加などを行うため、関係機関との連携による包括的な体制で自立に向けた支援を実施	・延べ相談件数：5,891件 ・支援機関につながった延べ人数：183人 ・若者支援地域協議会の延べ開催回数：7回	109,965

Ⅱ－１－（４）まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進

柱①ものづくりや科学に興味・関心を高める機会の充実

柱②高度なものづくりや科学を学ぶ機会の充実

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	とよたものづくりフェスタ事業	子どもたちが様々なものづくりを体験・体感できるイベントを、ものづくり団体、大学、高校、中学校等と連携して開催	・TES フェスティバル(トヨタ技術会主催)と合同開催	31,943
①	ものづくり教育プログラム事業	小学生を対象に、学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援により実施	・2024年度：73校 ・2023年度：70校 ・2022年度：57校 ・2021年度：55校	14,581
②	丘 KOBА プロジェクト事業 (旧：クルマづくり究めるプロジェクト事業)	未来のモビリティを、自動車関連企業の達人(プロ)とこども達と一緒に製作	・2024年度 4グループのうち2グループは18回、他は17回 究めるコース集大成企画：19回 きんとうんコース：19回 後継事業(丘 KOBА プロジェクト)の検討 ・2022年度 基礎コース：6回 究めるコース：6回 レストアコース：13回 きんとうんコース：19回 ・2021年度 基礎コース：18回 究めるコース：23回 きんとうんコース：23回	26,819
②	科学技術教育推進事業	主に中学生・高校生を対象とし、企業、大学、関係団体等と連携したハイレベルのものづくり・科学講座等の開催や生徒の活躍を支援	・2024年度：9回 ・2023年度：9回 ・2022年度：8回 ・2021年度：9回	4,272
②	匠の技・職人の技に学ぶものづくりプロジェクト事業	和紙、鍛冶屋、竹細工といった伝統的な匠のものづくりや食品サンプルなどの現代の名工から学ぶ講座を実施	・2023年度：0回 ・2022年度：3回 ・2021年度：1回	156

Ⅱ－１－（５）高齢者が活躍できる環境の充実

柱①高齢者の社会や地域での活躍支援

柱②高齢者の多様な就業機会の提供

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	高齢者の活躍支援事業(再掲)	高齢者の市民活動や生きがいづくりを促進するための学び、相談、情報提供等の支援を実施	・シニアアカデミー(旧高年大学)開催 通年コース卒業生 367人 ・講座(専門コース・はじめの一步講座等)の開催 607人	24,142
②	シルバー人材センター就業創出事業(再掲)	社会環境の変化や多様化する高齢者の就労ニーズに対応するため、労働者派遣や生活支援サービスなどの就業機会を創出	【就業率】 ・2021年度：72.1% ・2022年度：74.4% ・2023年度：75.4% ・2024年度：75%	315,733
②	就労支援事業(再掲)	若年者、中高年齢者、女性、定住外国人などに対する、スキルアップ支援やマッチングを実施	・就労支援セミナー、キャリアカウンセリングの実施(2021～2024年度) ・職業相談、職業紹介の実施(2021～2024年度) ・事業所と求職者との交流機会の提供(2021～2024年度)	242,394

Ⅱ－１－（６）女性が活躍できる環境の充実

柱①ワーク・ライフ・バランスの推進

柱②女性の就労・活動意識確立の支援強化

柱③若者の男女共同参画への理解促進に向けた取組の強化

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	働き方改革推進事業(再掲)	働き方改革への取組気運の醸成及び取組の推進を図るため、優良事業所表彰や、専門家派遣、セミナー開催等を実施	・優良事業所表彰延べ表彰件数：76件(2021～2024年度) ・働き方改革専門アドバイザーの派遣延べ159件(2021～2024年度) ・働き方改革関連セミナー等の開催(2021～2024年度) ・働き方改革推進支援補助金の交付(2023～2024年度) ・働きやすい職場づくり確認公表制度延べ確認公表件数：100件	31,134

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	女性のライフプラン・キャリア形成支援事業	結婚や出産を機に活動していない女性の就労意欲や市民活動への参画意識を醸成するための相談・セミナー・交流会を開催	・セミナー・交流会実施 計 104 回 参加者延べ 1,193 人	8,190
②	子ども若者啓発事業	若者の固定的性別役割分担意識によらないキャリアプラン形成を支援	・キッズおシゴト体験ラボ 4 回 ・市内高校でのキャリアワーク 4 回 ・市内高校フィールドワーク 1 回 ・中学生への出前講座実施 2 回 ・小中学校図書館司書研修 3 回 ・大人への地図講座 1 回	1,981

Ⅱ－２－（１）スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進

柱①スポーツを「する」機会の拡充

柱②スポーツを「楽しむ」風土の醸成

柱③スポーツを「支える」体制強化と人材の育成・活用

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	地域スポーツ支援事業(再掲)	地域スポーツクラブやスポーツ推進委員の活動を様々な点から支援することで、身近な地域でのスポーツ機会を創出	・地域スポーツクラブ活動事業費補助金の交付：延べ 21 クラブ ・保険加入支援の実施：延べ 24 クラブ ・地域スポーツクラブ会議や研修会の開催：23 回	40,482
①	松平地域体育館等整備事業	スポーツの振興や健康増進を図るため、市民が気軽に利用できる体育館及び多目的広場を整備	・2021 年 10 月 建築工事完了 ・2022 年 4 月 供用開始	1,427,444
②	トップアスリート・スポーツチーム応援事業	市民のスポーツへの関心を増大させ、市への愛着や誇りを高めるため、本市ゆかりのトップスポーツチームやアスリートを応援	・夢の教室実施：延べ 247 校 ・ホームチーム地域交流事業の実施：延べ 7 クラブ ・わがまちアスリート新規認定選手：計 35 人 ・都市対抗野球応援事業の実施：計 4 回	96,713

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	Jリーグホーム タウン推進事業	2021 シーズンから 20 試合 程度に増加する見込みの、 豊田スタジアムでの名古屋 グランパスのホーム公式戦 開催に合わせ、来場者を取り 込んだ取組や応援気運を 盛り上げる自主的な取組に 関する支援・調整を実施	・経済波及効果調査 ・指導者派遣事業 (こども園 356 園、12,889 人 参加。小学校 225 校、12,889 人参加。) ・開幕応援事業 ・WE LOVE サッカー・豊田ゲ ームス	28,225
②	豊田スタジアム 長寿命化修繕事 業	大規模スポーツイベントの 観戦等を楽しむ環境を継続 的に提供し、集客力の維持・ 向上を図るために、施設の 長寿命化修繕を実施	・開閉式屋根の機能の見直し ・外壁・屋根鉄骨部の塗装 ・防災設備・ろ過設備・プール 改修 ・設計(長寿命化改修(第 2 期)) ・送風換気・排煙設備の更新 ・ろ過(雨水、井水)設備の更新 ・非常用照明・誘導灯の更新 ・発電機更新	3,844,322
③	スポーツボラン ティアの活動促 進事業	スポーツボランティアとよ たの事務局を立ち上げ、ボ ランティアによるおもてな し事業を実施	・市主催イベント等における、 おもてなし事業の実施：計 12 事業 ・スポーツボランティアとよた の登録人数：2,989 人 (2,574 人増)	5,319
③	企業・大学と連 携したスポーツ 支援体制の構築	企業・大学と連携したスポ ーツ教室等を継続して開催 しながら、企業・大学の優れ た指導者や環境を活用でき る仕組みを構築	・とよたスポーツ体験講座の実 施 走り方：延べ 173 校 投げ方 (ソフト)：延べ 55 校 投げ方 (野球)：延べ 39 校 パラ特別授業：延べ 39 校 ・豊田スポーツアカデミー実施 ラグビー：計 75 回 野球：計 40 回 バスケットボール：計 38 回 ・中京大学こども向け教室：延 べ 35 教室 ・トヨタヴェルブリッツヨガ× ラグビー体験：計 10 回 ・とよたスポーツフェスティバ ル開催：延べ約 7,000 人	29,258

Ⅱ－３－（１）歴史や文化財の継承と魅力の発信

柱①歴史・文化財の継承・魅力発信のための基盤・機会の充実

柱②市民力・地域力を生かした歴史・文化財の継承の促進

柱③歴史的な町並みや史跡等を生かしたまちづくり

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	博物館整備事業 (再掲)	歴史・文化や自然など本市の持つ価値や魅力を守り、伝え、継承するための拠点である博物館を整備	・ 建設工事・電気工事・空調工事・展示製作(2021～2023 年度) ・ 園路整備工事(2022～2023 年度) ・ 開館 (2024 年 6 月)	9,073,796
①	地域資料館再編事業	地域の歴史等を紹介し、学習や交流の場である地域資料館の機能拡充と博物館との連携強化により、施設の再編を実施	・ 足助資料館・旭資料館閉館、機能を近隣施設に移転(2023 年度) ・ 藤岡民俗資料館・稲武郷土資料館閉館、機能を近隣施設に移転(2024 年度)	26,709
①	みんなでつくりつづける博物館事業	市民、団体・企業と連携して博物館の諸活動を行い、郷土の魅力を発信する取組を実施	・ とよはくパートナー登録数 個人：162 人 団体：102 団体	13,131
②	郷土学習推進事業	市民や団体、地域と共働により、郷土の歴史・文化財を子どもたちに継承する取組を学校と連携して実施	・ とよた歴史マイスターの認定・活動支援(認定者数 70 人・活動延べ 133 人) ・ 郷土学習スクールサポートの実施(延べ参加 54,933 人)	1,354
③	足助歴史的町並み保存整備事業	歴史的町並みを保存するため、建造物の修理・修景、防災設備の整備や、国の重要文化財旧鈴木家住宅の修理・復原を実施	・ 伝建地区内の建造物の修理修景補助 ・ 工事(旧鈴木家住宅の保存修理、防災対策、活用整備) ・ 旧鈴木家住宅主屋部分公開開始	776,483

Ⅱ－３－（２）文化芸術を生かしたまちの魅 力づくりの推進

柱①文化芸術に触れる機会の充実

柱②文化芸術活動を担う人材の育成

柱③文化施設の機能・価値の向上

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	市民によるアートプロジェクト推進事業	市民主体の文化芸術活動・発表の場を創出し、文化芸術に関わる人材の発掘・育成を促進	・ 市民活動団体（新規発足）：1 件 ・ 文化イベント等開催：10 事業 ・ デカス応募：87 件	46,525

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	文化ゾーン基盤整備事業	文化ゾーン基本構想を推進するため、文化芸術の発信拠点として必要な機能を整備	・博物館進入路の景観舗装整備 ・車両・歩行者サイン整備 ・枝下緑地再整備基本計画策定	182,037
③	市民文化会館大規模改修事業	市民文化会館の安心安全な施設供用を維持するため、適切な修繕を行うとともに文化創造拠点としての機能を整備	・長寿命化工事(空調・消防設備の更新等) ・改修工事(多目的ホール・展示室)	1,576,211
③	中央図書館大規模改修事業	いつまでも安心して快適に利用できるよう、利用開始から 20 年以上経過した中央図書館の改修を実施	・長寿命化工事(緊急修繕分：加湿給水管、貴重図書室空調設備)	29,218

Ⅲ 健康・福祉

Ⅲ－１－（１）誰もが健康づくりを継続できる環境の充実

柱①健康に関心を持つ機会の充実

柱②健康づくりを継続できる環境の充実

柱③若いときからの望ましい食習慣の定着推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	きらきらウェルネス地域推進事業(再掲)	地域の健康関連データを中学校区ごとにまとめた地域健康カルテを基に、地域特性に応じた健康づくりを住民との共働により推進	・地域主体の健康づくりに取り組む中学校区数 20 地区(2021 年度) 22 地区(2022 年度) 23 地区(2023 年度) 23 地区(2024 年度)	4,419
②	元気アップ事業	高齢者の体力づくりや認知症予防を目的とした教室を実施し、介護予防活動が自主的に継続できるように支援	・元気アップ教室の開催箇所数 12 か所(2021 年度) 11 か所(2022 年度) 10 か所(2023 年度) 11 か所(2024 年度) ・自主活動グループ数 190 グループ(2021 年度) 199 グループ(2022 年度) 199 グループ(2023 年度) 205 グループ(2024 年度)	15,690

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	若者向け食育推進事業	望ましい食習慣を身に付けられるように、高校生や大学生を始めとする若者を対象に、様々な手段・機会を活用した食育啓発を実施	・親子食育講座 12回(2021年度) 19回(2022年度) 23回(2023年度) 19回(2024年度) ・高校生向け食育講座回数 1回(2022年度) 1回(2023年度) 2回(2024年度) ・高校生対象オンライン講座回数 1回/年度(2021～2024年度) ・小中学生向け食育講座回数 2回(2024年度)	2,111

Ⅲ－１－（２）健康危機への対応力の強化

柱①健康危機の発生予防対策の推進

柱②健康危機の拡大防止対策の推進

Ⅲ－２－（１）必要なときに受診できる医療提供体制の確保

柱①救急医療体制の維持

柱②在宅医療を推進するための環境整備

柱③適切な受診行動がとれる市民意識の醸成

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	救急医療提供体制確保事業	市民がいつでも症状に応じた適切な診療が受けられるように、救急対応医療機関への補助金交付及び休日救急診療所の運営を実施	・補助金の交付 ・休日救急診療所の運営	636,949
②	在宅医療・福祉連携推進事業(再掲)	本人の望む療養生活を全うできるよう、在宅医療と福祉の連携強化により在宅療養サービスを充実	・在宅医療・福祉連携推進計画の推進 ・ICT技術の導入支援 ・在宅相談ステーションの運営 ・訪問看護師育成センター及び総合療法士育成センターの運営 ・訪問歯科衛生士育成事業の開始 ・在宅で栄養指導を担う人材育成の検討	86,584

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	豊田地域医療センター再整備事業(再掲)	高齢者の増加に伴う疾病構造の変化に合わせた増床と、建物の老朽化に対応し、市民の健康保持及び医療提供体制を充実	・ 豊田地域医療センター再整備完了 ・ ICT 技術の導入支援	4,045,540
③	とよた急病・子育てコール 24 運営事業(再掲)	24 時間 365 日いつでも救急医療相談と子育て相談ができるコールセンターを運用	・ 24 時間 365 日の電話相談件数 相談件数：77,033 件 救急医療：59,592 件 育児：13,428 件 その他：4,013 件	145,640

Ⅲ－３－（１）高齢者が安心して生活できる支援体制の充実

柱①住み慣れた地域で暮らすための支援体制の強化

柱②介護に関わる人材への支援

柱③介護環境の充実

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	地域包括支援センターの機能強化	職員の人材育成を目的として、研修計画に沿った研修の実施、ブロック協力事業の実施、人材育成等計画を推進	・ 地域包括支援センターの運営・評価：29 箇所（基幹型・地域型） ・ 研修開催 開催数：144 回 参加者数：2,593 人 ・ ブロック協力事業検討委員会の開催：270 回	3,267,300
①	総合的な認知症施策推進事業(支援チーム)(再掲)	認知症の人等の支援ニーズと、認知症サポーターを中心とした支援をつなぐ仕組みを構築し、支援チームとして共生の地域づくりを推進	・ 認知症サポーター養成講座等の実施 認知症サポーター養成講座受講者：10,631 人 ・ ステップアップ講座受講者：986 人 ・ 支援チーム 5 チーム	2,391

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	総合的な認知症施策推進事業 (早期発見と社会参加)(再掲)	認知症の早期発見・対応と、 認知症の人がそれぞれの個性に合わせたボランティアや就労などの場へ社会参加ができる仕組みの構築	・警福連携等による早期発見の対応 チラシ配布：75,487 枚 ・社会参加支援交流会の実施 参加者：240 名 ・社会参加のマッチングを支援した地域包括支援センターの数：最大 22 か所 ・マッチングに向けたコーディネートを実施したケース数：40 件 ・認知症の人の本人発信支援(ピアサポート活動)：3 回	3,786
②	介護人材支援事業(再掲)	市民への理解促進、就職機会の支援、介護サービス関係者への研修、外国人受入れ支援、介護サービス事業所の運営改善の支援	・出前講座の開催：30 回 ・職場体験受入事業所数：延べ 59 か所 ・介護の仕事セミナーの開催：4 回 ・介護の仕事相談会の開催：5 回 ・現任介護職員研修の開催：17 回 ・日本語学習講座の開催：384 回 ・国試対策講座の開催：37 回 ・外国人材及び担当者交流会の開催：各 2 回 ・外国人受入支援セミナーの開催：1 回 ・外国人受入人数：24 人 ・キャリアアップ支援研修の開催：6 回 ・介護人材支援基礎研修の開催：1 回 ・採用力向上研修の開催：1 回 ・コミュニケーション力向上研修の開催：1 回 ・職場改善コーディネーター派遣事業所数：5 か所 ・訪問介護職場体験参加人数：29 人 ・人材研修費補助件数：83 件	40,092
③	介護施設整備事業(再掲)	市民ニーズ、待機者、有料老人ホームの動向を加味し、必要な整備の実施	・認知症グループホーム 5 施設 ・特定施設 6 施設	952,399

Ⅲ－３－（２）障がい者が地域社会で共生できる環境の整備柱①理解・啓発活動の推進

柱②日中活動場所の充実

柱③地域での居住の場の充実

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	障がい理解と意思疎通の推進事業	地域共生社会の実現に向け、障がい理解の促進や多様な意思疎通手段の利用を推進するための取組を実施	・障がい理解の促進(心のバリアフリー推進講座実施、イベント出展等) ・意思疎通の円滑化に関する取組(意思疎通派遣、支援者養成研修等) ・障がい理解促進のための動画作成、広告の実施	31,229
② ③	重度障がい者支援事業(③は再掲)	重度障がい者の日中活動場所の確保や介護者負担の軽減に向け、支援者育成と受入れ先確保、医療と連携したレスパイト事業等を実施	・強度行動障がい支援者養成研修(基礎・実践)開催 ・強度行動障がい支援訪問型個別支援事業 ・地域生活支援拠点等整備事業(2024年度) ・受入れ加算実施 ・家族介護者負担軽減事業	95,991
②	障がい者日中活動場所確保事業	障がい者が日中に活動する場を確保するため、日中活動場所の整備に対する補助金を交付	・施設整備補助：4件	294,975
③	障がい者グループホーム整備支援事業	障がい者の居住の場を充実するため、グループホームの整備に対する補助金を交付	・施設整備補助：1件	34,800

Ⅲ－３－（３）生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保

柱①生活困窮者への相談支援の充実

柱②子どもへの学習環境の提供

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	生活困窮者自立支援事業	様々な要因によって経済的に困窮している、又はそのおそれのある者に対して、自立のための様々な支援を早期的、包括的に実施	・家計改善支援や就労支援などを活用し相談者が自立できるように支援を実施 ・家計改善支援 279 件 (2021 年度) 144 件 (2022 年度) 167 件 (2023 年度) 154 件 (2024 年度) ・就労支援 189 件 (2021 年度) 73 件 (2022 年度) 66 件 (2023 年度) 53 件 (2024 年度)	662,141
②	子どもの学習・生活支援事業(再掲)	経済的理由等で学習環境が整っていない子どもへ、ボランティア等による学習支援や生活習慣の改善など世帯全体の生活支援を実施	・直営 1 か所 + 委託 5 か所から委託 6 か所へと体制整備(2021 年度) ・委託 2 か所については集合型 + 訪問型(地理的理由・精神的理由)による学習支援を実施(2022 年度) ・委託 3 か所については集合型 + 訪問型(精神的理由)による学習支援を実施(2023 年度) ・子どもの学習・生活支援事業の定期実施 271 回(2021 年度) 270 回(2022 年度) 272 回(2023 年度) 269 回(2024 年度) ・利用者数の推移 131 人(2021 年度) 110 人(2022 年度) 110 人(2023 年度) 104 人(2024 年度)	73,719

Ⅳ 安全・安心

Ⅳ－１－（１）自助・共助・公助による災害対策の充実

柱①市民による災害対策の促進

柱②地域による災害対策の促進

柱③事業者による災害対策の促進

柱④市の災害対策本部体制の強化

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	自助意識普及啓発事業	市民の防災意識高揚と自助の取組推進のための啓発事業を実施	・マイ・タイムライン作成支援 実績：99回、4,337人 ・防災キャンプ：17回	6,452
①	住宅耐震化促進事業	市民の生命・財産を守るため、地震時の倒壊等を防ぐ住宅の耐震化を促進	・住宅、建築物の耐震診断 ・改修、解体及びブロック塀の撤去等に対する補助	160,777
②	自主防災活動支援事業	自主防災リーダーの育成や自主防災訓練の支援、補助金交付など、自主防災組織の活動を支援	・自主防災リーダー養成講座の開催：4回 ・自主防災組織の活動支援：559回 ・自主防災会連絡協議会の運営	58,504
③	事業者災害時行動マニュアル等作成促進事業	大学等と連携した研修会の実施など、災害時に事業者が迅速に復旧・復興するための行動マニュアル(BCP含む)の作成を支援	・行動マニュアル(BCP含む)の作成支援講習会(入門編・中級編・フォローアップ)の開催：50回	3,320
④	受援体制構築事業	受援対象業務管理データベース運用や事業者等と連携した訓練の実施	・受援対象業務管理データベースの継続運用 ・事業者や庁内関係対策班と連携した訓練の実施：4回 ・受援調整班との業務説明会及びシステム操作訓練の実施：2回 ・受援調整班マニュアルの改訂	1,985
④	災害用便槽整備事業	災害時の避難生活における避難者の健康と、避難所の衛生環境の確保	・工事：8か所 ・設計：5か所 ・備品購入：8か所	124,198
④	避難所停電対策事業	災害による停電時においても電源を確保し、安定的な避難所運営に必要な環境を確保	・改修工事：6か所	18,468

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
④	避難所設備整備事業	指定避難所へ防災倉庫を整備するとともに、備蓄品等を適切に保管し、安定的な避難所運営を確保	・避難所用防災倉庫整備：1 か所(2021 年度)	499
④	水防施設整備事業	河川などの洪水及び土砂災害による水災を警戒、防御し、これによる被害を軽減するため、水防倉庫を整備	・1 施設(西水防倉庫)整備完了	9,790

IV－１－（２）防災・減災につながる都市機能の強化

柱①災害に強い道路環境の確保

柱②災害の軽減に向けた治水安全度の向上

柱③災害に備えた上下水道施設整備の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	橋りょう耐震対策事業	重要市道橋及び緊急輸送道路等を跨ぐ重要法定外道路橋の耐震対策を実施	・工事：2 橋 設計：1 件	240,346
①	道路のり面防災対策事業	安全確保のため、道路のり面の崩壊・落石等の道路災害の危険箇所を点検等により把握し、道路防災対策工事を実施	・道路防災対策の実施(点検・設計・工事)	1,002,494
②	準用河川長田川河川改修事業	浸水被害の軽減を図るため、河川改修を実施	・河川改修工事(第1期) (2021～2024 年度) ・実施設計 (2021～2024 年度)	1,287,928
②	境川・猿渡川流域総合雨水対策事業	境川・猿渡川流域において浸水被害の軽減を図るため、貯留施設整備を実施	・整備工事(米田池) (2021、2022 年度) ・整備工事(ゆたか台団地調整池) (2022、2023 年度) ・実施設計(丸根池) (2022、2023 年度) ・実施設計(大別当池) (2023、2024 年度) ・整備工事(丸根池) (2024 年度)	265,542
②	準用河川大見川河川改修事業	浸水被害の軽減を図るため、河川改修を実施	・河川改修工事 (2021～2024 年度) ・実施設計 (2021～2024 年度)	475,014

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	重要給水施設管路耐震化事業	新水道耐震化プランに基づく、重要給水施設管路(医療機関)の耐震化を実施	・家田病院、さくら病院、豊田共立クリニックまでの管路耐震化工事の実施	978,292
③	基幹施設耐震化事業	新水道耐震化プランに基づく、基幹施設の耐震化を実施	・基幹・準基幹施設耐震化工事(東山配水場始め7施設) ・耐震診断：東広瀬配水場始め9施設	1,691,270
③	公共下水道雨水施設耐震化事業	公共下水道雨水施設の耐震補強を推進	・雨水幹線耐震補強工事：中部1号ほか(2,149m)	2,381,232
③	応急給水施設整備事業	災害拠点給水施設(配水池に設置する応急給水施設)の改修を実施	・災害拠点給水施設新設工事(深見配水場始め9施設) ・飲料用循環式耐震性貯水槽 5基	370,174

Ⅳ－２－（１）自助・共助・公助による消防対応力の強化

柱①火災予防の推進

柱②消防団の充実強化

柱③消防体制の充実

柱④救急体制の充実

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	高校生防火防災リーダー養成事業	市内の高校生の中から防火防災啓発の中心となるリーダーを養成し、活動を支援することで、防火防災に対する意識を効果的に向上	・カリキュラムの実施 ・啓発活動	2,627
①	高齢者の住宅防火促進事業	各種の福祉関係者と連携し、高齢者宅の訪問時等に火災予防について啓発してもらうことで高齢者の火災による被害を軽減	・福祉関係者に対する防火講習会の開催	2,207
②	機能別団員加入促進事業	消防団の経験者と新たな担い手である大学生などの加入を促進し、慢性化する消防団員不足に対応	・市内4大学において募集活動等の実施(60名入団)	458,844
②	消防団装備の充実事業	国の装備基準に基づき、優先度等を踏まえて効率的に消防団装備を配備	・安全装具等配信計画に基づく、安全装具17種・救助資機材11種の配備完了	155,286
③	動画による119番通報システム構築事業	スマートフォンによる119番通報で、通報者が撮影した災害現場の動画をリアルタイムに指令室で確認することができるシステムを構築	・システム構築完了(2021年度)	294

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	消防水利施設整備事業	災害時に不足が懸念される消火用水を確保するため、地域の実情に応じて耐震性貯水槽を整備	・消防水利施設整備の実施 耐震性貯水槽：11 基 消火栓：153 基	352,806
③	消防車両整備事業	災害時に不足が懸念される消火用水を確保するため、地域の実情に応じて水槽付消防車両等を整備	・消防車両の更新：34 台 ・水難救助資機材コンテナ更新：1 基	1,084,831
④	救急救命士の養成・活躍推進事業	超高齢社会の進展や、社会環境の変化に対応できる救急体制を構築するため、救急救命士の養成及び活躍を推進	・救急救命士 24 人を養成	55,266
④	小・中学生に対する応急手当普及促進事業	次代を担う小中学生等に応急手当の受講機会を拡大し、少年期から応急手当に慣れ親しむ環境づくりを推進	・2021 年度：85 校 ・2022 年度：103 校 ・2023 年度：101 校 ・2024 年度：101 校	2,437

IV－3－（１）地域ぐるみの防犯体制の強化

柱①市民への防犯啓発

柱②地域の防犯力の向上

柱③犯罪の起きにくい環境づくり

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	子どもの防犯教室	子どもの防犯力向上のため、小学生を対象に子どもの防犯教室を開催	・開催校数： 35 校(2021 年度) 37 校(2022 年度) 30 校(2023 年度) 23 校(2024 年度)	—
②	犯罪のないまちづくり活動支援	構成員全体のスキルアップを狙った講座や研修会の実施、自主防犯活動団体の活動を支援	・講座開催回数： 4 回(2021 年度) 4 回(2022 年度) 4 回(2023 年度) 3 回(2024 年度) ・毎年度： 活動団体への物品支給	11,465
③	防犯設備整備費補助制度	自治区等への防犯カメラの設置費用の補助により、犯罪多発地区を始めとした地域の防犯力を向上	・防犯カメラの設置及び更新に対する補助：105 件、220 台	41,964
③	主要交差点への防犯カメラ設置	主要交差点への防犯カメラの設置により、市域全体の防犯対策を強化	・主要交差点防犯カメラ設置：60 か所 76 台(2024 年度)	8,377

Ⅳ－４－（１）交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現

柱①交通安全啓発の充実

柱②交通安全環境の整備

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	高齢者交通安全 防犯世帯訪問事 業	高齢者のいる世帯を訪問し、反射材の配布や交通安全に関する知識を啓発	・訪問世帯数： 9,250 世帯(2021 年度) 9,192 世帯(2022 年度) 9,131 世帯(2023 年度) 9,280 世帯(2024 年度)	45,753
①	自転車安全利用 講習事業	講義・実技を交えた自転車の安全利用に関する講習を実施	・講習会参加者： 166 人(2021 年度) 180 人(2022 年度) 139 人(2023 年度) 134 人(2024 年度)	7,711
①	自転車乗車用ヘルメット購入支援事業	自転車乗車用ヘルメットの購入費補助を行い、自転車利用者が当事者となる事故における受傷を防止	・交付個数： 2,294 個(2021 年度) 1,842 個(2022 年度) 3,185 個(2023 年度) 2,615 個(2024 年度)	18,888
②	ゾーン 30 整備 事業	速度と通過交通の抑制を図る交通安全対策として、幹線道路に囲まれたエリア内の生活道路すべてに時速 30 km規制を設定	・ゾーン 30 の導入に向けた整備： 猿投台・井郷地区(2021 年度) 猿投台・井郷地区(2022 年度) 猿投台・井郷地区(2023 年度) － (2024 年度)	14,219
②	自転車通行空間 整備事業	歩行者の安全確保、自転車の交通事故削減を図るため、車道に路面表示等で自転車専用の通行帯を明示する整備を実施	・整備工事(2022～2024 年度) ・効果検証(2021～2024 年度) ・追加対策(2021 年度)	165,727
②	交通事故多発地 点対策事業	交通事故データやビッグデータ等の活用により交通事故多発地点や危険箇所を特定し、多発する事故類型に応じた交通事故対策を実施	・効果検証(2021～2024 年度) ・追加対策(2023 年度)	51,337

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	交通安全施設整備事業	交通事故抑止を図るため、地域等からの要望に基づき、交通危険箇所交通安全施設を整備	・主な交通安全施設整備実績 防護柵：5,524m カーブミラー：516基 区画線：261,053m カラー舗装：3,482㎡ 押しボタン式横断者明示標識：14か所	774,289
②	歩行者通行空間整備事業	安全で安心な児童・生徒の通学路を確保するため、歩行空間の整備を推進	・調査設計(2021～2024年度) ・用地取得(2021～2024年度) ・工事(2021～2024年度)	1,378,719
②	生活道路整備事業	地域の交通課題の解消と住環境の安全性向上を図るため、生活道路の整備を推進	・調査設計(2021～2024年度) ・用地取得(2021～2024年度) ・工事(2021～2024年度)	2,614,599

V 産業・観光・交流

V-1-(1) 地域特性に応じた産業型農業の推進

柱①大規模で高効率な平坦部農業の推進

柱②高付加価値を生む都市近郊型農業の推進

柱③地域を守る山村部農業の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	農の未来を耕す担い手育成事業	農作業の省力化や農業経営の改善・多角化に取り組む農業者の育成・支援	・農業チャレンジ推進事業補助金：5件(2023年度) ・農業チャレンジ推進事業補助金：12件(2024年度) ・農地集積支援事業費補助金(畦畔除去補助金):3件(2023年度) ・農地集積支援事業費補助金(畦畔除去補助金):29件(2024年度) ・農地集積推進補助金(狸山地区):1地区(2024年度)	22,448
②	ブランド農産物担い手育成事業	里親農家とJAと市との共働事業である桃・梨専門コースの運営	・継承農地 87,027㎡確保(全体) ・令和元年度より開講した桃・梨専門コースの8名が修了	79,216
②	農商工連携・6次産業化推進事業	農商工連携や6次産業化に関するセミナーや研修会、異業種交流会などを実施するほか、連携イベント等を開催	・ビジネススクール：9事業者参加 ・アドバイザー派遣：19件 ・研修会：4件開催	7,097

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	鳥獣害対策事業	鳥獣害対策を行う農家や集落の支援及び有害鳥獣駆除の実施。また、人材育成や効果的・効率的な対策を研究	・集落ぐるみで行う柵の設置などへの支援 ・有害鳥獣駆除の実施 ・集落獣害対策ベストマッチ事業による支援	216,176

V-1-(2) 地域が支える“食と農”の推進

柱①地産地食の推進

柱②「農ある暮らし」の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	地産・地食の理解・環境づくり推進事業	豊田市及び豊田市農産物ブランド化推進協議会により、地産地食推進活動を行うとともに、「とよたの農」に関する情報を発信	・農産物品評会の開催 ・スイーツフェアの開催 ・直売所スタンプラリーの開催 ・地産地食応援店連携イベントの開催 ・ジビエ振興イベントの開催 ・シンビジウムのPRイベントの開催	33,017
②	農とのふれあい推進事業	農ライフ創生センターにおける家庭菜園向け初級農作物栽培技術研修及び市民農園等の運営支援等を実施	・初級農作物栽培技術研修の開催(旬の野菜づくりコース) ・市民農園開設者、運営者への支援	886

V-2-(1) 100年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進

柱①健全な人工林づくりの推進

柱②森の応援団の養成と共働の森づくりの推進

柱③森林整備に従事する担い手の確保

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	間伐事業	過密人工林を一掃するため、人工林の間伐推進を図り健全林に誘導	・市内人工林(公有林等を除く)の間伐：3,458.15ha	648,502
①	集約化事業	過密人工林の間伐推進のため、事業地の取りまとめを効率的に実施	・市内人工林の団地化：4369.74ha	403,476
①	モニタリング事業	間伐前後による水源かん養機能や植生回復についてのモニタリングを実施	・間伐モニタリング調査：25箇所 ・水源涵養機能モニタリング調査：2箇所	56,953
②	森林普及事業	市民の森づくりに対する理解促進のため、森林と関わりの薄い市民等に合わせた講座を開催	・森林学校：計30講座 ・出前講座：計105回実施 ・矢作川流域学習プログラム：13校	54,456

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	森づくり人材育成事業	林業労働力を確保し森林整備を継続的に実施するため、団地化推進員及び新規林業就業者等の雇用並びに育成の支援を実施	・森づくり団地化推進員：26名 ・新規採用職員育成事業：12名 ・「緑の雇用」事業奨励金：8名 ・森林作業員基礎技術研修の実施 ・安全技術向上研修	153,318

V-2-(2) 地域材の生産・流通・利用の推進

柱①地域材の加工流通体制の構築と需要喚起

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	新作業システム導入支援事業	森林の環境と経済価値を守り高める施業実現のため、架線系システムの導入支援等を実施	・タワーヤード1台の導入と運用	43,270
①	地域材利用促進事業	林業・木材産業の活性化に向け、一般社団法人ウッドイーラー豊田等との連携を図り、地域材の認知度向上や商品開発等を実施	・企業展イベント出展 ・商品開発 ・補助：26件	65,205

V-3-(1) 地域産業の持続的発展に向けた企業力の強化

柱①地域産業の振興

柱②投資の受皿になる産業用地の創出

柱③中小企業の経営力強化

柱④中小企業のデジタル化の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
① ②	企業立地奨励事業(②は再掲)	市内において新たに事業所を設置する企業及び事業規模を拡大する企業の投資に対し、奨励金を交付	・旧条例、新条例及び新要綱に基づく奨励制度の運用 ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金、カーボンニュートラル省エネ生産設備導入促進補助金の交付 ・企業訪問、セミナー出展等による制度PR	4,273,400

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	産業用地整備事業(再掲)	産業誘導拠点等に位置付けられた区域内で、産業用地整備を推進	・花本産業団地拡張用地の分譲地処分(2021 年度) ・南部地域産業用地における企業立地支援(2021～2024 年度) ・豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地整備事業の測量、設計、関係機関協議(2021～2024 年度)	76,207
③	とよたイノベーションセンター運営事業	コーディネーターによる技術・経営相談、新技術・新産業創出支援セミナー等の開催、製造技術力や IT 活用などものづくり人材育成事業の実施	・技術・経営相談の実施(2021～2024 年度) ・イノベーションセミナー、デジタルものづくりカレッジ等、セミナー・講座の開講(2021～2024 年度) ・DX 推進プラットフォーム設立・運営(2021～2024 年度)	157,775
③	中小企業経営力高度化支援事業	補助制度やセミナー、勉強会の開催により、市内中小企業・小規模事業者の人材育成・販路開拓など、経営力強化に資する取組を支援	・中小企業経営力高度化事業補助金の交付(2021～2024 年度) ・事業承継プラットフォームによる事業承継支援の実施(2021～2024 年度) ・経営研究会との連携による業界 PR 等の実施(2021～2024 年度) ・カーボンニュートラル取組促進に向けた支援実施(2022～2024 年度)	102,672
④	DX 促進事業(再掲)	デジタル化の促進に向け、設備投資等への補助金、専門家の派遣、社内でデジタル化を推進できる人材を育成するための講座を実施	・デジタル化支援補助金の交付(2021～2022 年度) ・テレワーク導入支援補助金の交付(2021～2022 年度) ・求職者、在職者を対象としたデジタルスキルアップ研修の開催(2023～2024 年度) ・メタバースを活用した市内産業 PR の実施(2023～2024 年度) ・DX モデル事例創出事業の実施(2023～2024 年度)	640,489

V-3-(2) 新たな産業を創造する基盤の構築

柱①新たな事業展開・イノベーション創出の促進

柱②スタートアップの誘引・誘発と事業化に向けた支援

柱③イノベーションを起こす人材の掘り起こし・育成

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	オープンイノベーション推進事業(再掲)	開放特許等の新たな資源とのマッチングやピッチイベント等の開催により新製品開発や事業化を支援	・ピッチイベントの実施(2021～2024 年度) ・新規事業創出取組促進事業の実施(2023～2024 年度) ・相談窓口「はじめるとよた」開設・記念イベントの実施(会場：STATION Ai)(2024 年度)	69,102
②	スタートアップ支援事業(再掲)	「ものづくり創造拠点 SENTAN」を活用したハッカソン等の開催による市内外からのスタートアップ候補の掘り起こしとスタートアップ支援制度の運用	・ビジネスプランコンテスト、アイデアソン等スタートアップ掘り起こし事業の実施(2021～2024 年度) ・ものづくり創造補助金の交付(2021～2024 年度) ・空飛ぶクルマ参入促進に向けたオンラインセミナーの開催(2022～2024 年度) ・空飛ぶクルマ開発報告 & 提案会の開催(2021～2024 年度) ・物流ドローンの災害時医療での活用に向けた実証実験の開催(2022 年度) ・空飛ぶクルマアイデアコンテスト「空・想」の開催(2022 年度) ・空飛ぶクルマ VR 体験動画の作成(2023～2024 年度)	152,972
③	ものづくりミライ塾事業	社会課題の解決など大きな視点で一連の製品開発を経験することで、自ら考え、行動し、新製品等を創出できる人材を育成	・ものづくりミライ塾の運営(2021～2024 年度)	49,307

V-4-(1) 中心市街地商業のにぎわいの創出

柱①行ってみたくなる商業空間の創出

柱②中心市街地エリアの一体的なマネジメントの実施支援

柱③公共的空間の利活用

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	まちなか広場空間活用事業	中心市街地の広場(公共的空間)を多く活用させる取組を展開し、活用者の発掘や育成を行いながら、にぎわいを創出	・民間団体主導で公共空間を活用 (あそべるとよた全体の利用件数) ・486件(2021年度) ・657件(2022年度) ・433件(2023年度) ・298件(2024年度)	106,627

V-4-(2) 地域特性に応じた商業環境の整備

柱①地域コミュニティを担う商業機能の強化

柱②満足感のある生活ができる商業環境の整備

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
① ②	商店街等事業機会拡大事業(②は再掲)	商店街などが取り組む、商業環境の変化に応じた対応や商店街のリーダー育成、創業支援などに対する補助	・補助事業 19件(9団体)(2021年度) 19件(8団体)(2022年度) 20件(9団体)(2023年度) 19件(9団体)(2024年度) ・人材育成セミナー 1回開催(1団体)(2021年度) 1回開催(1団体)(2022年度) 1回開催(1団体)(2023年度) 3回開催(2団体)(2024年度)	35,128

V-5-(1) 多様な地域資源を生かした観光産業の振興

柱①戦略的観光マーケティングの推進

柱②観光産業を支える人材の育成

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	観光マーケティング推進事業	一般社団法人ツーリズムとよたの運営を支援し、観光の産業化を推進	・観光マーケティング調査の実施及び結果分析報告会の実施 ・本市ならではの魅力的な観光商品の開発 ・CRMシステム「いこまいるとよた」の推進(登録者数 16,338 人/2024 年度末時点) ・観光関連事業者向けセミナーの開催	417,541
① ②	インバウンド推進事業(②は再掲)	多言語化や情報通信環境の整備と、外国人を対象とした戦略的なプロモーションを展開	・主要観光拠点におけるタブレット型通訳端末を活用した案内の実施(2021 年度) ・ツーリズムとよたによる海外誘客プロモーションの実施 ・各種観光情報ツールの多言語化 ・豊田市駅周辺におけるデジタルサイネージによる情報発信	33,203
①	宿泊関連事業者支援事業	魅力あるプランの醸成や情報発信を実施し、豊田市へのリピーターを増加させるため、市内宿泊関連事業者へ補助を実施	・2021 年度 参画事業者：61 事業者 延べ宿泊者数：48,635 人泊 ・2022 年度 参画事業者：59 事業者 延べ宿泊者数：73,655 人泊 ・2023 年度 参画事業者：53 事業者 延べ宿泊者数：165,664 人泊	2,229,642

V-5-(2) 地域資源を生かしたまちづくりの推進

柱①地域資源の発掘と磨き上げの促進

柱②地域資源を支える基盤の拡充

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	わくわく事業	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助	・市内 28 地域で 1,146 事業を採択 ・交流会や交流館への活動報告書の掲示を活用して活動内容を周知	412,327

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	香嵐溪 100 年プロジェクト事業	植樹から 100 年を迎えようとするモミジの再整備や香嵐溪の景観を維持向上させるための仕組みづくり	・全体方針である香嵐溪再整備計画、樹木伐採計画である樹木伐採実施計画、施設整備計画である香嵐溪活性化計画の策定 ・樹木整備への着手 ・香嵐溪 100 年プロジェクトチームの立上げ・取組の実施	58,530
②	道の駅どんぐりの里いなぶ再整備事業	豊田市産品の販売拡充等のため、どんぐり横丁の増改築や、イベント広場へのキャノピー(大屋根)の新築等を実施	・キャノピー(ぐりっぴーの帽子)新築(2021 年度) ・どんぐり横丁増築改修工事(2021～2022 年度) ・どんぐり横丁売場什器調達(2022 年度)	592,332
②	四季の回廊ミュージアム構想推進事業	四季の回廊ミュージアム構想に基づき、川見さくら山遊歩道を始めとした施設整備を実施	【さくら山遊歩道】 ・基本設計(2017 年度) ・詳細設計(2018 年度) ・用地確定測量(2019 年度) ・整備工事(2021 年度) 【鳥屋平工房跡】 ・測量設計(2017 年度) ・進入路等整備工事(2019～2020 年度) ・進入路境界杭復元測量(2020 年度)	50,072

V-6-(1) 多様な働き方で多様な人材が活躍する環境の整備

柱①企業の働き方改革の推進

柱②多様な人材の就労支援

柱③将来の地域産業を担う人材の確保

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	働き方改革推進事業(再掲)	働き方改革への取組気運の醸成及び取組の推進を図るため、優良事業所表彰や、専門家派遣、セミナー開催等を実施	・優良事業所表彰延べ表彰件数：76 件(2021～2024 年度) ・働き方改革専門アドバイザーの派遣延べ 159 件(2021～2024 年度) ・働き方改革関連セミナー等の開催(2021～2024 年度) ・働き方改革推進支援補助金の交付(2023～2024 年度) ・働きやすい職場づくり確認公表制度延べ確認公表件数:100 件	31,134

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	就 労 支 援 事 業 (再掲)	若年者、中高年齢者、女性、 定住外国人などに対する、 スキルアップ支援やマッチ ングを実施	・就労支援セミナー、キャリア カウンセリングの実施(2021～ 2024 年度) ・職業相談、職業紹介の実施 (2021～2024 年度) ・事業所と求職者との交流機会 の提供(2021～2024 年度)	242,394
③	地域産業の担い 手確保支援事業	就職、転職希望者や副業・兼 業人材に対する地元中小企 業の魅力発信や、市民生活 や地域産業の維持に不可欠 な担い手の育成確保を実施	・副業兼業人材のマッチング支 援(2021～2022 年度) ・多世代参加型「みんなの職場 体験」の実施(2023～2024 年 度) ・先輩名鑑の発行(2021～ 2024 年度) ・インターンシップ等受入の支 援(2023～2024 年度) ・高校生対象中小企業魅力発信 事業の実施(2021～2023 年度) ・企業と教員の接点づくりの場 「未来共創塾」の実施(2024 年 度) ・人材確保に関する個社伴走支 援の実施(2023～2024 年度)	90,706

VI 環境

VI-1-(1) 脱炭素の実現に向けた未来都市の推進

柱①エネルギーの地産地消の推進

柱②暮らしと産業の脱炭素化の推進

柱③森林吸収源対策の推進

柱④気候変動適応策の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	地域エネルギー 活用モデル構築 事業	環境負荷の少ない再生可能 エネルギーの普及を促進す るとともに、エネルギーの 地産地消モデルを構築	・公共施設の環境価値を市内事 業所に提供 ・MY パワーの活動支援	—
①	公共施設脱炭素 化推進事業	公共施設への省エネ・再エ ネ設備の導入	・LED 化の実施(159 施設) ・太陽光発電設備の導入(5 施 設)	855,250

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	スマートハウス普及促進事業	太陽光発電システム、HEMS、蓄電池、次世代自動車等の導入に対する支援を行い、豊田市版スマートハウスの普及を促進	・設備等導入補助の実施(2021～2024年実績) スマートハウス、ZEH:628件 蓄電池:1,425件 エネファーム:387件 次世代自動車:1,234台	458,079
②	水素戦略策定事業	カーボンニュートラル社会の実現に向けて、次期総合計画を見据えた「水素戦略」を策定	・「水素社会構築戦略」案の作成	29,623
③	間伐事業(再掲)	過密人工林を一掃するため、人工林の間伐推進を図り健全林に誘導	・市内人工林(公有林等を除く)の間伐:3,458.15ha	648,502
④	気候変動適応策推進事業	豊田市地域気候変動適応計画策定及び気候変動適応セミナーなどを通じた情報発信	・適応策の推進 ・熱中症対策イベント・講座の実施 ・気候変動適応情報プラットフォームによる情報発信	9,650

VI-2-(2) 廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進

柱① 将来を見据えたごみ処理体制の確保

柱② 減量化・資源化の促進

柱③ 廃棄物の適正処理の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	ふれあい収集事業	家庭から出されるごみや資源をステーションまで持ち出すことが困難な高齢者及び障がい者等に対し、ごみ等の収集を支援	・新規開始件数:452世帯	2,495
①	緑のリサイクルセンター大規模改修事業	刈草・せん定枝・食品残さを安定的かつ効率的に資源化するため、老朽化した設備の改修等を実施	・大規模改修工事の実施(2021～2022年度)	457,846
①	渡刈クリーンセンター大規模修繕事業	施設の延命化のため、老朽化が進行している主要設備の大規模修繕を実施	・大規模修繕工事の実施(2022～2024年度)	2,459,910
②	リユース工房促進事業	再使用可能な粗大ごみ等の修復・清掃・展示販売により、物を長く使う、繰り返し使う意識を啓発・醸成し、ごみの発生を抑制	・リユース家具の入札販売数:638点 ・リユーススポットの譲渡・販売数:1,086点	22,075

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	生ごみの資源循環促進事業	ダンボールコンポストの支給やバッグ型コンポストの貸与等により、家庭からの生ごみの発生を抑制	・ダンボールコンポスト出前講座等の実施支援(58 回)受講者数 566 人 ・バッグ型コンポストの貸出世帯数：1,917 セット ・生ごみ処理機器の購入補助件数：889 件	32,642
②	フードシェアリング促進事業	フードドライブの実施やフードシェアリングアプリ等の導入により、家庭や小売店舗からの食品ロスの発生を抑制	・フードドライブの実施・支援：22 回 ・フードシェアリングアプリ累計ユーザー登録数：3,008 人・協力店数延べ 21 店舗 ・食品ロス削減イベント延べ来場者数：200 人 (2023～2024 年度累計)	10,281
③	航空写真を解析した不法投棄等調査・指導事業	市内全域の不法投棄等を航空写真の解析により早期発見し、現地調査・是正指導を実施	・不適正処理が疑われる箇所 4,999 地点を確認し、不適正処理 78 地点を発見し、全て是正指導を行った。	12,712
③	排出事業者への戸別訪問指導事業	事業者の適正な廃棄物処理の理解を促進するため、市内全事業所を対象に戸別訪問指導を実施	・戸別訪問指導 2,126 件実施し、2 回目に戸別訪問指導した事業者のうち、指導によって法制度を理解していた事業者の割合は 52%であった。	19,372
③	市民との共働による不法投棄監視活動事業	市民・企業ボランティアである不法投棄パトロール隊との共働により不法投棄を早期発見・回収し、新たな不法投棄を監視及び抑止	・不法投棄パトロールの実施：12,612 回 ・不法投棄パトロール隊物品支給：869 回	23,583

VI-3-(1) 暮らしを豊かにする生物多様性の保全

柱①豊かな自然の把握と市民理解の促進

柱②自然の触れ合いを通じた地域づくりの推進

柱③貴重な湿地と多様な水辺の保全

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	自然観察の森を拠点とした自然環境学習事業	環境学習施設「自然観察の森」を拠点に、自然体験など自然環境に関する講座や学習を実施	・学習支援プログラム(流域学習プログラム)：延べ 152 校で実施 ・自然体験講座：延べ 421 回実施 ・ボランティア養成講座：延べ 21 回実施	325,960

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	ふるさとの川づくり事業	地域住民の手による身近な小川の自然再生を通して地域の自然への愛着を醸成し、市民と行政が共働で自然豊かな川づくりを実施	・浚渫工事(広沢川) ・地域住民による川づくりの支援(広沢川) ・地域住民による川づくり計画の策定(一ノ瀬川)	51,411
②	河畔環境整備支援事業	河畔環境保全活動を行う水辺愛護会などの市民団体が、持続的かつ自発的な活動が展開できるよう支援	・作業用道路修繕 ・支援 HP の運営 ・検討部会の運営 ・植生調査、川辺づくりガイドブック(竹林編)、管理活動計画図の作成と実践支援(3 団体)	6,178
②	(仮称)水辺ふれあいプラザ整備事業	自然とふれあう川の体験型学習施設として、一級河川籠川と一体となった水辺に緩傾斜護岸やふれあい水路等を整備	・実施設計(2021 年度) ・整備工事(2021～2024 年度)	303,165
③	ラムサール条約湿地保全活用事業	貴重な湿地や希少種を保全するため、地元や団体と共働で保全活動するとともに、環境学習の場としても活用	・保全活動：延べ 59 回実施 ・定期観察会：延べ 40 回実施 ・上高湿地整備(2021～2022 年度) ・恩真寺湿地調査・整備計画策定(2023 年度) ・矢並湿地調査(2024 年度)	41,863

VI-4-(1) 持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進

柱①環境学習の充実

柱②市民と事業者による環境配慮行動の促進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	エコットを拠点とした暮らしの環境学習事業	環境学習施設「エコット」を拠点に、省エネやごみのリサイクルなど身近な生活環境に関する学習や講座を実施	・工場見学学習実施校数：258 校 ・積木キャラバン訪問こども園数：230 園 ・エコライフ講座実施回数：460 回	194,072

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	協定協議会における環境取組推進事業	環境保全協定企業の持つ環境取組のノウハウを企業間で情報共有するとともに、他の企業や市民へ情報を発信	・事業者向け環境教育用教材、エコガイドの改訂 ・セミナー、環境学習会の開催 ・Web サイトの改修 ・事業者向け環境教育用教材の修正・周知 ・活動事業評価、次期活動計画(第3次)策定	6,380
②	SDGs ポイント事業	市民等が気軽に「SDGs につながる行動」を実施できる場として、とよた SDGs ポイントシステムの企画・運営等を実施	・システムの運営・管理 ・加盟店数：101 店 ・食べきりポイントキャンペーン実施(2021～2022 年度) ・エコエコチャレンジ実施(2023～2024 年度) ・エコドライブキャンペーン実施(2023 年度) ・新規会員紹介キャンペーン実施(2024 年度) ・各種イベントでのブース出展(2021～2024 年度)	29,200

Ⅶ 都市整備

Ⅶ－１－（１）にぎわいのある魅力的な都心の形成

柱①新たな交流拠点の形成

柱②快適な回遊空間の形成

柱③快適で利便性の高い公共交通基盤の形成

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	豊田市駅東口駅前・まちなか広場整備事業	一般車等の交通動線を整理するとともに、人が滞留できる空間を整備することにより、回遊性を高め、にぎわいを創出	・交通影響調査(2021～2022 年度) ・詳細設計(2022～2023 年度) ・広場撤去工事(2023～2024 年度)	711,615
②	公共空間活用事業	豊田市駅前の道路を歩行者空間として利活用し、にぎわいの創出を検証	・東口駅前広場整備形態での交通影響調査を実施	64,148
②	市道西町若宮線整備事業	道路の一部拡幅及び無電柱化整備等により、歩行者が安全で快適に回遊できる環境を整備	・物件調査、詳細設計(2021 年度) ・用地取得(2022 年度) ・工事(2023～2024 年度)	394,100
②	豊田市駅東口ペDESTリアンデッキ整備事業	豊田市駅東口駅前広場への動線や耐震性能を確保するとともに、まちなか広場等	・地質調査、北デッキ耐震設計(2022 年度) ・東口デッキ等詳細設計(2022 年度)	228,454

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
		との一体利用を促進	～2023 年度) ・ 耐震補強工事(2024 年度)	
②	都心地区サイン 施設再整備事業	既存サイン施設の情報更新 や新規サイン施設の設置を 行い、来街者の回遊性や利 便性を向上	・ サイン工事(10 基)(2021～ 2024 年度)	25,121
③	豊田市駅西口ペ DESTRIANデ ッキ整備事業	公共交通利用者の円滑な移 動及び耐震性能を確保する とともに、周辺の商業施設等 と一体的な利用を促進	・ 詳細設計(2021 年度) ・ 耐震詳細設計、事業損失調査、 大屋根設計(2022 年度) ・ D、A～C デッキ工事(2023～ 2024 年度)	1,684,130
③	豊田市駅西口バ スターミナル整 備事業	バス乗降場所を豊田市駅西 口に集約し、公共交通利用者 の利便性の向上を図るとと もに、快適な待合環境等を確 保	・ 詳細設計(2022 年度) ・ 仮バス停工事(2023 年度) ・ 工事(2023～2024 年度)	79,704
③	豊田市駅整備事 業	豊田市駅の駅舎を改修し、鉄 道利用者の利便性、快適性の 向上を図るとともに、駅周辺 のにぎわい創出を促進	・ 構造検討(2021～2023 年度) ・ 駅舎改修(2024 年度)	453,906

Ⅶ－１－(２)利便性の高い市街地の形成

柱①主要な鉄道駅周辺地区等での良好な市街地の形成

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	土地区画整理事 業(土橋、寺部、 花園、平戸橋、四 郷駅周辺、若林 駅周辺)	宅地や公共施設等の計画的 な配置と整備により、住み よい良好な住環境を創出	・ 道路築造工事、宅地造成工事 (2021 年度～2024 年度) 整備面積：20.8ha 宅地整備面積：12.3ha	13,270,716
①	新市街地整備事 業	主要な鉄道駅の周辺等にお いて、住宅需要に応える宅 地を供給するとともに、都 市機能や生活機能を確保 し、居住誘導を推進	・ まちづくり計画検討 ・ 地元組織の支援	212,425
①	優良建築物等整 備事業(三河豊 田駅周辺)	駅周辺において、一定規模 以上の共同住宅の整備等に 係る費用の一部を補助し、 土地の共同化、高度利用化 を促進	・ 共同住宅整備補助(事業計画 作成、建築設計費、建築物除却 費、共同施設整備費)(2021～ 2024 年度)	1,141,000

Ⅶ－１－（３）多様なニーズに応える市街地定住の促進

柱①市街地における住宅・宅地の供給と取得支援の推進

柱②主張な鉄道駅周辺地区等での新たな宅地の供給

柱③定住意欲を高める情報発信の充実

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	優良建築物等整備事業(三河豊田駅周辺)(再掲)	駅周辺において、一定規模以上の共同住宅の整備等に係る費用の一部を補助し、土地の共同化、高度利用化を促進	・共同住宅整備補助(事業計画作成、建築設計費、建築物除却費、共同施設整備費)(2021～2024年度)	1,141,000
②	土地区画整理事業(土橋、寺部、花園、平戸橋、四郷駅周辺、若林駅周辺)(再掲)	宅地や公共施設等の計画的な配置と整備により、住みよい良好な住環境を創出	・道路築造工事、宅地造成工事(2021年度～2024年度) 整備面積：20.8ha 宅地整備面積：12.3ha	13,270,716
②	市街化調整区域内地区計画の活用(再掲)	鉄道駅周辺や市街化区域に隣接する地域等において、民間事業者による宅地開発を誘導	・4案件、249宅地の都市計画決定 ・継続協議案件のフォロー ・制度活用に向けた運用指針の随時見直し	—
③	定住促進プロモーション事業(再掲)	定住促進プロモーション「ファースト暮らしとよた」を通じて、市内外の家族形成期を中心とした世代へ豊田市の魅力や住みやすさのPRを実施	・移住定住促進サイトの管理運営(2021～2024年度) ・雑誌や不動産情報誌、不動産住宅サイト等へのPR記事掲載(2021～2024年度) ・各種イベントへの出展(2021～2024年度) ・各種PR冊子の作成・配布(2021～2024年度) ・不動産事業者と連携した情報発信(2022～2024年度) ・住宅業者へのヒアリング、給与住宅居住者へのアンケート等による調査分析(2022～2024年度)	52,882

Ⅶ－１－（４）憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出

柱①市民の憩いの空間の確保

柱②緑あふれる快適な住環境の形成

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	身近な公園整備事業	歩いて行くことのできる身近な公園の整備を進め、市民のコミュニケーションやレクリエーション、憩いの場を確保	・高岡公園整備(2021 年度～)	120,548
①	区画整理内公園整備事業	区画整理内の公園の整備を進め、市民のコミュニケーションやレクリエーション、憩いの場を確保	・平戸大橋公園整備完了(2021 年度) ・上野不動堂公園、寺部水辺夢公園、花園前田公園整備完了(2022 年度) ・四郷南公園、寺部小跡地公園整備完了(2023 年度) ・四郷北公園、高橋天神公園、土橋八幡社東公園、土橋公園整備完了(2024 年度)	383,057
①	中央公園第二期整備事業	誰もが憩うことのできる快適な空間を創出するとともに、都心や豊田スタジアムとも連携して多世代の交流を促進する空間を創出	・先行工区整備(2023 年度～) ・先行工区 Park-PFI(2024 年度～)	1,706,168
②	民有地緑化促進事業	市民や事業者との共働により民有地の緑化を促進し、うるおいをもたらす緑あふれる空間を創出	・民有地緑化に対する補助(12 件)	12,923

Ⅶ－２－（１）生活・産業を支える道路ネットワークの形成

柱①物流ネットワークの強化と高規格幹線道路へのアクセス性の向上

柱②渋滞対策の推進

柱③鉄道駅へのアクセス性の向上

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	豊田刈谷線整備事業	都市間交流を支える幹線道路として事業を推進し、交通の円滑化や物流の効率化を確保	・調査設計(2021～2023 年度) ・用地取得(2021～2024 年度) ・工事(2022、2024 年度)	2,477,136
①	高橋細谷線整備事業	主要産業施設等へのアクセス機能の拡充を図るとともに、市民が安全で快適に移動できる道路環境を確保	・調査設計(2021～2024 年度) ・用地取得(2021～2024 年度) ・工事(2021～2024 年度)	7,374,239

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	浄水駅北通り線 ほか1路線整備 事業	豊田北バイパスの整備に合 わせて事業を推進し、交通 の円滑化やバイパスへのア クセス性向上を確保	・調査設計 ・用地取得	183,512
①	豊田南バイパス 関連市道整備事 業	豊田南バイパス(東新町～逢 妻町)の整備により分断され る市道の機能回復や、安全 な地区内生活交通確保のため の市道整備を実施	・用地取得 ・工事	324,940
①	豊田北バイパス 関連市道整備事 業	豊田北バイパス(逢妻町～勘 八町)の整備により分断され る市道の機能回復や、安全 な地区内生活交通確保のため の市道整備を実施	・調査設計 ・用地取得 ・工事	477,947
①	県道宮上知立線 関連市道整備事 業	県道宮上知立線(中田町～大 島町)の整備により分断され る市道の機能回復や、安全 な地区内生活交通確保のため の市道整備を実施	・調査設計 ・用地取得 ・工事	91,961
②	豊栄河合線整備 事業	地域間を結ぶ幹線道路として 事業を推進し、交通の円滑 化や生活環境の安全を確保	・工事(2021～2022 年度) ・整備完了	239,558
③	若林駅前線整備 事業	若林駅付近連続立体交差事 業に合わせ事業を推進し、 若林駅へのアクセス性や利 便性を向上	・調査設計(2021～2022 年度) ・用地取得(2023～2024 年度)	121,070
③	若林東西線整備 事業	若林駅付近連続立体交差事 業に合わせ事業を推進し、 若林駅周辺の交通の円滑化 や若林駅へのアクセス性向 上を確保	・調査設計(2021～2024 年度) ・用地取得(2021～2024 年度)	646,903
③	西岡吉原線整備 事業	若林駅付近連続立体交差事 業に合わせ事業を推進し、 若林駅周辺の交通の円滑化 や若林駅へのアクセス性向 上を確保	・調査設計(2021～2024 年度) ・用地取得(2021～2024 年度)	289,703
③	越戸駅前広場整 備事業	県道西中山越戸停車場線事 業に合わせ事業を推進し、 越戸駅へのアクセス性や利 便性を向上	・調査設計(2021 年度) ・工事(2021～2022 年度) ・整備完了	211,465

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
③	若林高架側道整備事業	若林駅付近連続立体交差事業に合わせ事業を推進し、地域住民の快適な移動環境や若林駅へのアクセス性向上を確保	・調査設計(2023～2024 年度) ・用地取得(2021～2024 年度) ・工事(2021 年度)	1,344,499

Ⅶ－２－（２）利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成

柱①鉄道による名古屋市とのアクセス機能強化

柱②公共交通の質の向上

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	若林駅付近連続立体交差事業	若林駅付近の鉄道の高架化と側道整備により、地域住民の快適な移動環境を確保	・調査設計(2021～2024 年度) ・用地取得(2021～2024 年度) ・工事(2021～2024 年度)	14,906,915
①	名鉄三河線複線化関連道路整備事業	名鉄三河線の複線化事業と合わせて中心市街地と南部地域を結ぶ幹線道路を整備し、交通の円滑化や周辺地域の利便性・安全性を向上	・(都)小坂若林線について、御幸地区の今後のまちづくりを踏まえた調査設計等を進めた。	31,372
①	名鉄三河線複線化事業(再掲)	リニア中央新幹線開業を見据え、名古屋との移動時間短縮等、鉄道の利便性向上に向け、名鉄三河線の複線化や駅へのアクセスを強化	・継続的に鉄道事業者と事業化に向けた協議調整を重ねた。	20,046
②	基幹バス運行事業	市中心部や各地域を結ぶとよたおいでんバスを効率的に運行し、広域的な移動手段を確保	・おいでんバスの運行(12 路線)	3,110,591
②	地域内移動手段確保事業	地域住民と市の共働により地域内を走るバス等を運行し、地域特性や需要に応じた交通サービスを提供	・地域バスの運行(10 地域) ・地域タクシー運行(4 地域) ・次世代デマンドシステムの導入(2 地域)	1,796,737

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	地域住民主体の 移動手段確保策 支援事業	地域が抱える移動の課題に 対して、自ら主体的に解決 しようとする団体等への支 援を実施	・ 共助タクシー運行支援(1 団 体) ・ コミュニティ・カーシェアリ ングの導入及び運営支援(2 団 体) ・ 移動支援サービス専用保険料 の支援(1 団体) ・ 安全運転講習会の開催(2 団 体) ・ 共助交通シンポジウムの開催	4,426

Ⅶ－２－（３）人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進

柱①先進技術を活用した安全で快適な交通まちづくり

柱②人と環境にやさしい交通社会の形成

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	先進移動技術等 実証事業	規制緩和や各種支援事業を 通じた先進技術実証の推進 及び地域課題・市民生活向 上に資する「移動サービス」 の担い手育成・支援	・ 2023 年 7 月からの 2 年間で 約 2,000 人の方が利用	116,818

Ⅶ－３－（１）安全・安心な水道水の安定供給の実現

柱①効率的な水運用の推進

柱②水道施設の適正な維持管理の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	藤岡地区給水区域再編事業	安全な水道水を安定して供給 するため、藤岡地区におい て、県営水道等への配水 系統の切替え・再編を実施	・ (仮)藤岡飯野第 2 中継所築造 に関する調査委託 ・ 石飛系管路新設工事:Φ200 ほか L=1,329m	209,295
②	老朽管整備事業	水道ストックマネジメント 計画に基づく、老朽管整備 を実施	・ 老朽管整備事業:L=34,543.7 m	4,551,228
②	老朽施設整備事業	水道ストックマネジメント 計画に基づく、老朽施設整備 を実施	・ 経年施設整備工事(機械、電 気、計装類) ・ 豊田配水場、猿投配水場、第 2 鞍ヶ池配水場ほか	5,390,085

Ⅶ－３－（２）汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現

柱①集合処理区域における適切な汚水処理の推進

柱②個別処理区域における適切な汚水処理の促進

柱③下水道施設の適正な維持管理の推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	下水道整備事業	下水道による整備の費用対効果が高いと見込まれる地域において、計画に基づき下水道整備を推進	・管路工事(面整備)：344ha	10,427,365
②	合併処理浄化槽設置促進事業	水質保全と衛生的な環境維持のため、合併処理浄化槽の設置・転換に対し補助金を交付	・転換：619 基 ・更新：10 基	523,006

Ⅷ 地域経営

Ⅷ－１－（１）市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進

柱①都市内分権の推進

柱②市民活動のすそ野の拡大

柱③活動を促進する環境の整備

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	わくわく事業(再掲)	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助	・市内 28 地域で 1,146 事業を採択 ・交流会や交流館への活動報告書の掲示を活用して活動内容を周知	412,327
①	地域課題解決事業	地域の意見を市の予算に反映し、地域と共働で課題に対応	・市内 28 地域で 298 事業を実施	676,304
②	市民活躍応援事業	多様な主体が活発に活動できるよう応援し、市民活動を促進	・新仕様の情報サイトの運用により、団体自らが情報を発信したり、つながり合う環境を整えることができた。補助金交付事業においては、伴走的支援ができる仕組みを構築した。	10,477
②	市民活動体験支援事業	誰もが気軽に市民活動を知り、参加体験ができる取組の実施	・指標事業である「つながる博」は廃止されたものの、「WE LOVE とよたフェスタ」を始め、市民活動団体の活動発表の機会が増加し、参加団体も増加した。	6,000

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	社会人による公益活動促進事業	社会人によるボランティア参加の場を創出し、市民活動団体が行う「共働によるまちづくり」活動を促進	・指標事業であるプロボノ関連事業は廃止したが、恒常的に市民活動団体からの相談対応に合わせ、企業プロボノをつなげる取組を継続している。質的な活動支援が可能な取組となった。	4,400
②	藤岡地区地域核整備事業	アクセス道路の整備による安全確保と利便性向上とともに、地域住民が主体的に取り組むソフト事業を通じて、地域の賑わいを創出	・藤岡田中二反田線道路改良工事(2020～2022年度) ・藤岡地域核整備完成記念イベント開催(2022年度) ・持続可能なまちづくりに向けた情報収集・整理(2022～2024年度)	88,570
③	若園交流館・若園中学校技術科棟改築事業	施設の老朽劣化や利用者ニーズの多様化による機能不足に対応するため、若園交流館と若園中学校技術科棟の合築を実施	・改築工事(2021～2022年度)	1,552,587

Ⅷ－２－（１）多様な市民が活躍できる国際まちづくりの推進

柱①多文化共生のまちづくりの推進

柱②国際化に対応した人づくりの推進

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	外国人児童生徒等教育事業(再掲)	外国人児童生徒等の小・中学校への適応を進めるため、日本語指導や学習相談、支援等を実施	・外国人児童生徒等サポートセンターでの各種延べ支援数 翻訳：10,969件、通訳：2,544件、相談対応：1,680件、DLA対応：384件 ・指導員の適正な配置：229人	449,314

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	日本語教育促進事業	在住外国人が地域社会で円滑な日常生活を送れるよう、必要な日本語能力を育む切れ目のない日本語学習支援施策の体系化を実施	<NPO 法人等との連携による、幼少期における日本語指導及び学校教育等の補完的学習支援、不就学者等に対する学習支援> ・ 幼児向け日本語教育事業 保見団地教室(2021～2024年度): 178 日、延べ参加者数 794 人 伊保こども園教室(2021～2024年度): 130 日、延べ参加者数 704 人 美和こども園教室(2022～2024年度): 59 日、延べ参加者数 428 人 梅坪こども園教室(2024 年度): 20 日、延べ参加者数 112 人 ・ 青少年学習支援事業(2021～2024 年度): 1,061 日、延べ参加者数 12,392 人 ・ 社会適応サポート事業(2021～2024 年度): 893 日、延べ参加者数 4,459 人 <とよた日本語学習支援システムの運営(初期レベルの日本語教室の開催)> ・ (2021～2022 年度)6 教室、外国人学習者 439 人、日本人支援者 599 人 ・ (2023～2024 年度)7 教室、外国人学習者 664 人、日本人支援者 731 人 <多文化子育てサロンの実施>(2022～2024 年度)27 回、延べ参加者数 671 人	94,612
①	外国人市民の住みやすさ向上事業	外国人市民の意見を市の取組に反映させるとともに、外国人への効果的な情報伝達体制を確立	・ 外国人の意見を聴く会(2021～2024 年度)4 回 ・ とよたフレンズ制度(2021～2024 年度)1 個人、7 団体認定 ・ 多文化共生つながるハンドブック作成(2024 年度) ・ 市外国人向けホームページ開設(2024 年度)	4,158

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	国際理解・啓発事業	地域の国際化のため、多様な国の言語や文化に関する関心・理解を深め、活動を実践できるイベントや講座を幅広い層を対象に開催	・ ナショナルデー(2021～2022年度)9回、延べ参加者数 294人 ・ マイカントリーデー(2023～2024年度)6回、延べ参加者数 274人 ・ こども国際クラブ(2021～2024年度)47回、延べ参加者数 600人 ・ 国際理解教育(2021～2024年度)34回、延べ参加者数 2,531人 ・ 国際理解セミナー(2021～2024年度)10回、延べ参加者数 218人	1,347
②	姉妹都市交流事業	市民や学生の姉妹都市への相互派遣等により、友好親善及び異文化理解を促進	【デトロイト市との交流】 ・ 交換学生派遣 (2021～2022年度)24人 ※オンライン交流 (2023年度)10人 ・ 交換学生受入事業 (2024年度)9人 ・ 周年記念事業(2021年度)216人 【ダービーシャーとの交流】 ・ 高校生派遣事業 (2021年度)15人 ※オンライン交流 (2022～2024年度)48人 ・ ウェビナー(2021年度)11人 ・ 周年記念事業(2023年度)363人 ・ 学校間オンライン交流(2022年度)14人	58,722
②	中学生海外派遣事業	多文化共生、相互理解の大切さを学び、国際的な視野を広げるため、中学生の海外派遣を実施	・ 海外への中学生派遣：56人 ・ 短期留学生の受入れ：30人	34,064

Ⅷ－３－（１）自立とつながりによる山村地域等の振興

柱①移住・定住のための環境づくり

柱②地域を支える担い手づくり

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	定住者の住宅・宅地取得支援事業	山村地域等において、住宅取得に係る費用の一部を補助し、定住者の増加や健全なコミュニティの保持と地域づくりを実施	・住宅・宅地の取得に対する補助：291 件	252,770
①	空き家・空き地情報バンク事業(再掲)	空き家・空き地情報バンクに登録された山村地域等の空き家・空き地と移住希望者のマッチングを行い、移住定住を促進	・空き家・空き地情報バンク、空き家関連補助金の運用 ・空き家所有者への物件登録の啓発 ・移住希望者への情報提供 ・補助支援パンフレットの作成・更新 ・移住・定住イベントの開催 ・空き家を使った起業の支援	113,340
①	いなか暮らしコーディネート事業(再掲)	おいでん・さんそんセンターを中心に、移住希望者の「住まい」「暮らし」「生業」を総合的に支援し、山村地域への移住を促進	・移住総合窓口の運営 ・SNS 等による情報発信 ・ぷらっとミーティング実施(2022 年度) ・首都圏移住フェアへのブース出展(2022～2023 年度) ・とよたの山里交流・移住大相談会(2024 年度)	40,310
②	わくわく事業(再掲)	地域資源を活用し、地域課題の解決や地域の活性化のために地域住民が主体的に取り組む事業の経費を補助	・市内 28 地域で 1,146 事業を採択 ・交流会や交流館への活動報告書の掲示を活用して活動内容を周知	412,327
②	足助地域核エリア再生事業	地域資源や地域特性を生かした事業創出を通じて、地域の担い手の創出と地域が自立的に存続するための仕組みを構築	・足助まちづくりビジョンの策定 ・民間事業者による事業や活動の創出	29,155
②	山里ひとなる塾事業 (旧：豊森なりわい塾事業)	山村をフィールドにこれからの生き方・働き方・社会のカタチを考え、山村の担い手、関係人口を創出	・豊森なりわい塾 10 期を実施し、21 名が卒塾 ・山里ひとなる塾を実施し、29 名が卒塾	10,300
②	交流コーディネート事業(再掲)	おいでん・さんそんセンターにより、都市部と山村部をコーディネートするとともに、その魅力や山村部の価値を発信	・交流のコーディネート及び活動の支援 ・SNS 等による情報発信	104,158

Ⅷ－４－（１）未来を見据えた持続可能な行財政運営

柱①市民サービスの向上

柱②事業・事務の最適化の推進

柱③財政計画に基づいた財政運営

Ⅷ－４－（２）公共施設等の適切な管理の推進

柱①公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進

Ⅷ－４－（３）先進技術等を活用した地域課題解決の推進

柱①多様な主体の新たな取組への支援

柱②取組の見える化

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	山里ひとなる塾事業 (旧：豊森なりわい塾事業) (再掲)	山村をフィールドにこれからの生き方・働き方・社会のカタチを考え、山村の担い手、関係人口を創出	・豊森なりわい塾 10 期を実施し、21 名が卒塾 ・山里ひとなる塾を実施し、29 名が卒塾	10,300
①	次世代社会システム推進事業 (再掲)	市の課題解決に資する先進実証の支援及び早期実用化の推進	・新規実証件数：57 件 ・新規入会：35 件	87,328
②	とよたエコフルタウン推進事業	SDGs の概念・取組の見える化や先進技術実証の見える化、サービスの体感・ニーズの集約を実施	・ガイドツアー、PR イベント等の実施 (2021～2023 年度) ・超小型電気自動車によるフードデリバリー実証事業の車両基地として活用 (2021～2022 年度) ・オフグリッドトレーラーハウスによる実証事業を実施 (2022～2023 年度) ・閉館に当たって施設 PR のためキャンペーンを実施 (2023 年度) ・施設解体工事を実施 (2024 年度)	386,265

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
②	SDGs 未来都市 推進事業(再掲)	SDGs 未来都市の取組事例 の国内外への発信	・とよた SDGs パートナー制度において、パートナーによるイベント開催等を実施(2021～2024 年度) ・豊田市 SDGs 認証制度を構築(2022 年度)、運営:135 事業者参加(2023～2024 年度) ・カードゲーム「とよた SDGs マスター」を制作(2022 年度)、ファシリテーターを育成:91 名(2023～2024 年度) ・ニューヨーク国連本部で開催されるハイレベル政治フォーラムでの PR をはじめ、国際社会に SDGs の取組を発信(2021～2024 年度)	323,028

Ⅷ－４－（４）共働による地域情報化の推進

柱① I C T 活用による行政サービスの質の向上及び効率的な行政運営の実現

柱②ミライのフツーに向けた次世代通信網・データ等の活用

柱	事業名	事業概要	取組実績	期間内事業費 (千円)
①	市役所のデジタル化・スマート化(再掲)	電子申請や AI・RPA 等を活用した窓口のスマート化を図るとともに、ノウハウ等を AI・データベース化し、行政サービスの質を向上	・コロナ感染拡大防止の関連等もあり、電子申請の推進等、市民サービスの新たな形を拡充することができた。 ・伴走型 BPR やバックオフィス改革の実施により、行政サービスの高度化を行った。	276,113
②	次世代通信網・データの活用の推進(再掲)	5G 等を活用した新サービスの創出に向け、先進技術による実証実験や、オープンデータ・ビッグデータ等を効果的に活用した取組を実施	・オープンデータを活用した行政情報の可視化やメタバースとよたの構築といった、これまでにない新たな市民接点を生み出すことができた。 ・官民共創の推進により、多角的な課題解決の検討を行った。	29,694

Ⅷ－４－（５）戦略的な広域連携の推進

柱①新たな都市間連携の推進